

# マイナビ 2025年卒 学生就職モニター調査 3月の活動状況



2024年4月

- 内容 : 就職活動状況の定点調査
- 実施期間 : 2024年3月27日～2024年3月31日
- 調査対象 : 2025年卒業予定の全国大学3年生及び院1年生
- 調査方法 : Web上のアンケートフォームより入力

## □モニター属性データ

カテゴリー	有効回答数
文系男子	211
理系男子	377
文系女子	693
理系女子	425
総計	1,706

カテゴリー	有効回答数
関東地区	697
東海地区	210
関西地区	371
上記以外のエリア	428

カテゴリー	有効回答数	
学部	理系: 機電系	41
	理系: 情報系	78
	理系: 土木・建築系	38
	理系: 化学系	22
	理系: 薬学系	95
	理系: その他理系	108
院	理系: 機電系	100
	理系: 情報系	74
	理系: 土木・建築系	34
	理系: 化学系	89
	理系: 薬学系	16
	理系: その他理系	107

## 【3月のTOPICS】

### 2ヶ月連続で「就活疲れを感じる」が8割を超えるも、理由が「面接」や「選考」に変化

就活疲れを感じている学生は2月から2ヶ月連続で約8割となった。しかしその理由には変化があり、具体的な選考に関する回答が増加し、自己PRが思いつかないことや周囲の学生の影響を理由とする回答が前月より減少した。選考を経験する中で進みたいキャリアが決まり、自分の軸を持つことができている学生が増加していると考えられる。

また、「入社予定先を決めている」と回答した学生のうち、その企業のインターンシップ・仕事体験に参加した割合は8割を超え、入社したいと最初に強く思ったタイミングは「インターンシップ・仕事体験参加時」で、35.1%と最多である。25年卒学生の特徴として、大手志向や給与・福利厚生等の待遇面への志向が高いことがあげられる。その理由は高収入を得るためというより、あくまで生活の安定のためといった考えが背景にあるようだ。

- (P. 15) 入社したいと最初に強く思ったタイミングは「インターンシップ・仕事体験参加時」で、35.1%と最多
- (P. 21) 就活疲れの理由が前月から変化。「面接に緊張」「選考結果に一喜一憂」など、選考に関する回答が増加
- (P. 41) 大手企業中心に活動する学生が2年連続で増加。報酬や対価への意識が高まる背景は、出世や高収入ではなく「生活の安定」

## ■集計方法

全体の数値を算出するにあたり、文理男女別の構成比を2025年3月卒業予定の大学生・大学院生の構成比と等しくする為、文部科学省の学校基本調査を基に、ウエイトバック集計を行っている。基準数値は令和4年度学校基本調査(2022年12月公表)の大学3年生・院1年生在籍数を参照し、文理男女比を算出している。  
※ウエイトバック集計とはアンケート回答者の属性構成比率が実際の属性比率と乖離している場合、構成比に合わせて重み付けして集計すること。

## ■各種調査はWEB上でも順次公開中！ □ ■

経営と人材をつなげるビジネスメディア「HUMAN CAPITAL サポネット」 <https://saponet.mynavi.jp/>

マイナビキャリアリサーチLab | 働くの明日を考える <https://career-research.mynavi.jp/>

就職指導ご担当者のための総合情報サイト マイナビキャリアサポート <http://mcs.mynavi.jp/>

## ■ □本資料について □ ■

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

INDEX

【定点調査】

■1:3月の活動状況

■2:エントリー状況、セミナー参加やエントリーシート提出状況、就活費用

- (1) 3月平均エントリー社数
- (2) 合同企業説明会、個別企業セミナーの参加社数、適性検査受検社数、エントリーシート提出社数(平均)
- (3) エントリー社数平均累計
- (4) 個別企業セミナー参加社数平均累計
- (5) 採用面接を受けた社数平均累計
- (6) 3月のWEB上での活動状況
- (7) 個別企業セミナー参加・視聴割合・半月ごとの推移
- (8) ライブ形式のWEBセミナー参加社数平均累計
- (9) 録画形式のWEBセミナー視聴社数平均累計
- (10) WEB面接を受けた社数平均累計
- (11) 3月の就活費用(平均・文理男女別、地域別、経年変化)
- (12) 現時点での第一志望企業の就職活動進捗状況

■3:現在の志望業種について

- (1) 3月時点での第一志望の業種
- (2) 前年3月との比較増減、志望割合が増えた業種・減った業種

■4:就職活動の感触・就職観

- (1) 先輩と比較して自分たちの就職活動は
- (2) 楽になると思う理由【複数回答】
- (3) 厳しくなると思う理由【複数回答】
- (4) 1日に費やしている時間平均(就職活動準備・就職活動)
- (5) 現時点で就職活動に対し不安がある学生の割合
- (6) 就職活動に対して持っている不安の内容【複数回答】
- (7) この時期最も注力している(頭を悩ませている)就職活動の内容

■5:企業選択のポイント

- (1) 現在の活動の中心は大手企業中心か中小企業中心か
- (2) 企業を選ぶときに注目するポイント【ベスト3/最も注目】

■6:内々定保有者の活動状況

- (1) 企業の主な発見ツール(内々定先・入社予定先)
- (2) 内々定先の業種
- (3) 内々定先・入社予定先の規模
- (4) 内々定先・入社予定先の内々定を得た時期
- (5) 現段階で内々定先企業の中から入社予定先を決めている割合
- (6) 入社予定先企業は初接触の前の時点では第何志望だったか
- (7) 内々定を得た後、入社意思を固めた時期
- (8) その企業に入社したいと最初に強く思ったタイミング

(以降、内々定先、入社予定先それぞれで集計、\*は除く)

- (9) 内々定先のインターンシップ・仕事体験に参加した割合
- (10) 内々定先のインターンシップ・仕事体験参加時期すべて【複数回答】
- (11) 採用選考がインターンシップ・仕事体験参加者限定だった割合
- (12) 内々定先のインターンシップ・仕事体験の主な発見ツール
- (13) 内々定先のインターンシップ・仕事体験への参加方法(対面、オンライン)
- (14) 内々定先のインターンシップ・仕事体験に2回以上参加したか
- (15) 内々定先のインターンシップ・仕事体験参加日数(平均)
- (16) 内々定先のインターンシップ・仕事体験参加日数(分布)
- (17) 内々定先のインターンシップ・仕事体験にあてはまるもの【複数回答】
- (18) 内々定先のインターンシップ・仕事体験に参加した時のプログラムの内容すべて【複数回答】
- (19) 内々定先のインターンシップ・仕事体験の満足度
- \* (20) 入社予定先総合満足度

INDEX

【定点調査】続き

■7: 就活疲れ

- (1) 就活疲れを感じたことはあるか(就活準備を含む)
- (2) 文理男女別・就活疲れを感じたことはあるか(就活準備を含む)
- (3) 就活疲れを感じた活動
- (4) 就活疲れの理由としてあてはまるもの(就活準備を含む)※上位3つまで

■8: 【理系】3月の活動状況

- (1) 3月の理系学生の活動状況【複数回答】
- (2) 企業への応募方法
- (3) 大学に志望企業調査票を提出した、企業の研究所・工場などを見学した、WEBを使った研究所見学・工場見学に参加した就職に関して教授に相談した、ジョブマッチングを受けた、研究概要書・研究概要レポートを提出した企業の採用選考を受けた、企業から推薦状を求められた、大学から推薦状を発行された、大学院への進学を目指すことに決めた
- (4) 文系就職を考えている割合
- (5) メーカー以外に就職先として考えている業界のうち最も志望度が高い業種
- (6) 文系就職を決めた、もしくは視野に入れている理由【複数回答】

【追加調査】

■9: 個別企業セミナー参加希望曜日／時間帯

- (1) 個別企業セミナーに参加しやすい曜日、研究室に行く曜日【複数回答】

■10: エントリーについて

- (1) 2月以前に社名を知っていた企業数(平均)
- (2) エントリーしようと思った時期
- (3) 現在のエントリー状況
- (4) あと何社ぐらいエントリーすると思うか(平均)
- (5) エントリーする際の気持ち
- (6) 個別企業セミナーの予約がすぐできることは、エントリーをするかどうかに影響するか
- (7) 3月中にエントリーした企業のセミナーを予約したか
- (8) 予約した企業と予約しなかった企業の違い【複数回答】
- (9) エントリーする際に見ている項目【複数回答】
- (10) エントリーしないと見られない情報がある場合、それを見るためにエントリーしたい学生の割合
- (11) エントリー後に志望度を高めた情報【複数回答】
- (12) アンケートが付いていたことが理由でエントリーしなかったことがある割合
- (13) 志望度の高い企業であってもエントリーしなかったことがある割合
- (14) エントリーしなかった理由
- (15) 企業からの連絡を受信するために使っているもの【複数回答】
- (16) 連絡を受信するために最もよく使っているもの

■11: 今後の就職活動について

- (1) 企業に公開してほしいデータ【複数回答】
- (2) 企業に公開してほしい情報【複数回答】
- (3) 企業のデータや情報を知って志望度が下がった経験がある割合
- (4) 志望度が下がった理由【複数回答】
- (5) 今後の就職活動の方向性について
- (6) 検索結果の企業一覧は平均何社くらいまで見るか
- (7) インターンシップ・仕事体験の参加企業のうち、以下に該当する企業の割合
  - ・参加者限定セミナーに参加した
  - ・参加者向け面談を受けた
  - ・エントリーした
  - ・採用選考を受けた・受けるつもり

■12: 就職に関する志向について

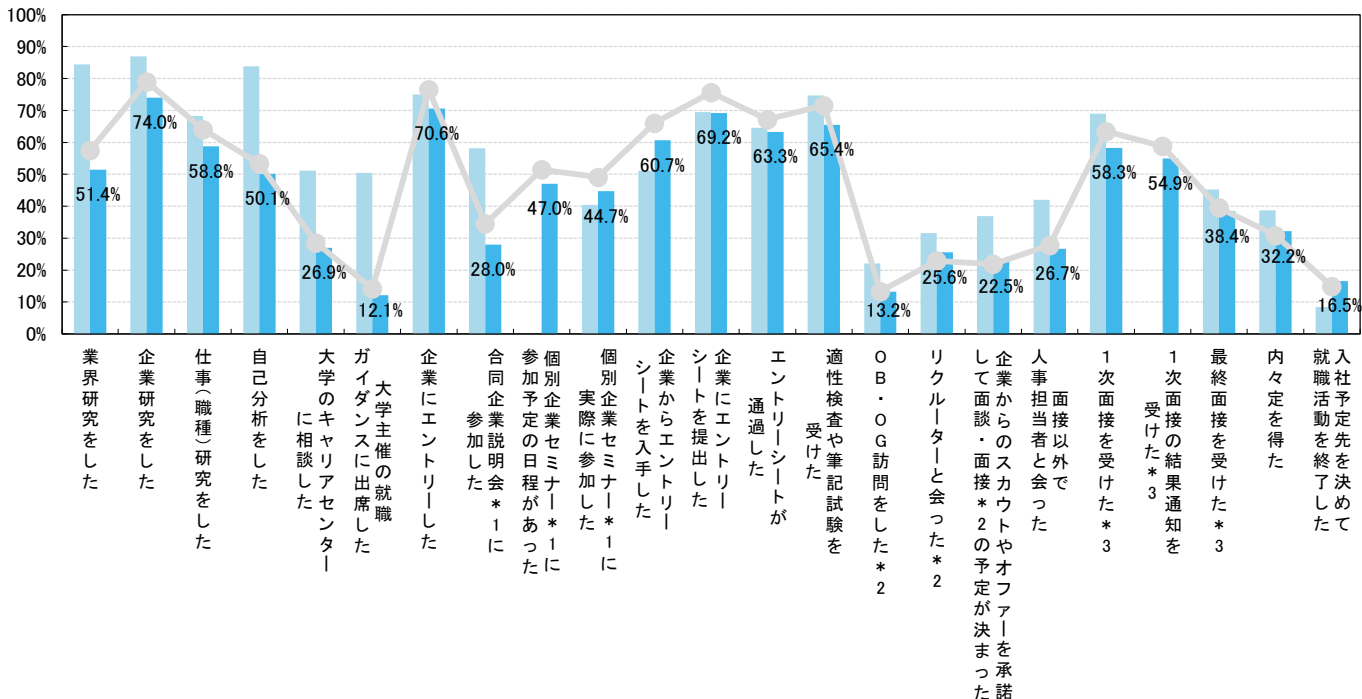
- (1) 希望する働き方
- (2) どのような職場であれば「働きがい」や「やりがい」を感じるか【2つまで選択】
- (3) 社会人として働くことで得たいもの【複数回答】
- (4) 転職がある企業についてどう思うか

■1:3月の活動状況

3月の活動状況を見ると、多くの活動内容で昨年よりも回答率が減少した。減少した割合が多いのは、「合同企業説明会に参加した28.0%（対前年6.5pt減）」「企業にエントリーシートを提出した69.2%（対前年6.4pt減）」「適性検査や筆記試験を受けた65.4%（対前年6.2pt減）」などで、特に選考への応募や選考フローの中でも手前の活動が減少しているようだ。回答率が増加した活動は「リクレーターと会った（25.6%、対前年2.7pt増）」「企業からのスカウトやオファーを承諾して面談・面接の予定が決まった22.5%（対前年0.6pt増）」「内々定を得た32.2%（対前年1.3pt増）」「入社予定先を決めて就職活動を終了した16.5%（対前年1.6pt増）」の4点のみで、「入社予定先を決めて就職活動を終了した」割合は前月2月の8.4%より8.1pt増加した。

3月の活動状況

25年卒 2月まで(n=2,428) 25年卒 3月全体(n=1,706) 24年卒 3月全体(n=1,875) グラフ上の数字は25年卒3月



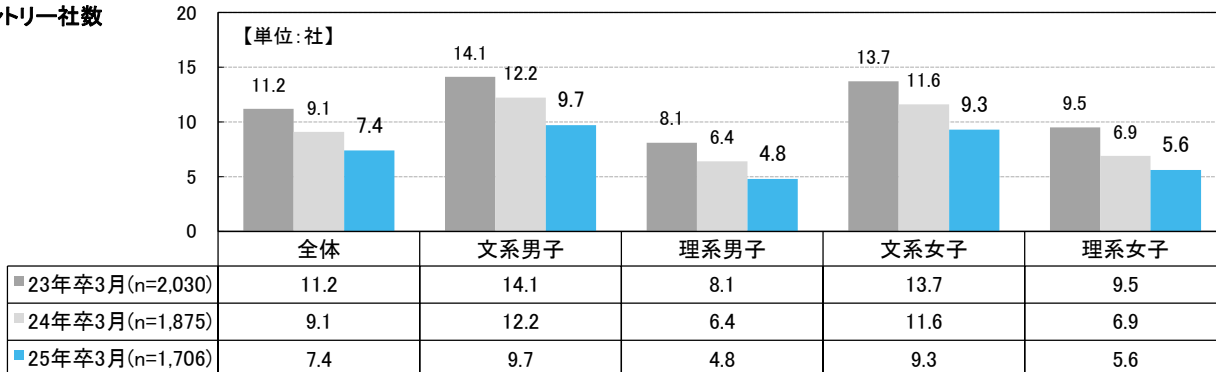
\*1 WEBセミナーを除く \*2 WEB含む \*3 WEB面接を含む

	25年卒			24年卒【参考】<前年>			<前々年> <前月>	
	3月全体	3月前半	3月後半	3月全体	3月前半	3月後半	23年卒 3月全体	25年卒 2月まで
業界研究をした	51.4%	46.8%	30.2%	57.6%	54.4%	36.2%	64.8%	84.4%
企業研究をした	74.0%	66.6%	51.6%	79.0%	72.4%	59.7%	83.9%	86.9%
仕事(職種)研究をした	58.8%	50.7%	39.3%	64.1%	56.9%	44.3%	67.7%	68.3%
自己分析をした	50.1%	42.6%	29.3%	53.4%	48.0%	33.1%	60.9%	83.8%
大学のキャリアセンターに相談した	26.9%	21.6%	14.5%	28.6%	23.9%	15.4%	29.8%	51.1%
大学主催の就職ガイダンスに出席した	12.1%	10.6%	2.6%	14.2%	13.1%	2.2%	22.0%	50.4%
企業にエントリーした	70.6%	66.4%	44.1%	76.6%	73.3%	50.6%	83.3%	74.9%
合同企業説明会に参加した*1	28.0%	24.7%	8.9%	34.5%	32.4%	9.1%	37.5%	58.1%
個別企業セミナーに参加予定の日程があった*1	47.0%	40.0%	30.2%	51.5%	45.5%	34.9%	53.1%	-
個別企業セミナーに実際に参加した*1	44.7%	37.5%	28.5%	49.1%	43.0%	33.3%	50.0%	40.4%
企業からエントリーシートを入手した (企業HP・サイトからダウンロードや郵送で入手した)	60.7%	53.6%	42.3%	66.1%	59.6%	48.0%	57.5%	51.1%
企業にエントリーシートを提出した(入手した シートに記入し返送したり、WEBから直接書き込んだりした)	69.2%	59.8%	51.7%	75.6%	66.3%	57.8%	79.4%	69.5%
エントリーシートが通過した (シートを提出後、次の選考の案内が来た)	63.3%	49.6%	46.7%	67.1%	53.3%	49.7%	72.5%	64.5%
適性検査や筆記試験を受けた	65.4%	52.4%	48.6%	71.6%	59.9%	54.4%	77.9%	74.7%
OB・OG訪問をした*2	13.2%	9.9%	6.7%	13.3%	10.0%	6.6%	15.8%	22.1%
リクレーターと会った*2	25.6%	17.6%	15.6%	22.9%	15.8%	14.2%	24.7%	31.6%
企業からのスカウトやオファーを承諾して 面談・面接*2の予定が決まった	22.5%	16.4%	14.7%	21.9%	16.7%	13.8%	24.0%	36.9%
面接以外で人事担当者と会った	26.7%	17.0%	16.7%	27.8%	18.6%	17.9%	24.5%	42.0%
1次面接を受けた*3	58.3%	44.2%	42.6%	63.4%	49.0%	44.8%	65.2%	68.9%
1次面接の結果通知を受けた*3	54.9%	39.7%	40.8%	58.8%	44.5%	41.2%	60.4%	-
最終面接を受けた*3	38.4%	22.6%	24.8%	39.5%	22.5%	24.3%	33.9%	45.2%
内々定を得た	32.2%	20.4%	17.1%	30.9%	19.0%	15.5%	26.5%	38.7%
入社予定先を決めて就職活動を終了した	16.5%	9.5%	7.8%	14.9%	8.1%	7.1%	11.1%	8.4%
内々定を得ていないが就職活動を中止した	1.9%	1.2%	1.0%	2.2%	1.4%	1.0%	2.4%	-

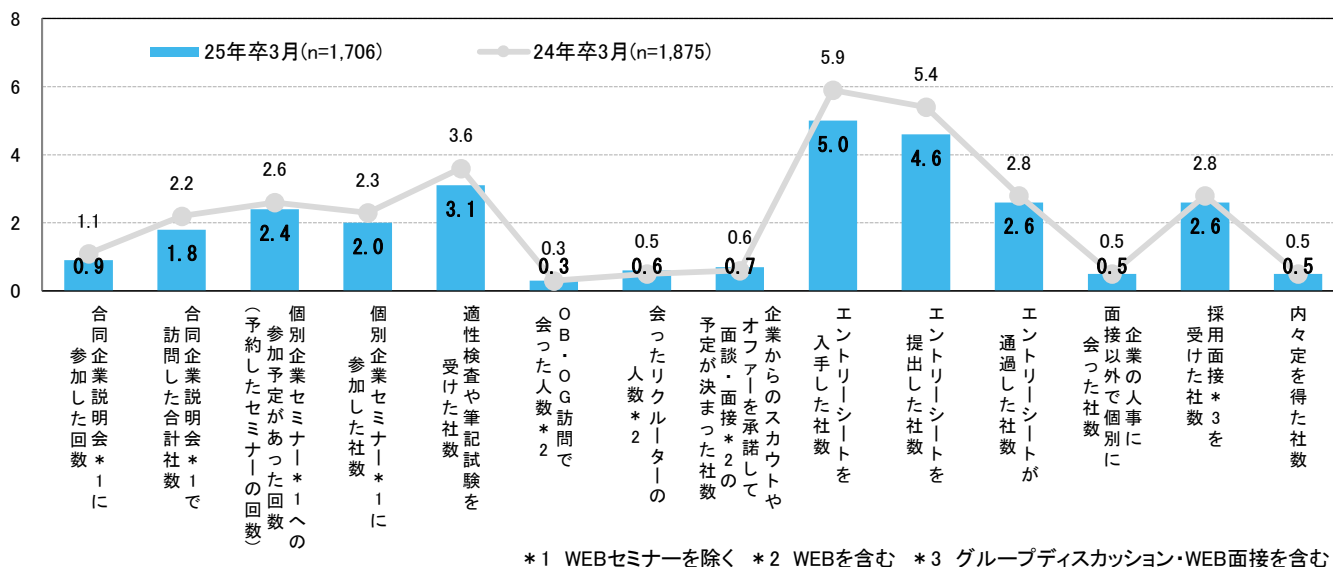
■2: エントリー状況、セミナー参加やエントリーシート提出状況、就活費用

3月の平均エントリー社数は2年連続で減少しており、全体平均で7.4社となった。文理男女のいずれの区分でも減少しており、市場全体の傾向としてとらえることができそうだ。その他の活動について、内々定を得た社数の全体平均は0.5社（前年同値）で変化がなかったが、昨年より活動を行った社数が減少している項目が多い。特に「エントリーシートを入手した社数5.0社（対前年0.9pt減）」「エントリーシートを提出した社数4.6社（対前年0.8pt減）」など、エントリーシートに関連する活動量の減少が大きく、例年以上に的を絞った動きとなっている。

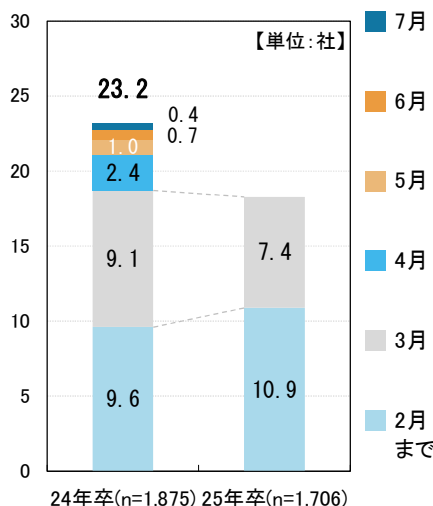
3月平均エントリー社数



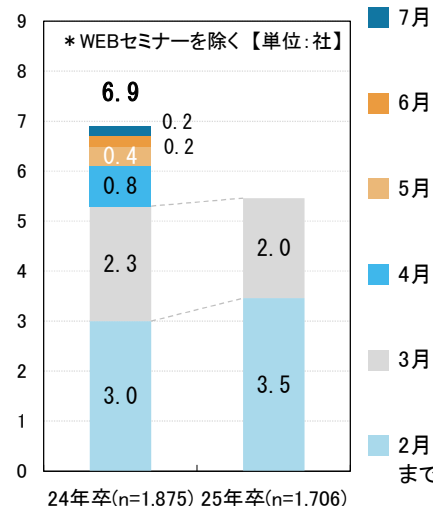
合同企業説明会、個別企業セミナーの参加社数、適性検査受検社数、エントリーシート提出社数（平均）



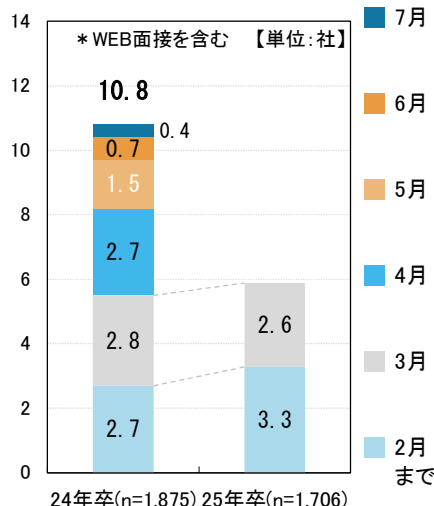
エントリー社数平均累計



個別企業セミナー参加社数平均累計



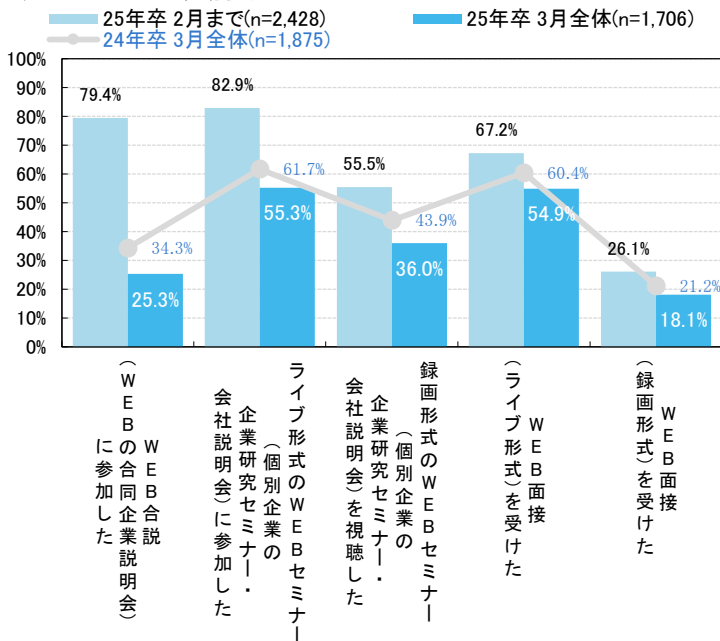
採用面接を受けた社数平均累計



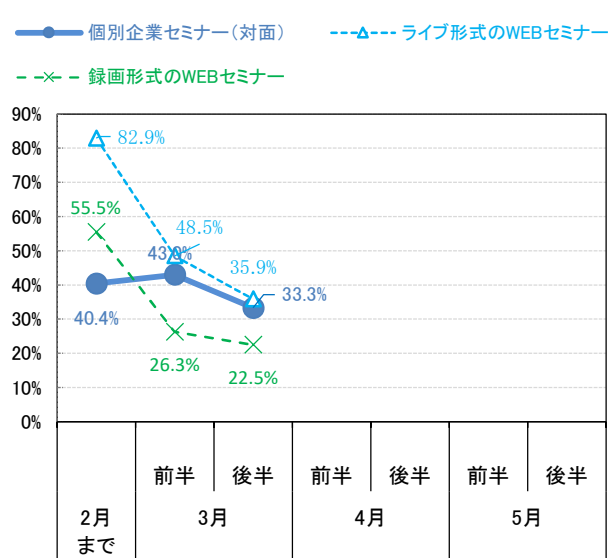


3月のWEB上での活動状況では、「ライブ形式のWEBセミナー（個別企業のセミナー）への参加55.3%（対前年6.4pt減）」「録画形式のWEBセミナー（個別企業のセミナー）の視聴36.0%（対前年7.9pt減）」など、すべての項目で前年同月比減となった。  
 また3月の各種WEB上での活動の参加社数も、「ライブ形式のWEBセミナー参加社数平均3.3社（対前年0.8pt減）」「録画形式のWEBセミナー参加社数平均0.9社（対前年0.3pt減）」「WEB面接を受けた社数平均2.0社（対前年0.2pt減）」など前年同月比減となった。

3月のWEB上での活動状況

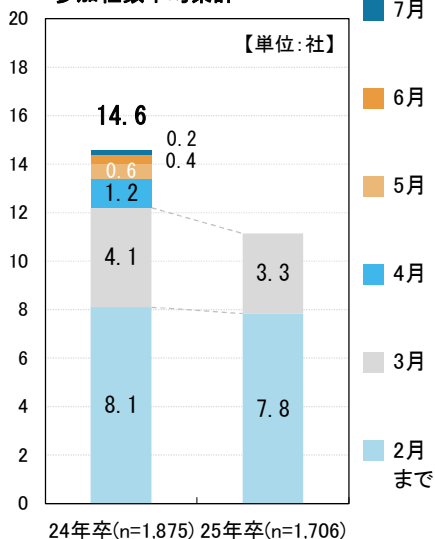


個別企業セミナー参加・視聴割合・半月ごとの推移

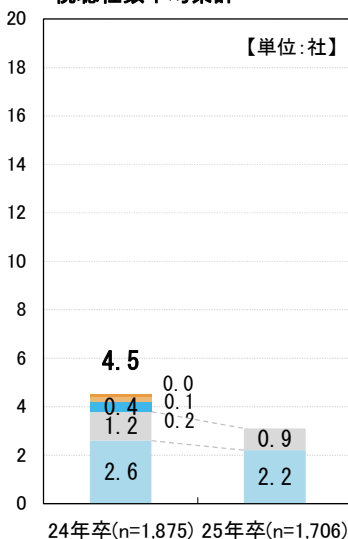


	25年卒			24年卒			23年卒	25年卒
	3月全体	3月前半	3月後半	3月全体	3月前半	3月後半	3月全体	2月まで
WEB合説(WEBの合同企業説明会)に参加した	25.3%	22.5%	10.3%	34.3%	32.4%	12.2%	45.3%	79.4%
ライブ形式のWEBセミナー(個別企業の企業研究セミナー・会社説明会)に参加した	55.3%	48.5%	35.9%	61.7%	56.4%	41.4%	72.7%	82.9%
録画形式のWEBセミナー(個別企業の企業研究セミナー・会社説明会)を視聴した	36.0%	26.3%	22.5%	43.9%	33.1%	29.0%	59.4%	55.5%
WEB面接(ライブ形式)を受けた	54.9%	42.9%	38.6%	60.4%	48.2%	43.4%	64.9%	67.2%
WEB面接(録画形式)を受けた	18.1%	11.1%	10.8%	21.2%	14.3%	12.8%	25.9%	26.1%

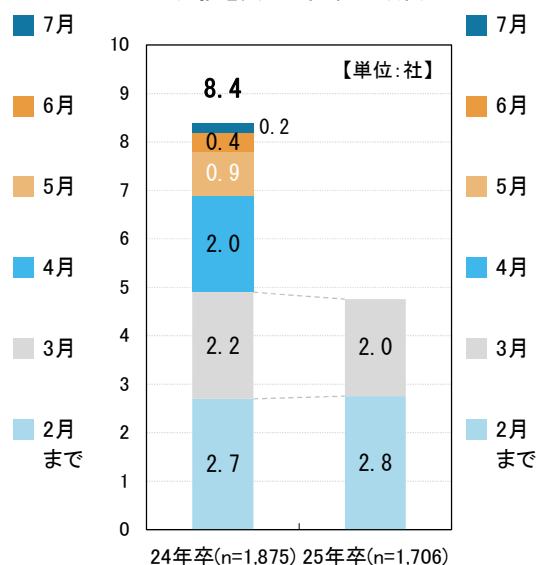
ライブ形式のWEBセミナー参加社数平均累計



録画形式のWEBセミナー視聴社数平均累計

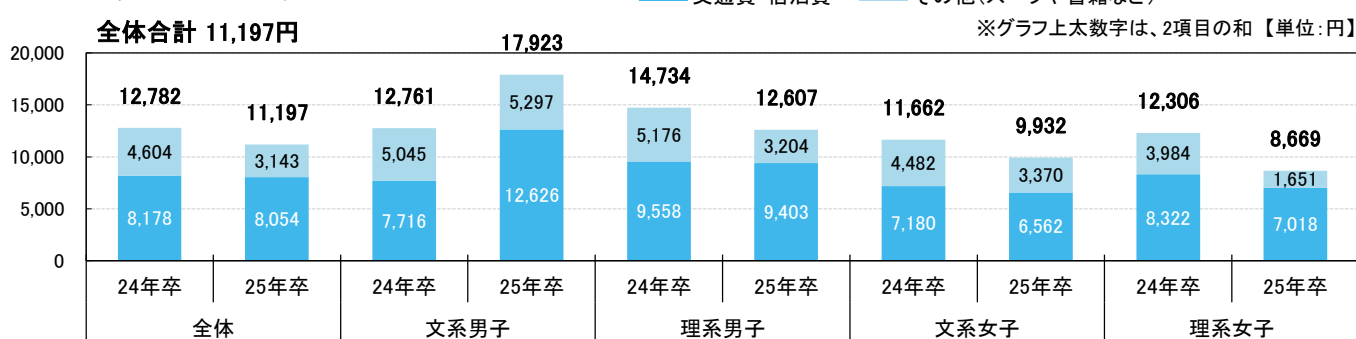


WEB面接を受けた社数平均累計

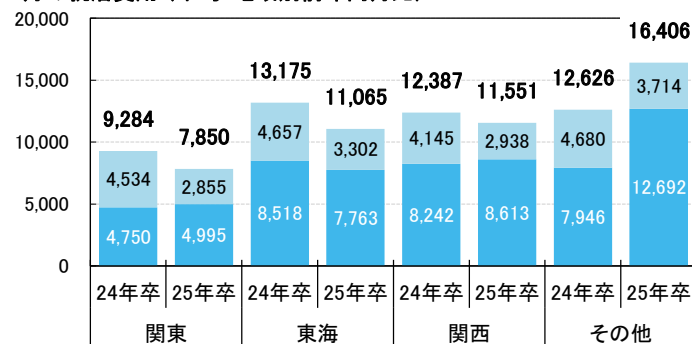


3月の1か月間にかかった就活費用の平均は1万1,197円で前年同月より1,585円下がった。交通費・宿泊費はほとんど同額であるが、その他（スーツや書籍など）の費用が1,461円と大きく減少している。交通費・宿泊費について地域別にみると、関東・東海・関西以外のその他エリアで前年同月より4,746円と大きく増加した。  
現時点での第一志望の企業についての就職活動の進捗状況は、面接以降の進捗の合計が55.1%（対前年3.5pt増）となり、前年よりも進捗のペースが速まっているようだ。

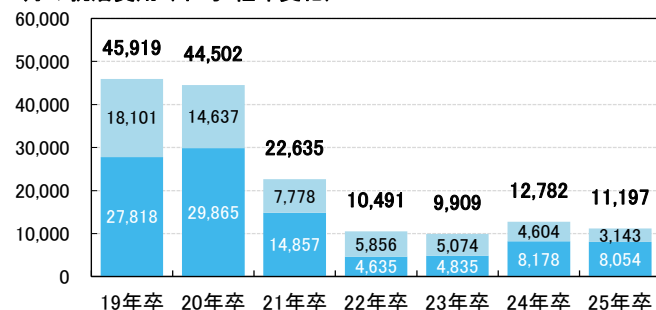
3月の就活費用（平均・文理男女別前年同月比）



3月の就活費用（平均・地域別前年同月比）

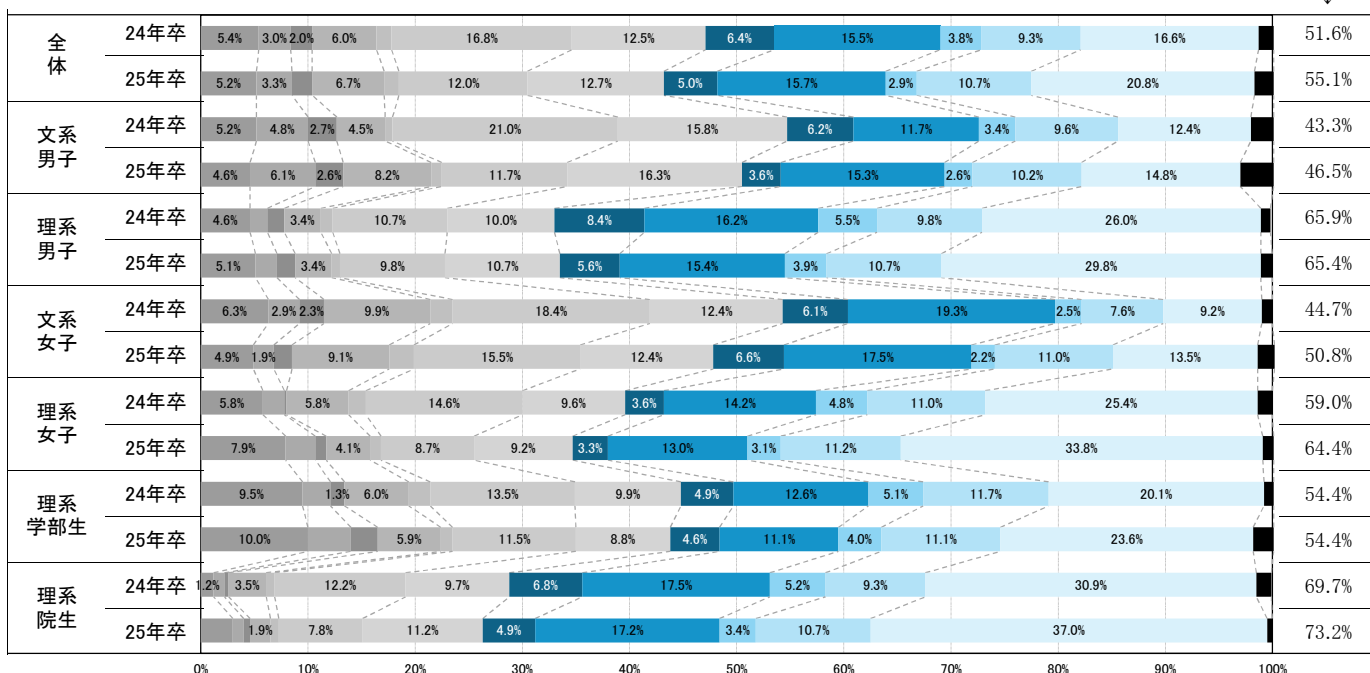


3月の就活費用（平均・経年変化）



現時点での第一志望企業の就職活動進捗状況 n=1,584

- まだエントリーしていない
- 個別企業セミナーやWEBセミナーに参加した
- エントリーシートが通過した
- 最終面接を受けて結果待ち※
- その他
- エントリーはしたがセミナーにはまだ参加していない
- 人事担当者と面接以外で個別に会った※
- 1次面接を受けて結果待ち※
- 内々定を得たがまだ入社意思を伝えていない
- ※WEBを含む
- 合同企業説明会で話を聞いた
- エントリーシートを提出し結果待ち
- 1次面接を通過～最終面接前※
- 入社することを伝えて就職活動を終了した



■3:現在の志望業種について

現在の志望業種を聞き、前年同月と比較した。全体、文理男女区分の全てで、「ソフトウェア・情報処理・ネット関連」が第一志望の業種の1位となった。さらに全体で回答率が3.0pt増加しており、人気が一層高まっていることがわかる。文系男子では対前年7.2ptと大幅に増加した。

「食品・農林・水産」は第一志望の業種の全体4位（4.4%）と上位ではあるものの、前年よりも3.0pt減と、回答率の減少は最も大きかった。理系男子では3.1pt減、理系女子では6.2pt減と、特に理系学生の志望割合が減少しているようだ。

3月時点での第一志望の業種

※上位5位までに色塗り

	25年卒3月						24年卒3月		
	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子	文系	理系	文系	理系
回答数(n)	1,706	211	377	693	425	904	802	880	995
建設・設備工事	2.7%	1.9%	4.5%	0.9%	5.4%	1.4%	4.8%	1.5%	4.5%
住宅・インテリア	1.2%	0.5%	1.3%	1.4%	2.1%	1.0%	1.6%	1.5%	0.8%
食品・農林・水産	4.4%	3.3%	3.7%	2.9%	11.3%	3.1%	6.4%	3.9%	7.8%
アパレル・服飾関連	0.4%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.7%	0.0%	0.9%	0.3%
繊維・化学・ゴム・ガラス・セラミック	4.0%	2.8%	7.7%	1.0%	6.4%	1.9%	7.2%	1.2%	6.8%
薬品・化粧品	3.6%	0.5%	4.8%	1.3%	13.6%	0.9%	7.9%	0.8%	8.4%
鉄鋼・金属・鉱業	0.5%	0.5%	0.8%	0.4%	0.5%	0.5%	0.7%	0.6%	0.6%
機械・プラント	2.8%	1.9%	7.2%	1.2%	0.7%	1.5%	4.9%	1.2%	4.3%
電子・電気機器	4.2%	1.9%	11.1%	1.0%	3.8%	1.5%	8.5%	1.8%	7.2%
自動車・輸送用機器	2.5%	1.4%	5.6%	1.6%	1.6%	1.5%	4.2%	1.5%	5.3%
精密・医療機器	1.5%	0.0%	2.9%	1.0%	3.1%	0.5%	3.0%	0.4%	3.2%
印刷・事務機器・日用品	0.9%	0.5%	0.8%	1.4%	0.7%	1.0%	0.8%	0.6%	0.8%
スポーツ・玩具・ゲーム製品	1.0%	0.5%	1.6%	1.4%	0.2%	1.0%	1.1%	1.9%	0.9%
その他メーカー	0.6%	0.0%	0.3%	1.2%	0.9%	0.6%	0.5%	1.2%	1.0%
総合商社	1.0%	1.4%	0.5%	1.3%	0.2%	1.4%	0.4%	1.6%	0.6%
専門商社	1.1%	1.4%	0.5%	1.4%	0.9%	1.4%	0.7%	1.9%	0.3%
百貨店・スーパー・コンビニ	0.5%	0.5%	0.0%	1.2%	0.2%	0.8%	0.1%	1.4%	0.0%
専門店	0.5%	0.5%	0.0%	1.0%	0.0%	0.7%	0.0%	1.1%	0.1%
銀行・証券・信用金庫	4.6%	8.1%	1.9%	5.2%	0.7%	6.6%	1.4%	6.3%	0.9%
クレジット・信販・リース・その他金融	1.4%	3.3%	0.0%	1.2%	0.0%	2.2%	0.0%	1.5%	0.1%
生保・損保	1.6%	2.8%	0.0%	2.3%	0.0%	2.6%	0.0%	2.3%	0.6%
放送・新聞・出版	2.8%	3.3%	1.1%	4.3%	1.4%	3.8%	1.2%	3.9%	0.7%
広告・芸能	2.1%	1.4%	0.0%	4.9%	1.2%	3.2%	0.4%	4.2%	0.5%
ソフトウェア・情報処理・ネット関連	14.2%	18.0%	15.4%	11.0%	11.1%	14.5%	13.8%	12.1%	15.3%
ゲームソフト	0.5%	0.5%	1.1%	0.3%	0.0%	0.4%	0.7%	0.7%	0.8%
通信	1.6%	2.4%	2.1%	0.9%	0.7%	1.6%	1.6%	1.5%	1.9%
鉄道・航空	3.5%	3.8%	3.7%	3.9%	1.6%	3.8%	3.0%	3.1%	2.8%
陸運・海運・物流	1.4%	1.4%	0.3%	2.9%	0.2%	2.2%	0.3%	1.9%	0.6%
電力・ガス・エネルギー	1.7%	0.5%	4.2%	1.4%	0.7%	1.0%	3.0%	1.7%	1.6%
不動産	1.2%	1.9%	0.8%	1.2%	0.2%	1.5%	0.6%	1.9%	1.1%
給食・フードサービス	0.4%	0.5%	0.0%	0.3%	0.9%	0.4%	0.3%	0.2%	0.4%
ホテル・旅行	1.8%	1.9%	0.0%	4.0%	0.0%	3.0%	0.0%	2.1%	0.2%
医療・調剤薬局	3.1%	0.0%	3.7%	1.0%	13.2%	0.5%	7.1%	1.0%	6.8%
介護・福祉サービス	0.9%	0.9%	0.0%	1.7%	0.2%	1.3%	0.1%	0.7%	0.0%
アミューズメント・レジャー	0.9%	1.4%	0.5%	1.2%	0.0%	1.3%	0.3%	1.3%	0.5%
コンサルティング・調査	2.3%	1.9%	2.4%	2.0%	3.3%	2.0%	2.7%	2.6%	2.9%
人材サービス(派遣・紹介)	1.5%	1.9%	0.3%	2.7%	0.2%	2.3%	0.3%	2.6%	0.2%
教育	2.6%	4.3%	0.5%	3.8%	0.5%	4.0%	0.5%	2.5%	0.2%
エステ・理美容・フィットネス	0.2%	0.0%	0.0%	0.4%	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%
冠婚葬祭	0.2%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.3%	0.0%	0.3%	0.1%
その他サービス	0.6%	0.5%	0.3%	1.0%	0.7%	0.7%	0.4%	1.7%	0.6%
官公庁・公社・団体	6.4%	10.0%	1.9%	7.2%	4.9%	8.6%	3.0%	7.7%	3.2%
特定の業種を志望していない	9.1%	10.0%	6.6%	11.7%	6.1%	10.8%	6.4%	10.8%	4.9%



前年3月との比較増減

※四捨五入前の値で増減を算出したものを  
小数点第二位で四捨五入

	25年卒3月 ※0.5pt以上の増減に色塗り						
	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子	文系	理系
建設・設備工事	+0.3pt	+0.8pt	-0.4pt	+0.2pt	+0.8pt	-0.2pt	+0.4pt
住宅・インテリア	-0.8pt	-2.6pt	+1.1pt	-1.4pt	+0.6pt	-0.5pt	+0.8pt
食品・農林・水産	-3.0pt	-2.5pt	-3.1pt	-2.2pt	-6.2pt	-0.8pt	-1.4pt
アパレル・服飾関連	-0.1pt	-0.6pt	-0.2pt	+0.2pt	±0.0pt	-0.3pt	-0.3pt
繊維・化学・ゴム・ガラス・セラミック	-0.2pt	+0.9pt	-1.5pt	-0.4pt	+0.2pt	+0.7pt	+0.4pt
薬品・化粧品	-0.0pt	+0.2pt	+0.3pt	-1.0pt	+0.9pt	+0.1pt	-0.4pt
鉄鋼・金属・鉱業	-0.4pt	-0.6pt	-0.8pt	-0.1pt	-0.0pt	-0.1pt	+0.1pt
機械・プラント	+0.3pt	+1.3pt	-0.4pt	+0.3pt	-0.4pt	+0.3pt	+0.6pt
電子・電気機器	+0.9pt	+1.3pt	+1.7pt	+0.3pt	-0.3pt	-0.3pt	+1.3pt
自動車・輸送用機器	-0.9pt	-1.3pt	-1.8pt	-0.2pt	+0.0pt	-0.0pt	-1.1pt
精密・医療機器	+0.4pt	-0.6pt	+1.1pt	+0.1pt	+1.6pt	+0.1pt	-0.2pt
印刷・事務機器・日用品	-0.3pt	-0.6pt	+0.2pt	-0.5pt	-0.3pt	+0.4pt	-0.1pt
スポーツ・玩具・ゲーム製品	-0.0pt	-0.9pt	+1.0pt	+0.2pt	-0.3pt	-0.9pt	+0.2pt
その他メーカー	-0.3pt	-0.8pt	-0.4pt	+0.1pt	-0.0pt	-0.6pt	-0.5pt
総合商社	-0.1pt	-1.1pt	+0.1pt	+0.9pt	-0.6pt	-0.2pt	-0.1pt
専門商社	-0.3pt	-1.1pt	-0.1pt	+0.0pt	+0.6pt	-0.5pt	+0.4pt
百貨店・スーパー・コンビニ	-0.3pt	-0.4pt	±0.0pt	-0.8pt	+0.1pt	-0.6pt	+0.1pt
専門店	+0.2pt	+0.2pt	±0.0pt	+0.7pt	-0.5pt	-0.3pt	-0.1pt
銀行・証券・信用金庫	-0.7pt	-2.5pt	+0.8pt	-0.1pt	-0.8pt	+0.3pt	+0.5pt
クレジット・信販・リース・その他金融	+0.4pt	+1.9pt	±0.0pt	-0.4pt	-0.2pt	+0.7pt	-0.1pt
生保・損保	+0.4pt	+1.7pt	-0.4pt	-0.2pt	-0.2pt	+0.3pt	-0.6pt
放送・新聞・出版	-0.4pt	-0.8pt	+0.0pt	-0.6pt	+0.3pt	-0.1pt	+0.5pt
広告・芸能	-0.3pt	-0.5pt	-0.8pt	-0.0pt	+0.7pt	-1.0pt	-0.1pt
ソフトウェア・情報処理・ネット関連	+3.0pt	+7.2pt	-0.6pt	+2.5pt	+1.1pt	+2.4pt	-1.5pt
ゲームソフト	-0.3pt	-0.4pt	-0.2pt	-0.4pt	-0.2pt	-0.3pt	-0.1pt
通信	-0.1pt	+0.2pt	-0.2pt	-0.2pt	-0.2pt	+0.1pt	-0.3pt
鉄道・航空	+1.6pt	+1.0pt	+1.2pt	+2.7pt	+0.8pt	+0.7pt	+0.1pt
陸運・海運・物流	-0.9pt	-3.8pt	-0.1pt	+1.0pt	+0.1pt	+0.3pt	-0.4pt
電力・ガス・エネルギー	-0.1pt	-0.6pt	+0.3pt	+0.6pt	-1.3pt	-0.8pt	+1.4pt
不動産	-1.0pt	-2.3pt	-0.2pt	-0.6pt	-0.1pt	-0.4pt	-0.5pt
給食・フードサービス	+0.1pt	+0.2pt	±0.0pt	+0.1pt	+0.1pt	+0.1pt	-0.1pt
ホテル・旅行	+0.9pt	+1.6pt	±0.0pt	+1.2pt	±0.0pt	+0.9pt	-0.2pt
医療・調剤薬局	+0.1pt	-0.3pt	+1.0pt	-0.0pt	-1.0pt	-0.5pt	+0.3pt
介護・福祉サービス	-0.2pt	-0.4pt	±0.0pt	-0.0pt	-0.1pt	+0.6pt	+0.1pt
アミューズメント・レジャー	+0.4pt	+0.9pt	+0.3pt	+0.1pt	±0.0pt	+0.0pt	-0.1pt
コンサルティング・調査	-0.2pt	-0.9pt	-0.7pt	-0.1pt	+2.0pt	-0.6pt	-0.2pt
人材サービス(派遣・紹介)	+0.0pt	+0.2pt	+0.1pt	-0.1pt	-0.1pt	-0.3pt	+0.0pt
教育	+0.7pt	+0.4pt	+0.1pt	+1.8pt	-0.2pt	+1.5pt	+0.3pt
エステ・理美容・フィットネス	+0.1pt	±0.0pt	±0.0pt	+0.1pt	+0.2pt	-0.0pt	-0.1pt
冠婚葬祭	-0.3pt	±0.0pt	±0.0pt	-0.8pt	-0.2pt	+0.0pt	-0.1pt
その他サービス	-0.3pt	-0.6pt	-0.1pt	-0.0pt	-0.3pt	-0.9pt	-0.2pt
官公庁・公社・団体	-0.1pt	+3.6pt	+0.0pt	-4.2pt	+0.9pt	+0.9pt	-0.2pt
特定の業種を志望していない	+2.1pt	+2.5pt	+2.9pt	+1.1pt	+2.2pt	+0.0pt	+1.5pt

志望割合が増えた業種・トップ5

志望割合が減った業種・トップ5

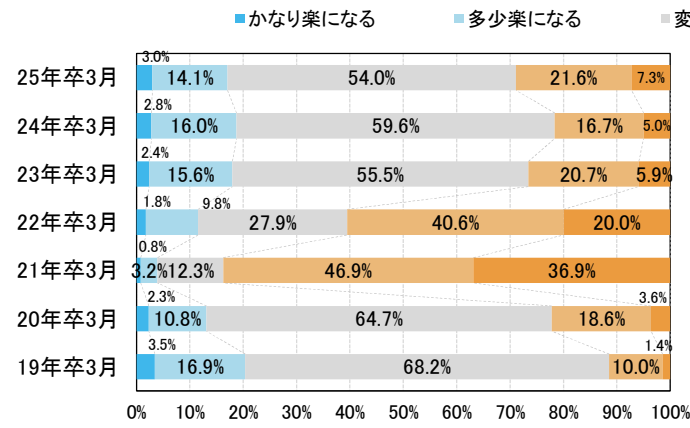
	文系男子	文系女子	文系男子	文系女子
ソフトウェア・情報処理・ネット関連	+7.2pt	鉄道・航空	+2.7pt	陸運・海運・物流
官公庁・公社・団体	+3.6pt	ソフトウェア・情報処理・ネット関連	+2.5pt	住宅・インテリア
クレジット・信販・リース・その他金融	+1.9pt	教育	+1.8pt	食品・農林・水産
生保・損保	+1.7pt	ホテル・旅行	+1.2pt	銀行・証券・信用金庫
ホテル・旅行	+1.6pt	陸運・海運・物流	+1.0pt	不動産

	理系男子	理系女子	理系男子	理系女子
電子・電気機器	+1.7pt	コンサルティング・調査	+2.0pt	食品・農林・水産
鉄道・航空	+1.2pt	精密・医療機器	+1.6pt	自動車・輸送用機器
住宅・インテリア	+1.1pt	ソフトウェア・情報処理・ネット関連	+1.1pt	繊維・化学・ゴム・ガラス・セラミック
精密・医療機器	+1.1pt	薬品・化粧品	+0.9pt	鉄鋼・金属・鉱業
医療・調剤薬局	+1.0pt	官公庁・公社・団体	+0.9pt	広告・芸能

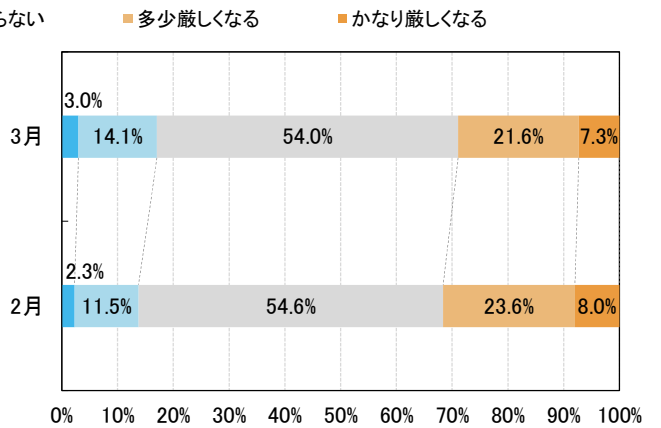
■4: 就職活動の感触・就職観

先輩と比較して、自分たちの就職活動が楽になると思うか、それとも厳しくなると思うか聞いたところ、「(かなり+多少)厳しくなる」と回答した学生は28.9%で前年同月比で7.2pt増となった。「(かなり+多少)楽になる」と回答した学生は17.1%（前年同月比1.7pt減）で「厳しくなる」が「楽になる」を上回る結果となった。  
 楽になると思う理由の1位は「売り手市場（学生が有利）だと思うから（47.1%）」となり、学生も売り手市場であると感じていることが分かる。一方で、厳しくなると思う理由の1位は「採用選考が早期化しているから（72.8%）」で、売り手市場であるという実感はありながらも、採用選考の早期化についてはポジティブに受け取る学生ばかりではないようだ。

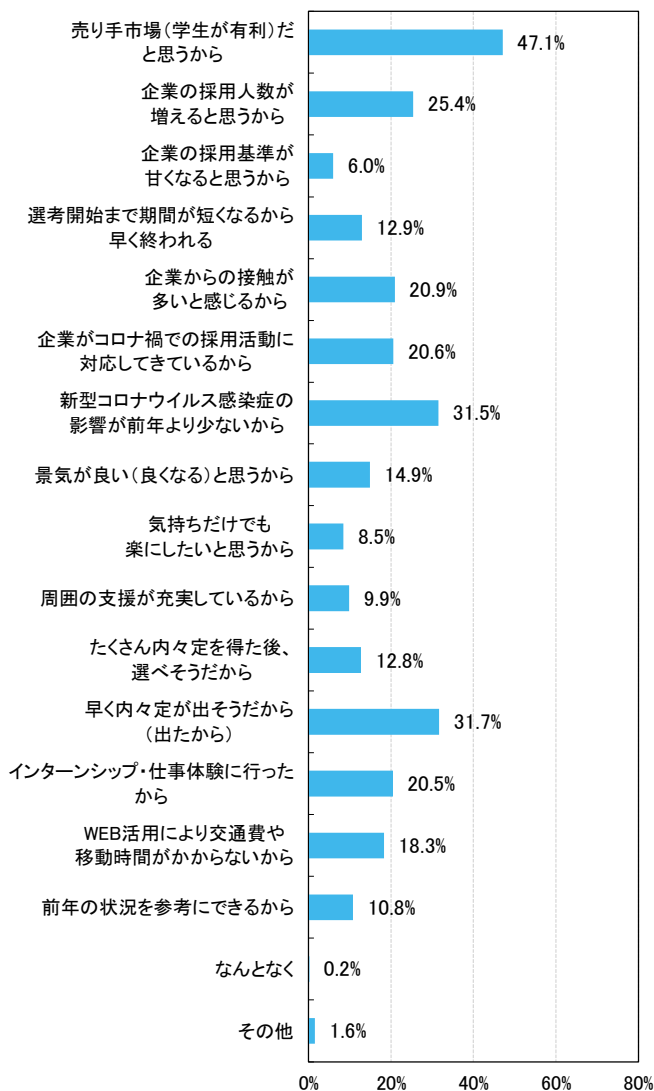
先輩と比較して自分たちの就職活動は(経年同月比較)



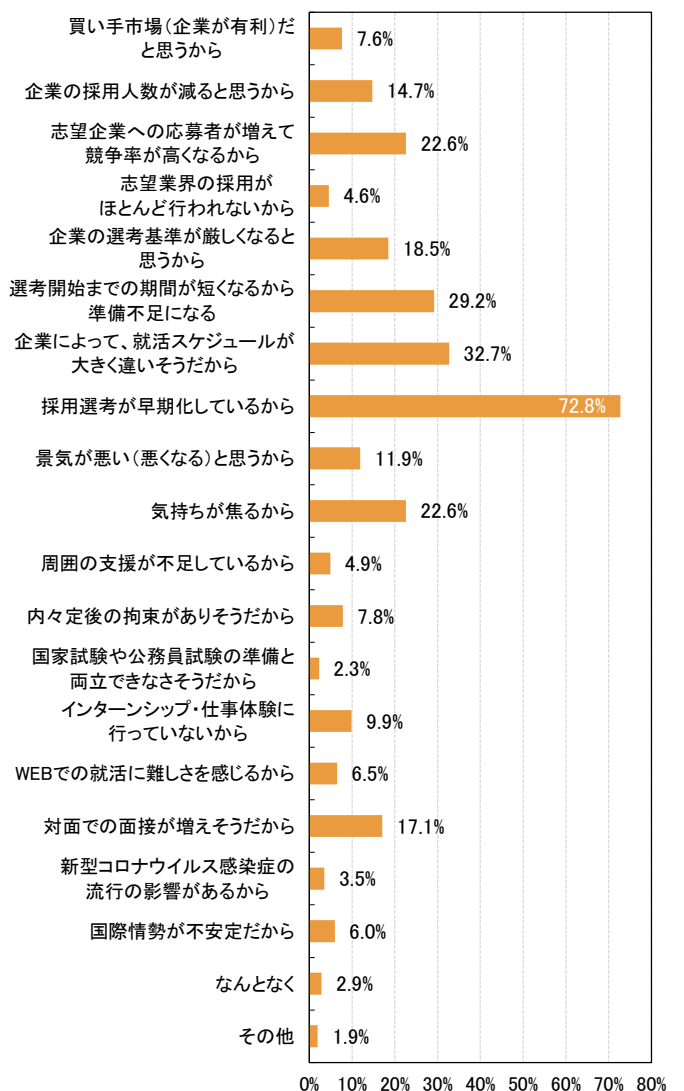
先輩と比較して自分たちの就職活動は(今年2月~3月)



楽になると思う理由【複数回答】 n=354



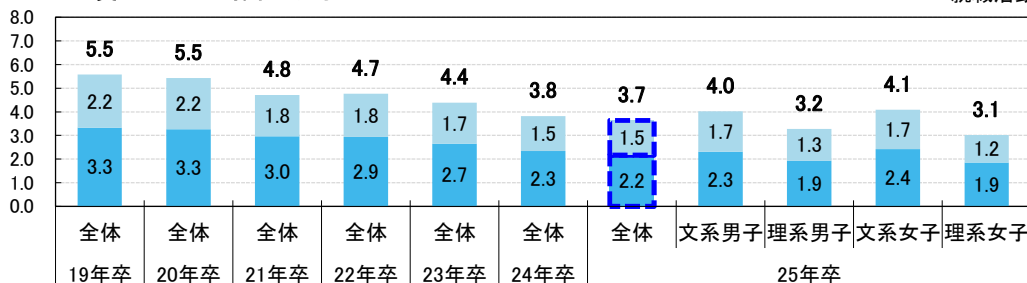
厳しくなると思う理由【複数回答】 n=403



現時点で就職活動に不安がある学生の割合は59.7%（前月比16.1pt減、前年同月比5.2pt減）で前月から大きく減った。不安の内容では前年同月と同じく「志望企業から内々定をもらえるかどうか（63.4%、対前年同月3.6pt減）」が最も高く、次が「対面の面接でうまく話せるか（57.4%、対前年同月1.3pt減）」だった。  
 この時期最も注力している（頭を悩ませている）就職活動の内容では、約4割が「面接対策（40.8%、対前年同月0.2pt増）」と回答した。また、2割弱が「活動終了 または 注力している（頭を悩ませている）ことはない（22.2%、対前年同月2.9pt増）」で、その割合は前年同月よりも増加した。

1日に費やしている時間の平均 ※グラフ上太数字は、2項目の和

■就職活動準備のために ■就職活動のために



【就職活動準備】

業界研究、インターンシップ・仕事体験、自己分析等。移動時間は含まない。

【就職活動】

エントリー、参加必須の説明会参加、エントリーシート記入、選考参加等。移動時間は含まない。

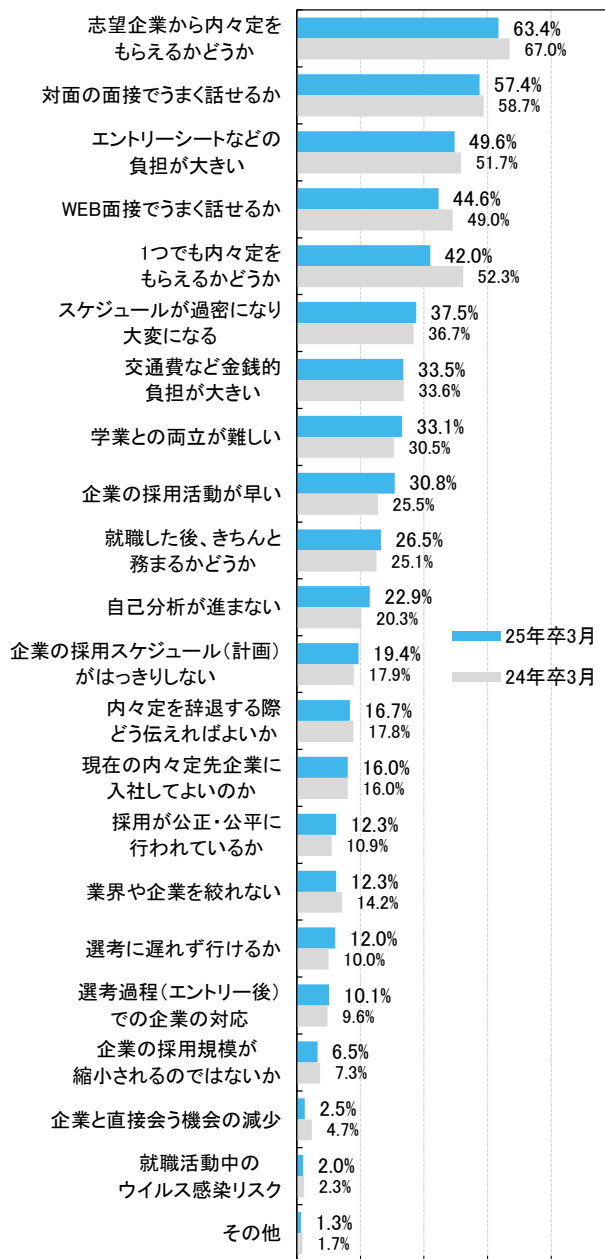
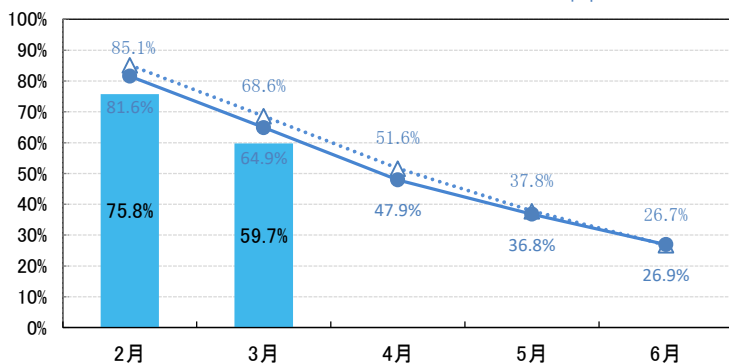
【単位：時間】

現時点で就職活動に不安がある学生の割合

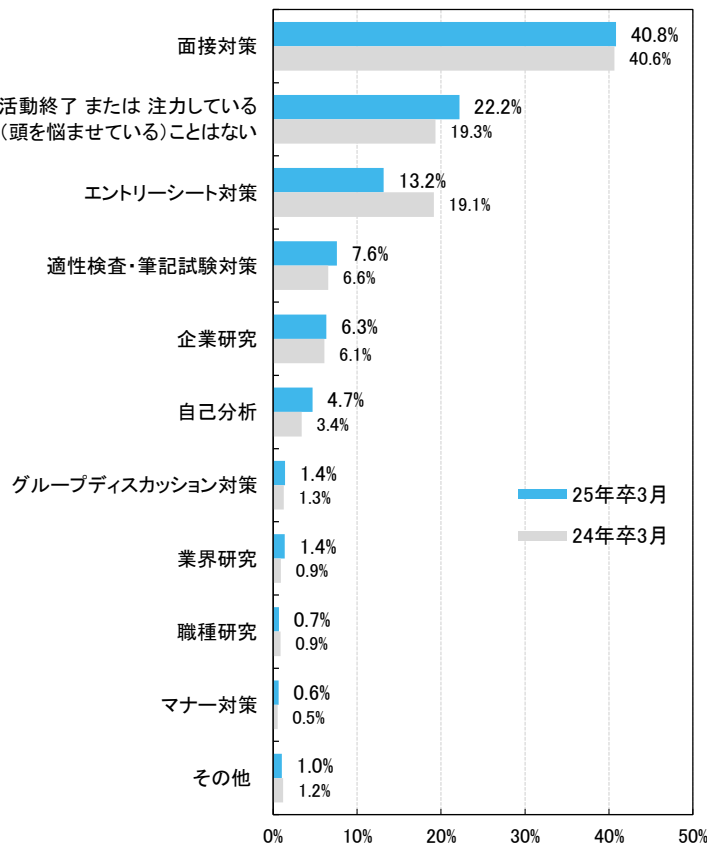
■ 25年卒 ● 24年卒 ▲ 23年卒

就職活動に対して持っている不安の内容【複数回答】

n=1,020



この時期最も注力している(頭を悩ませている)就職活動の内容

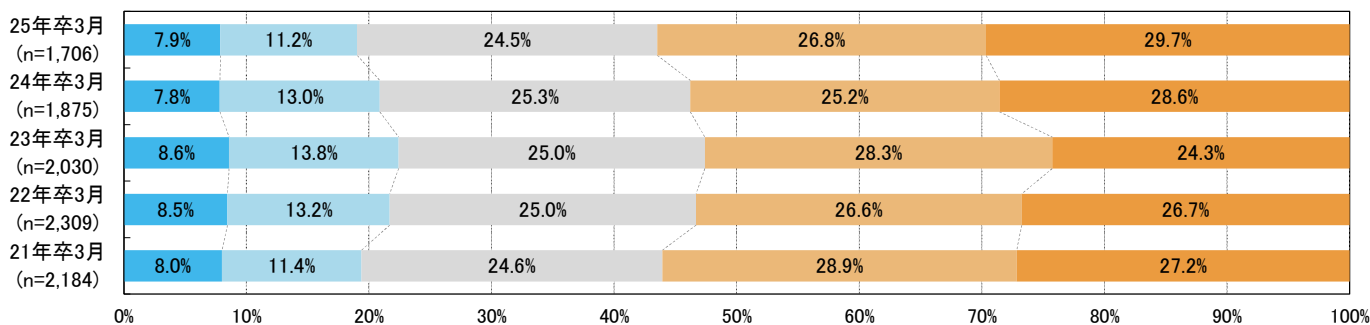


■5:企業選択のポイント

現在の活動の中心である企業規模について5段階で聞いたところ、「大手企業中心(+どちらかといえば)」は56.5%（対前年2.7pt増）で2年連続で増加した。文理男女別にみると、男女ともに理系学生の方が大手企業中心と回答する割合が多い。企業を選ぶ時に特に注目するポイント（3つまで選択）では、「福利厚生制度が充実している（39.3%）」が前年2位から1位に、「給与や賞与が高い（32.3%）」が前年4位から3位に順位を上げた。25年卒学生はコロナ禍や物価高の影響を受けた学生生活となったことから、このような待遇の良さへの意識が高く、それが大手志向につながったのではないだろうか。

現在の活動は 中小企業中心 ← 5段階 → 大手企業中心

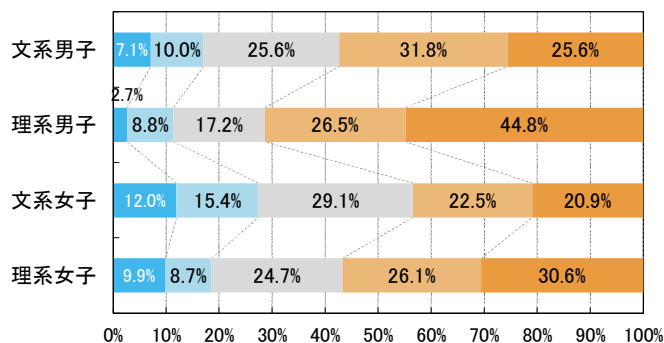
■ 中小企業中心 ■ どちらかといえば中小企業中心 ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば大手企業中心 ■ 大手企業中心



《文理男女別》

5段階

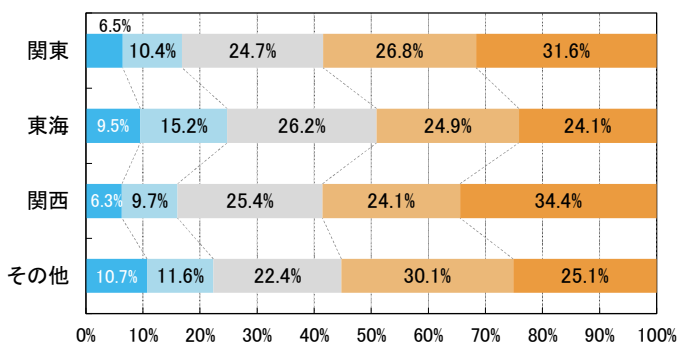
中小企業中心 ← 大手企業中心



《エリア別》

5段階

中小企業中心 ← 大手企業中心



企業を選ぶときに、あなたが特に注目するポイント

	3つまで選択					最も注目するポイント					
	順位	前年順位	変動	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子	順位	前年順位	全体
福利厚生制度が充実している	1	2	↑	39.3%	35.0%	43.9%	39.1%	44.3%	3	4	11.8%
社員の間関係が良い	2	1	↓	37.7%	38.9%	34.5%	39.1%	36.2%	1	2	14.9%
給与や賞与が高い	3	4	↑	32.3%	31.4%	24.5%	29.4%	40.4%	5	6	8.9%
自分が成長できる環境がある	4	3	↓	32.1%	33.4%	31.8%	30.2%	31.5%	2	1	13.3%
希望する勤務地で働ける	5	5	→	30.3%	27.1%	35.4%	29.9%	33.4%	4	3	11.3%
企業経営が安定している	6	6	→	21.4%	21.6%	15.5%	24.4%	21.6%	6	5	7.3%
社会貢献度が高い	7	8	↑	17.3%	18.6%	18.7%	15.0%	16.2%	7	8	6.5%
企業の成長性が見込める	8	9	↑	15.2%	15.4%	14.6%	16.9%	13.7%	9	9	4.8%
経営理念・企業理念に共感できる	9	7	↓	15.0%	18.0%	15.5%	14.6%	10.1%	8	7	5.5%
業界上位である	10	11	↑	11.0%	13.1%	9.9%	11.3%	7.9%	10	10	3.6%
社員が親身に対応してくれる	11	10	→	10.5%	8.9%	15.9%	9.9%	10.9%	11	11	2.8%
技術力がある	12	12	→	8.1%	7.1%	10.2%	8.2%	8.5%	12	12	2.3%
平均勤続年数が高い	13	13	→	7.9%	8.9%	9.5%	6.8%	6.4%	16	13	1.0%
仕事を任せてもらえる	14	14	→	5.3%	4.6%	3.3%	8.2%	5.0%	15	15	1.2%
職種別採用がある	15	15	→	4.5%	5.5%	4.5%	2.9%	4.1%	13	14	1.7%
国際的な仕事ができる	16	16	→	4.4%	4.1%	3.5%	6.8%	3.2%	14	16	1.3%
女性が活躍している	17	17	→	2.8%	3.5%	2.9%	2.5%	1.7%	17	19	0.6%
社員の話に説得力があった	18	19	↑	1.8%	1.8%	1.1%	1.5%	2.5%	20	17	0.4%
商品企画力がある	19	18	↓	1.7%	1.9%	1.9%	2.4%	0.9%	18	18	0.5%
SDGsに熱心に取り組んでいる	20	20	→	1.6%	1.3%	2.8%	1.2%	1.8%	19	20	0.4%

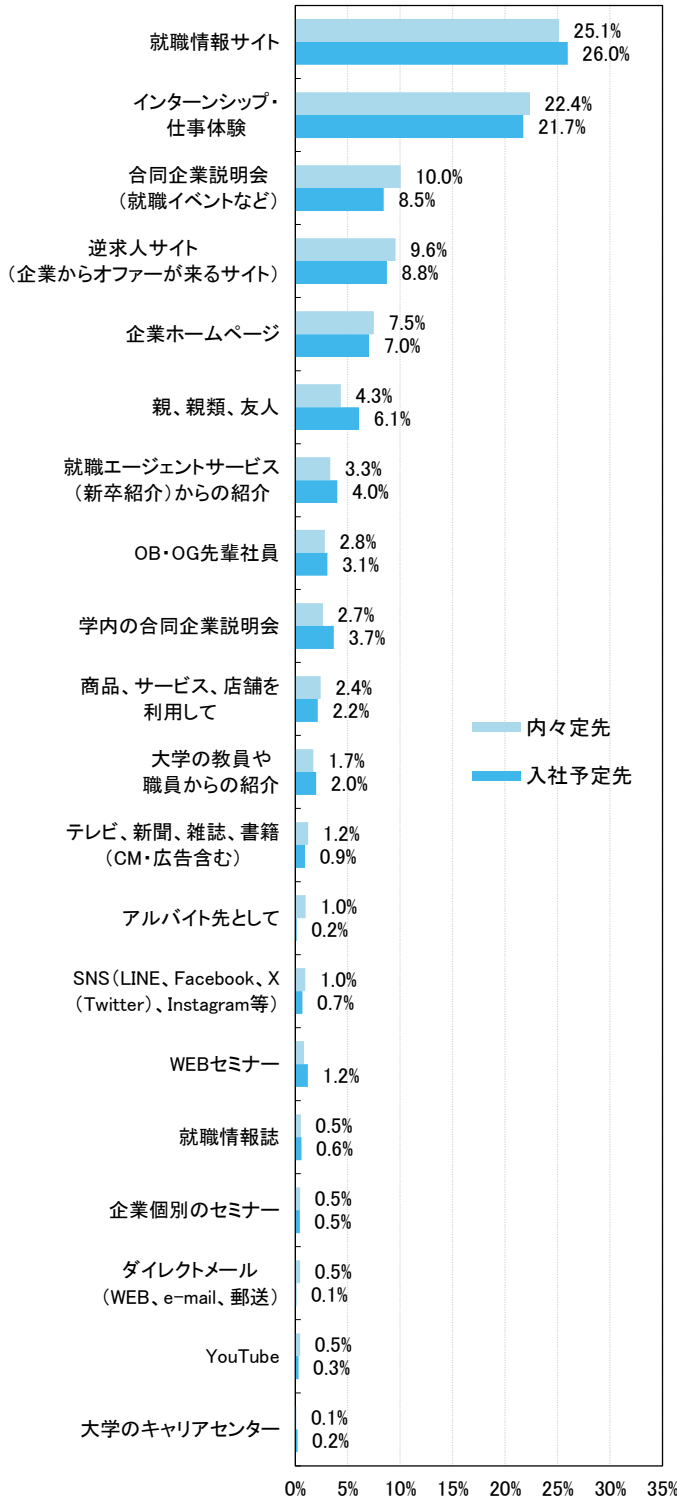
■6:内々定保有者の活動状況

3月の活動状況で「内々定を得た(67.8%)」と回答した学生に、入社予定先に決めている内々定先または最も志望度が高い内々定先1社について聞いた。内々定を得た企業の中から入社予定先を決めているのは49.2%で、対前年で3.8pt増加した。内々定先の業種は「ソフトウェア・情報処理・ネット関連(16.9%)」が突出しており、入社予定先を決めているうちの9.9%がこの業種に入社予定と回答している。内々定先/入社予定先の主な発見ツールとしては「就職情報サイト(内々定先25.1%/入社予定先26.0%)」「インターンシップ・仕事体験(内々定先22.4%/入社予定先21.7%)」の順で回答率が多かった。

※内々定保有者に対し、以下のように聞いています。  
 入社予定先を決めている人：入社予定先の企業  
 入社予定先を決めていない人：内々定先のうち最も志望度が高い企業

内々定先の主な発見ツール

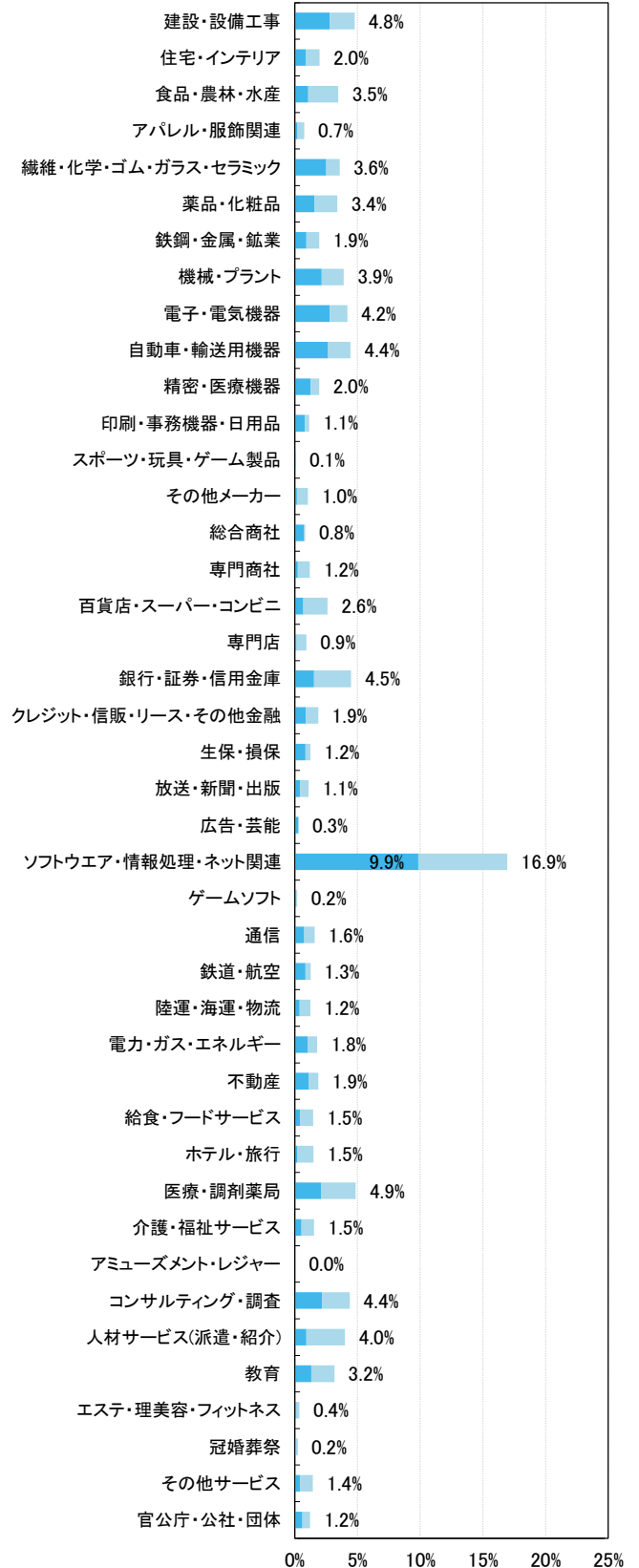
内々定先 n=1,047 入社予定先 n=508



内々定先の業種

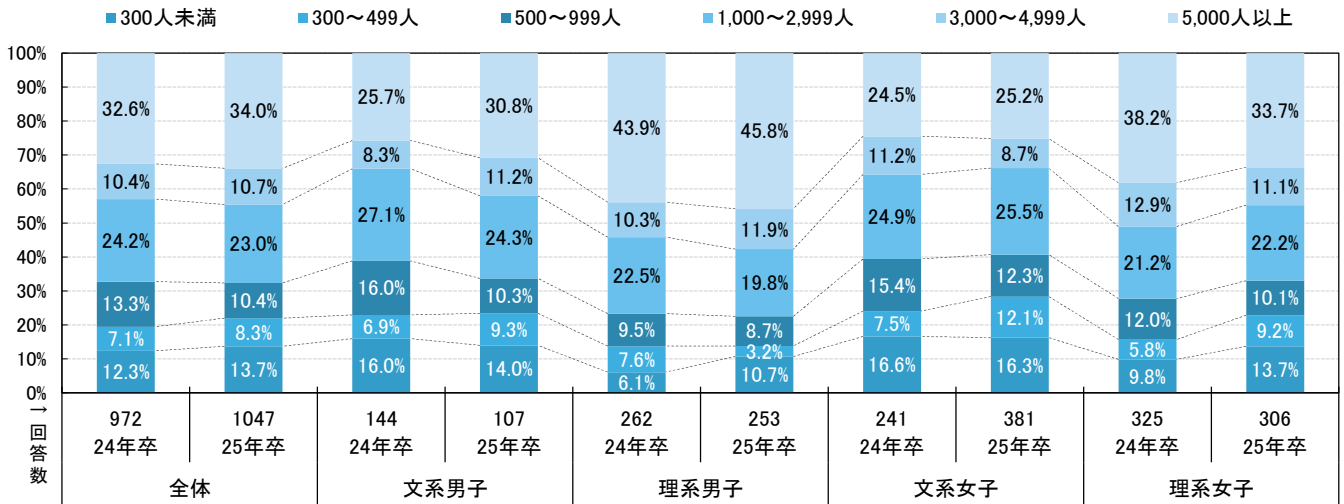
25年卒 n=1,047 24年卒 n=972

うち入社予定先 ※数字は内々定先の割合

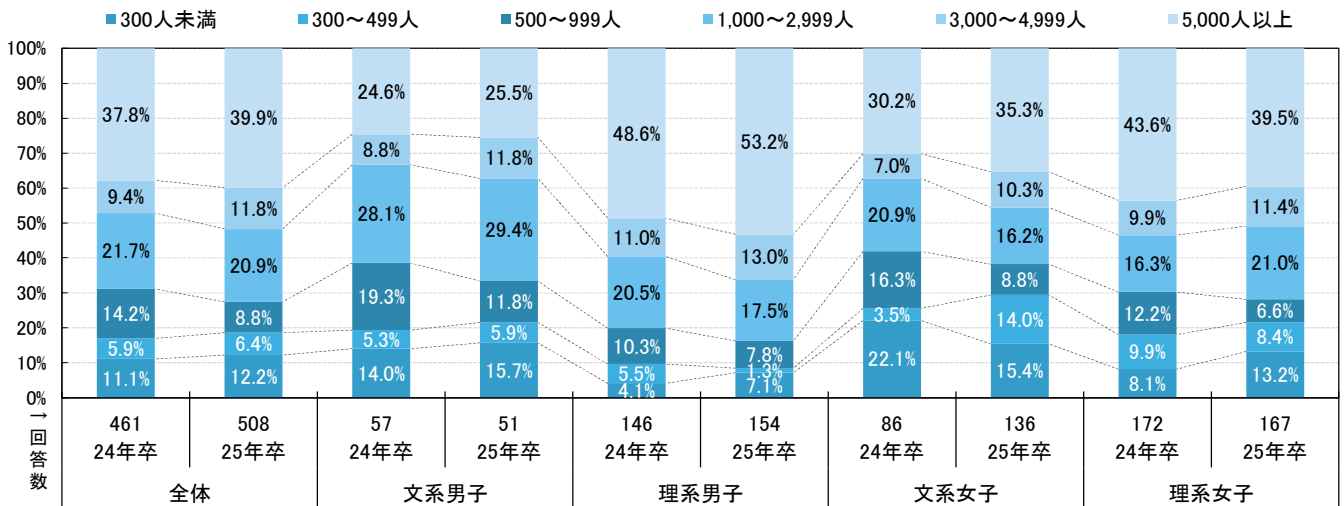




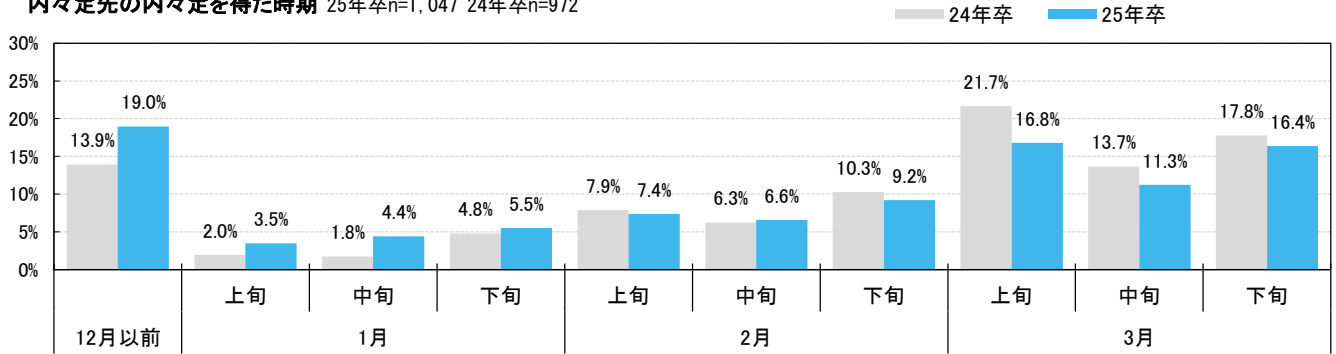
内々定先の規模 25年卒n=1,047 24年卒n=972



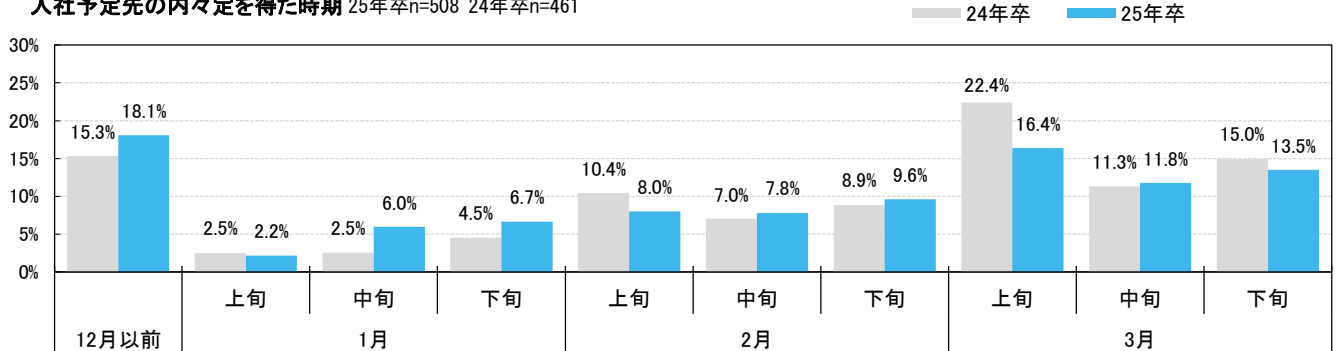
入社予定先企業の規模 25年卒n=508 24年卒n=461



内々定先の内々定を得た時期 25年卒n=1,047 24年卒n=972



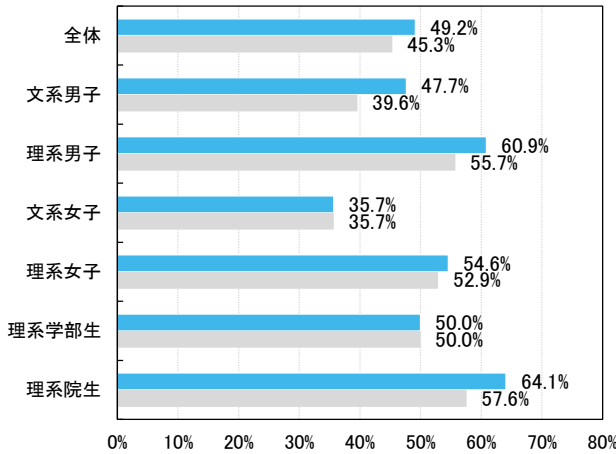
入社予定先の内々定を得た時期 25年卒n=508 24年卒n=461



現段階で内々定獲得企業の中から入社予定先を決めている割合

25年卒n=1,047 24年卒n=972

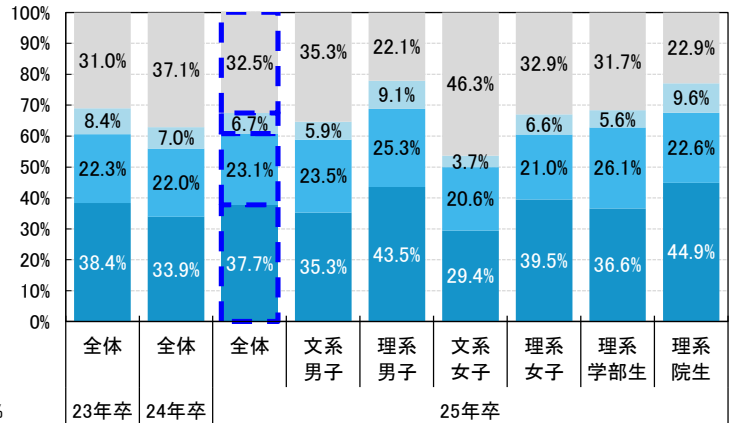
■ 25年卒3月 ■ 24年卒3月



入社予定先企業は、初めてその企業と接触する前の時点では第何志望だったか

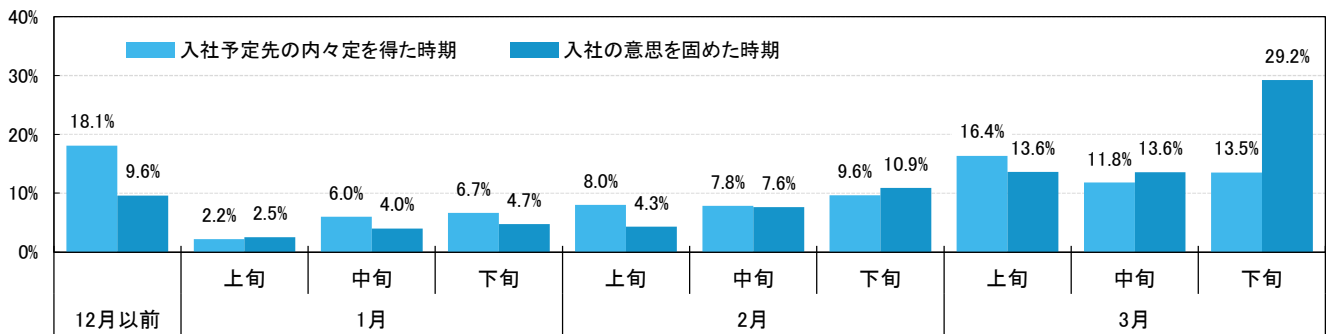
25年卒n=508 24年卒n=461

■ 第一志望 ■ 第二志望 ■ 第三志望 ■ それ以外

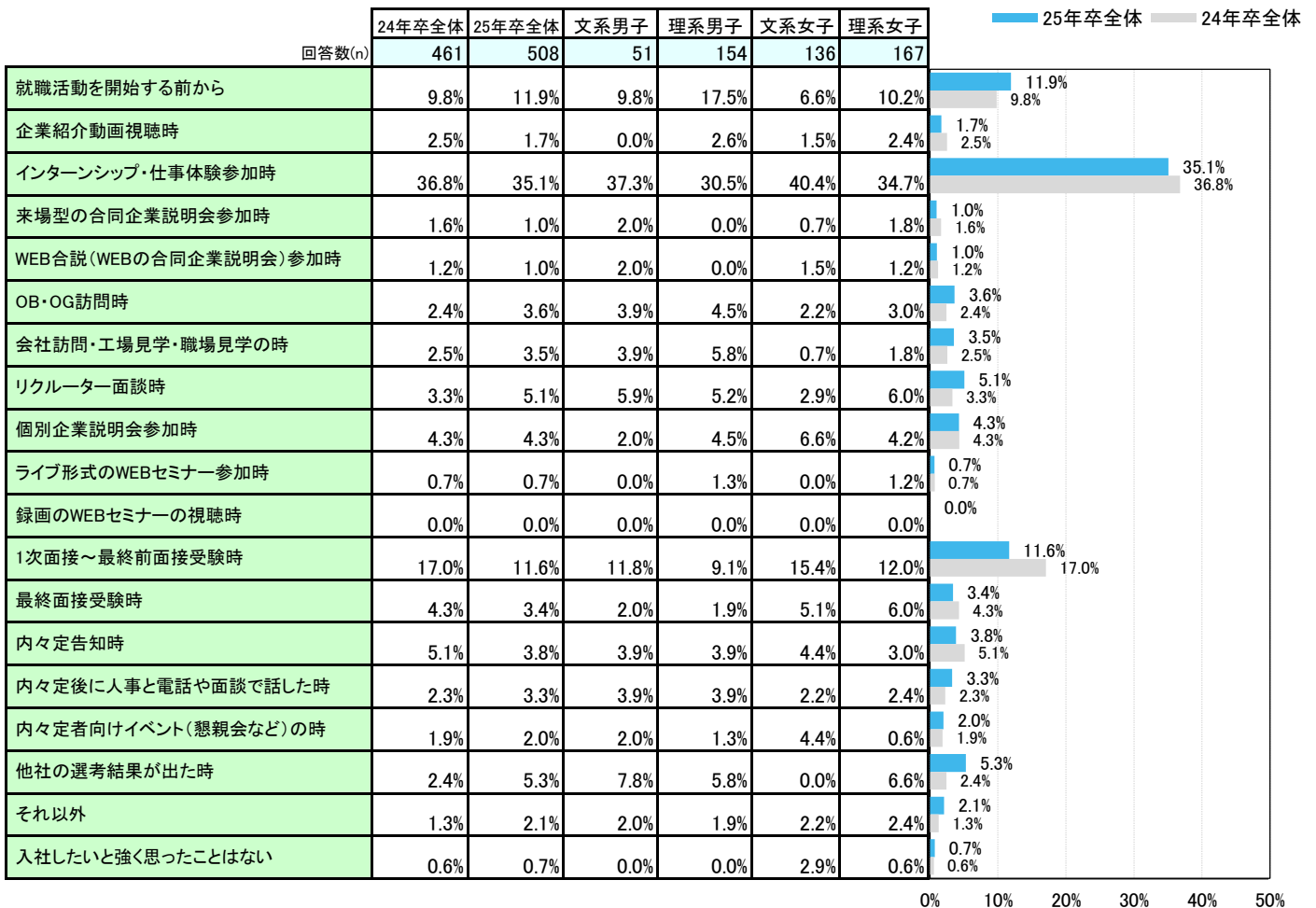


入社予定先企業から内々定を得た後、入社を固めた時期

25年卒n=508 24年卒n=461



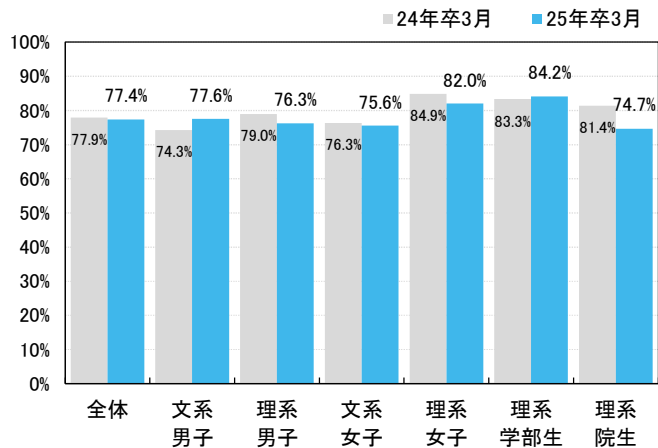
その企業に入社したいと最初に強く思ったタイミング



内々定先のインターンシップ・仕事体験に参加した割合は77.4%（対前年同月比0.5pt減）でほとんど変化がなかったが、入社予定先のインターンシップ・仕事体験に参加した割合は85.7%（対前年同月比4.0pt増）で前年より増加した。  
 インターンシップ・仕事体験に参加した時期は、内々定先企業／入社予定先企業ともに、ピークは8、9、12月であるが、8、9月の参加率が増加しているのに対し、12月の参加率は減少した。夏に参加した企業から内々定を得ている学生が増えている結果となった。  
 平均参加日数は内々定先で3.5日（対前年同月比0.4pt増）、入社予定先で4.2日（対前年同月比0.3pt増）といずれも増加しており、長い日数をかけてより理解が深まった企業から内々定を得ているのではないだろうか。

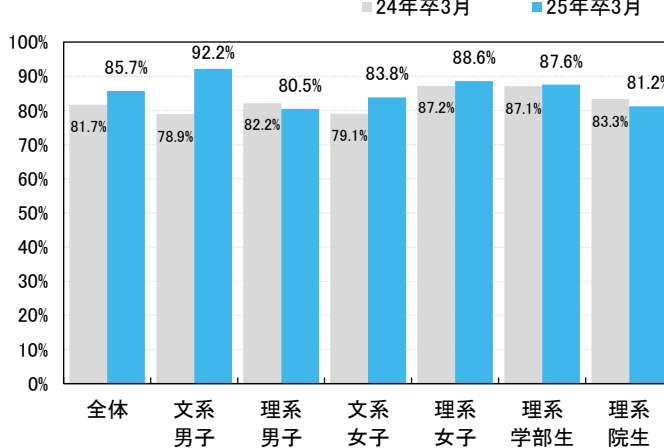
内々定先のインターンシップ・仕事体験に参加した割合

25年卒n=1,047 24年卒n=972



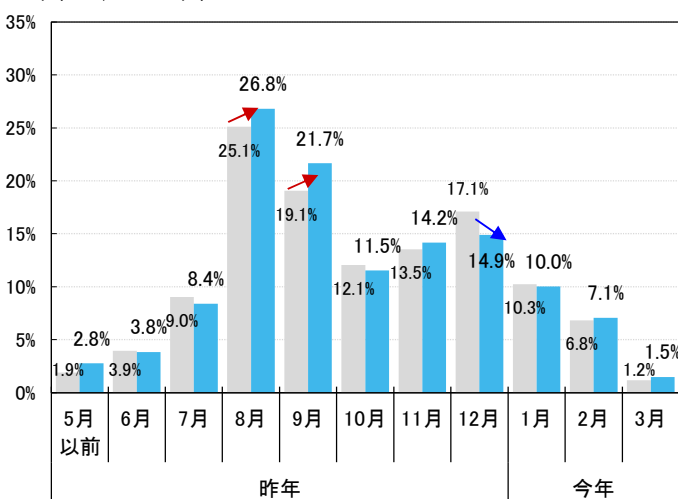
入社予定先のインターンシップ・仕事体験に参加した割合

25年卒n=508 24年卒n=461



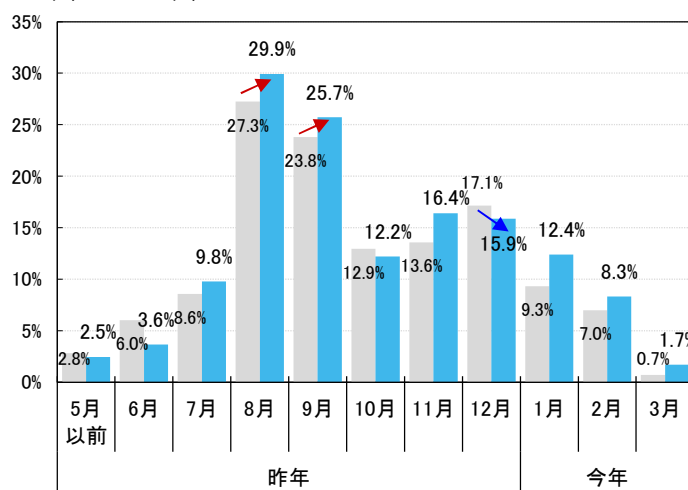
内々定先のインターンシップ・仕事体験に参加した時期すべて【複数回答】

25年卒n=1,047 24年卒n=972



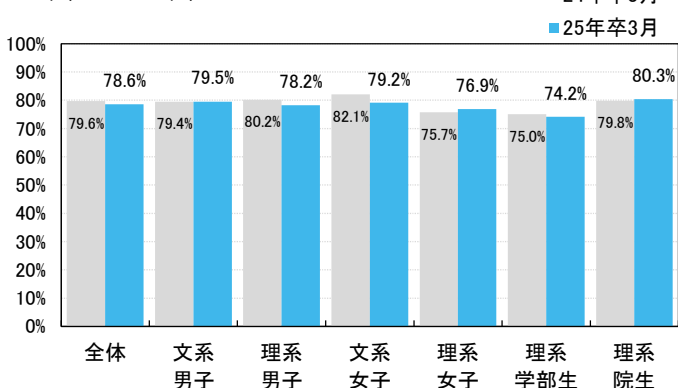
入社予定先のインターンシップ・仕事体験に参加した時期すべて【複数回答】

25年卒n=508 24年卒n=461



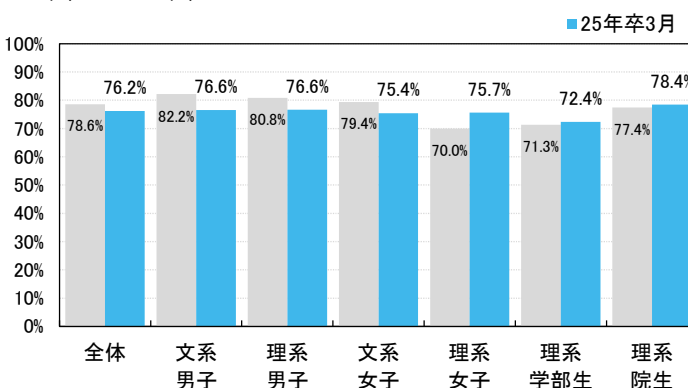
内々定先の採用選考がインターンシップ・仕事体験参加者限定のものだった割合

25年卒n=815 24年卒n=774

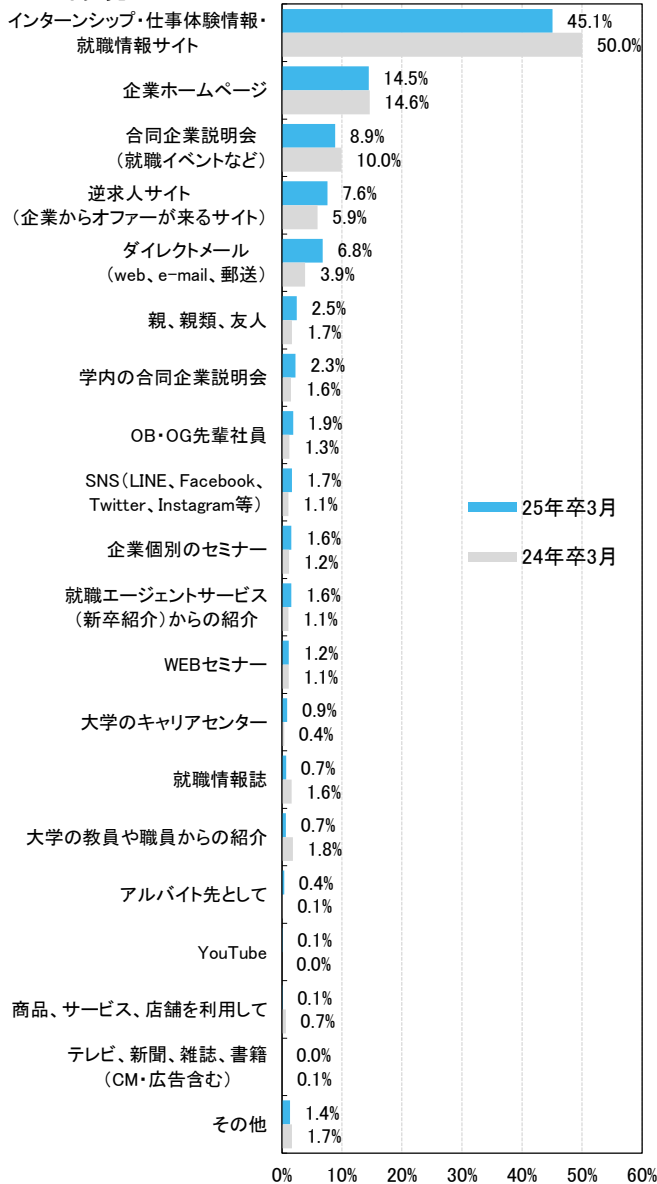


入社予定先の採用選考がインターンシップ・仕事体験参加者限定のものだった割合

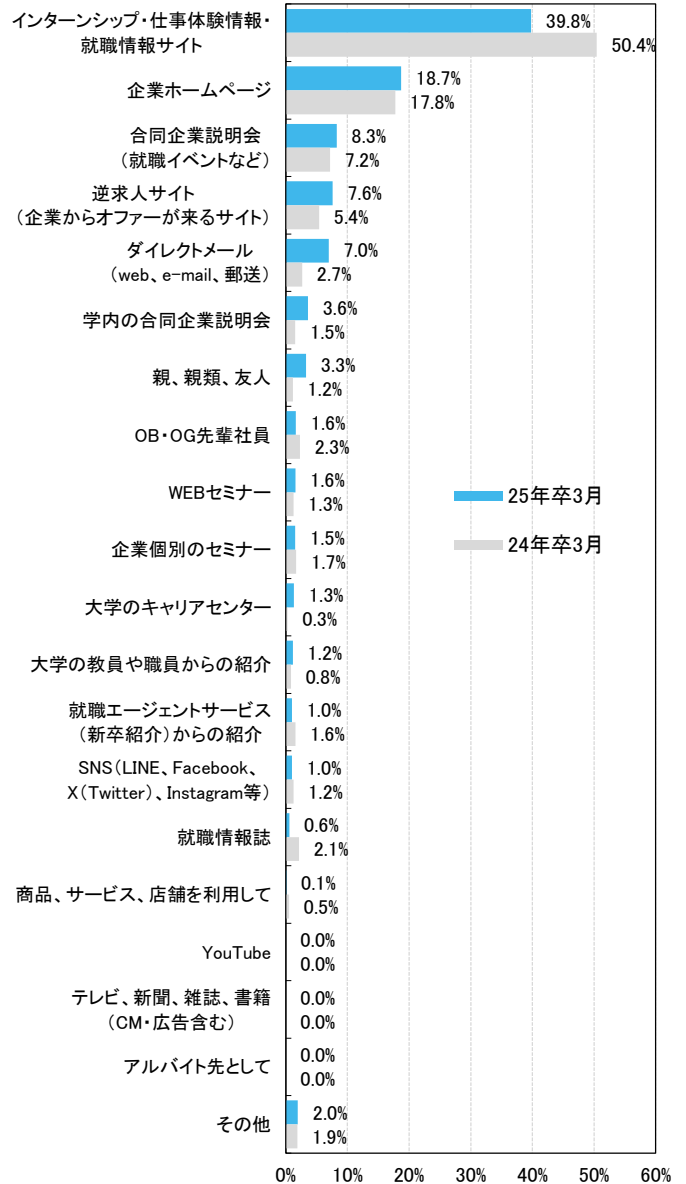
25年卒n=433 24年卒n=383



内々定先のインターンシップ・仕事体験の  
主な発見ツール 25年卒n=815 24年卒n=774



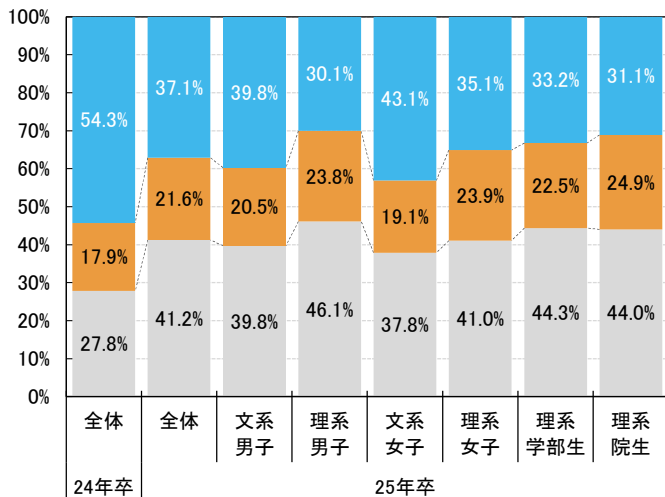
入社予定先のインターンシップ・仕事体験の主な発見ツール  
25年卒n=433 24年卒n=383



内々定先のインターンシップ・仕事体験には  
対面で参加したか、オンラインで参加したか

25年卒n=815 24年卒n=774

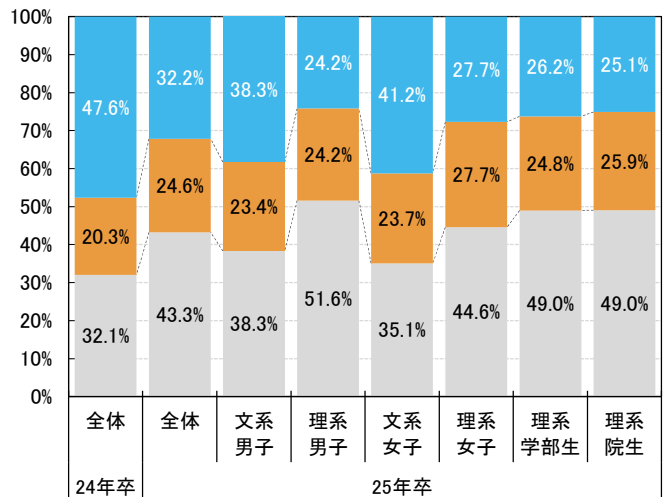
- 対面で参加した
- 対面とオンラインの両方で参加した
- オンラインで(WEB上で)参加した



入社予定先のインターンシップ・仕事体験には  
対面で参加したか、オンラインで参加したか

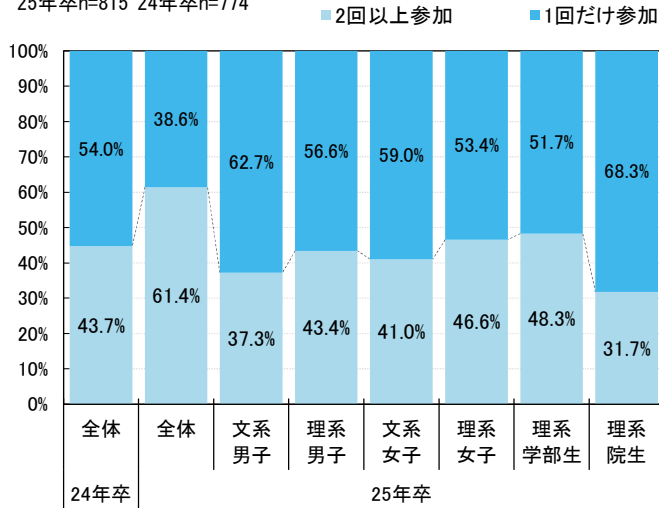
25年卒n=433 24年卒n=383

- 対面で参加した
- 対面とオンラインの両方で参加した
- オンラインで(WEB上で)参加した



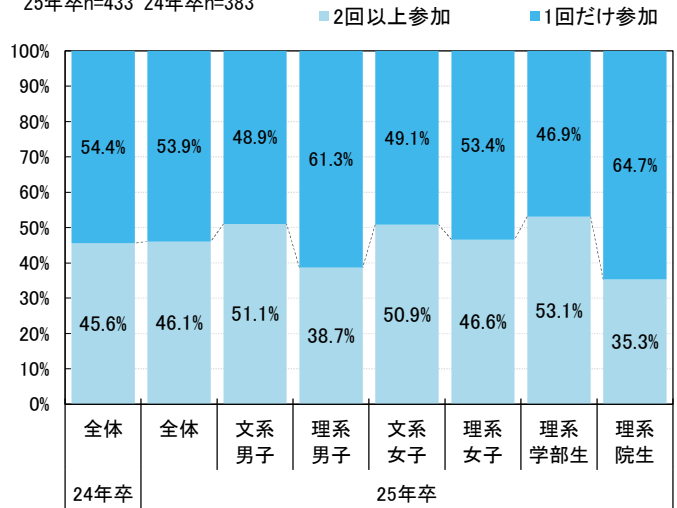
内々定先の企業の  
インターンシップ・仕事体験に2回以上参加したか

25年卒n=815 24年卒n=774



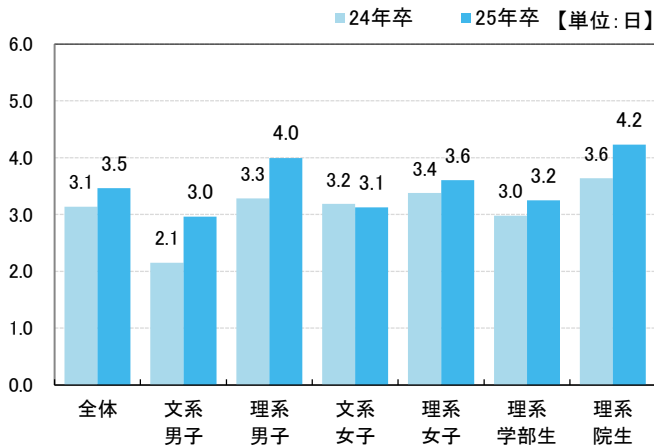
入社予定先の企業のインターンシップ・仕事体験に  
2回以上参加したか

25年卒n=433 24年卒n=383



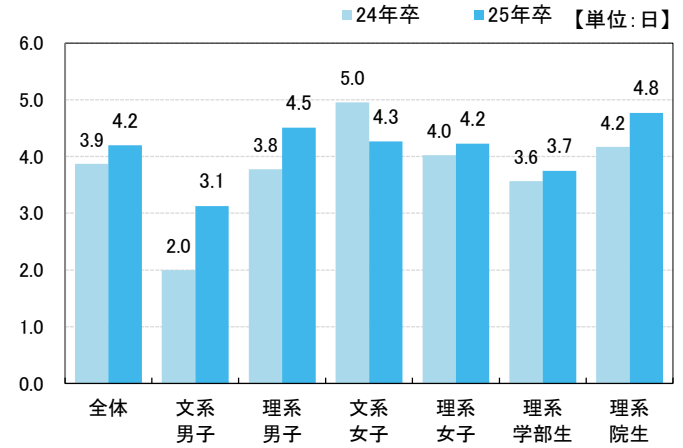
内々定先のインターンシップ・仕事体験参加日数(平均)

25年卒n=815 24年卒n=774



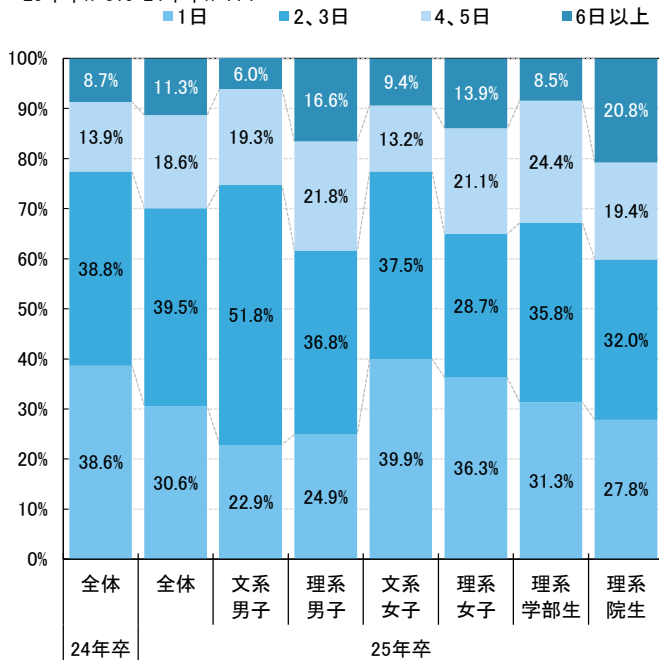
入社予定先のインターンシップ・仕事体験参加日数(平均)

25年卒n=433 24年卒n=383



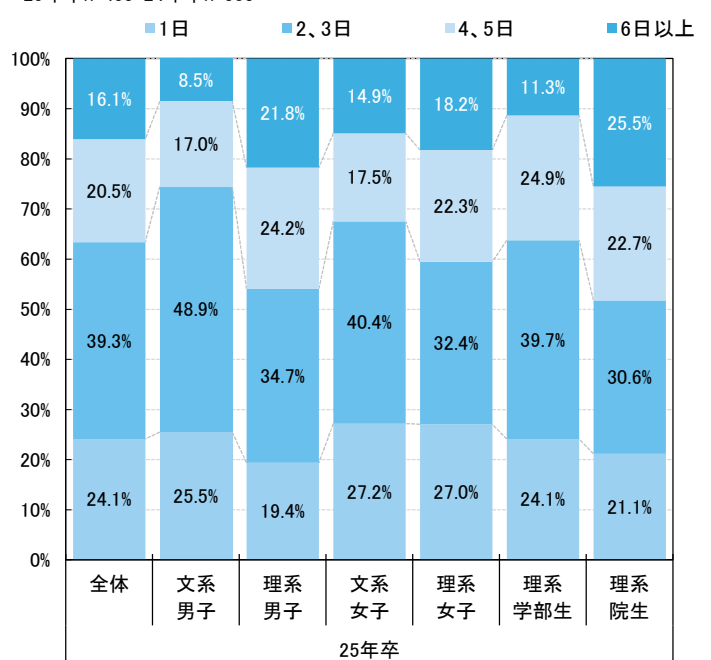
内々定先のインターンシップ・仕事体験参加日数(分布)

25年卒n=815 24年卒n=774



入社予定先のインターンシップ・仕事体験参加日数(分布)

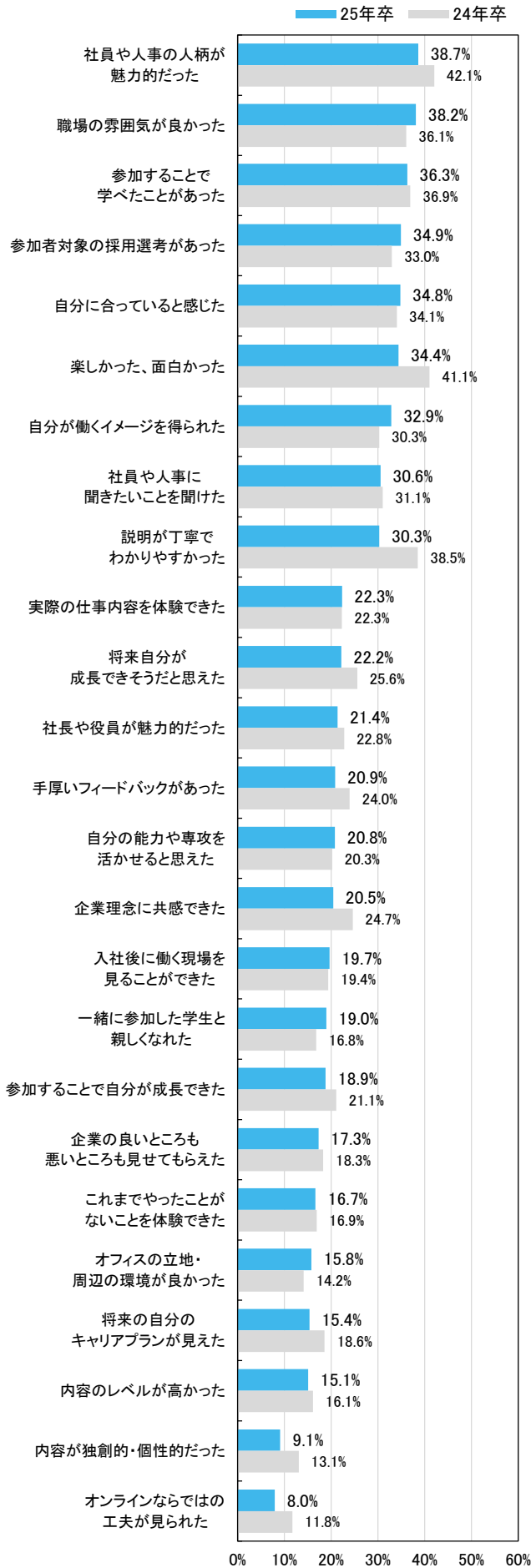
25年卒n=433 24年卒n=383





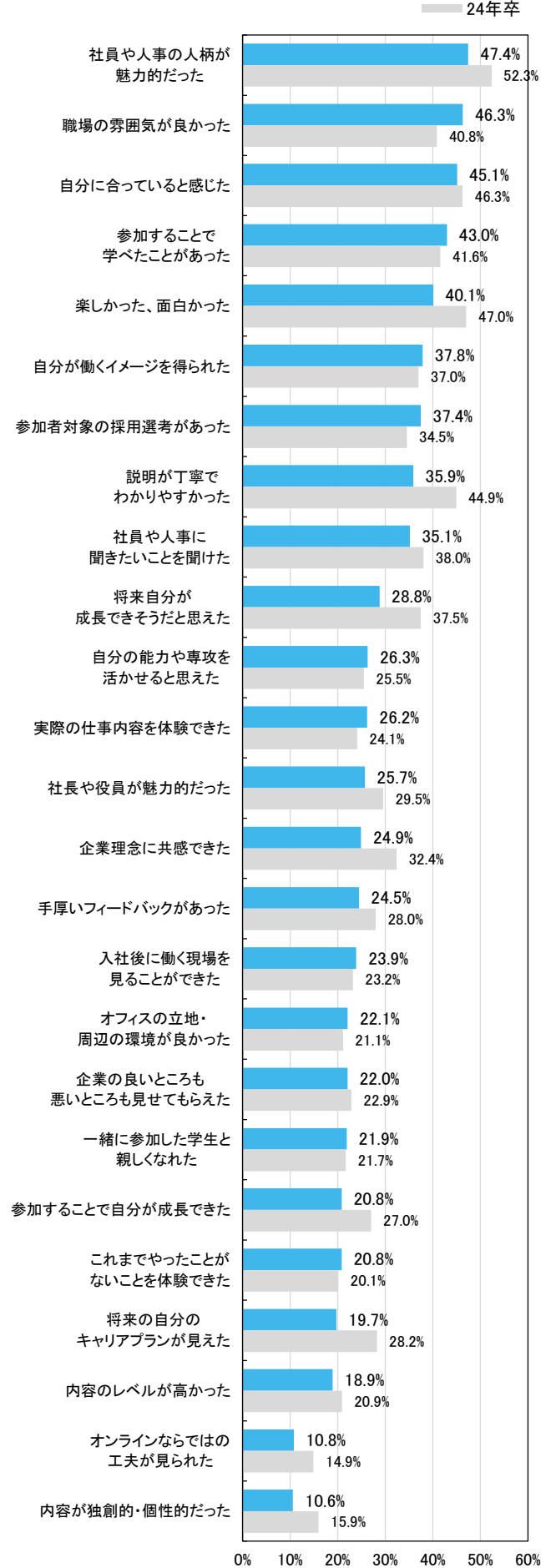
内々定先のインターンシップ・仕事体験に

あてはまるもの【複数回答】25年卒n=815 24年卒n=774

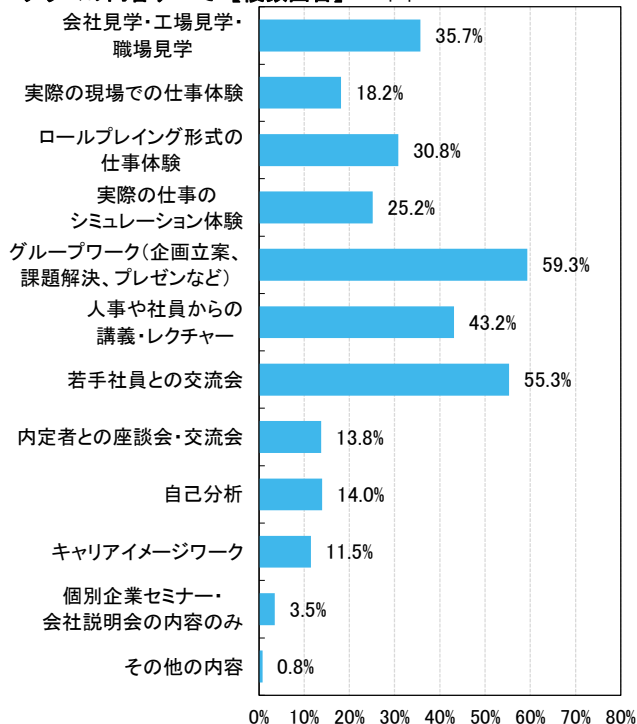


入社予定先のインターンシップ・仕事体験に

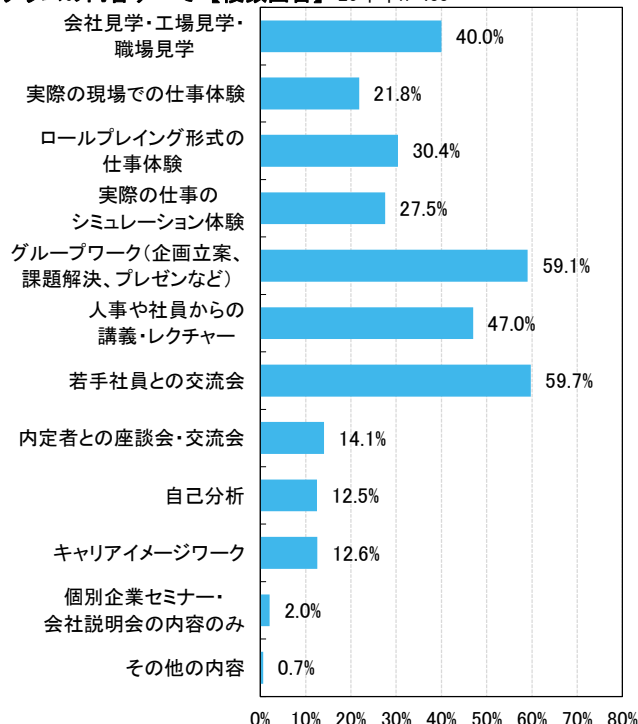
あてはまるもの【複数回答】25年卒n=433 24年卒n=383



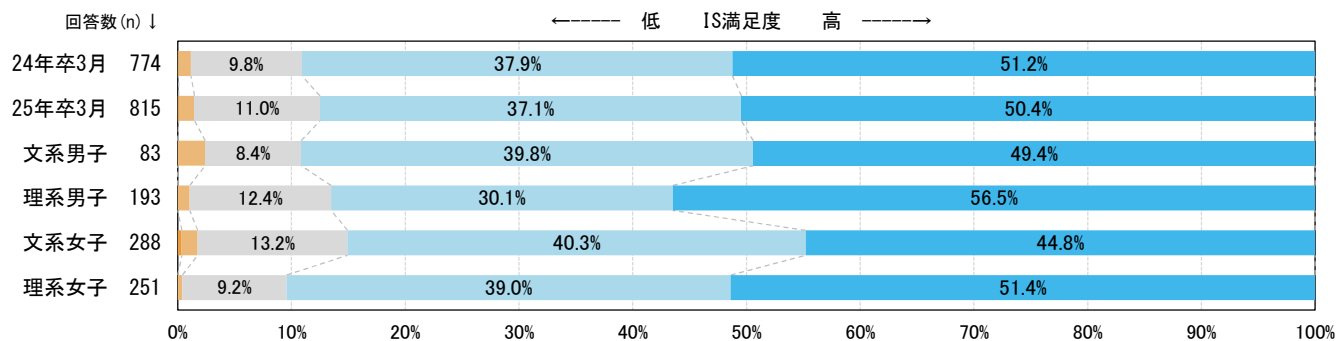
内々定先のインターンシップ・仕事体験に参加した時のプログラムの内容すべて【複数回答】 25年卒n=815



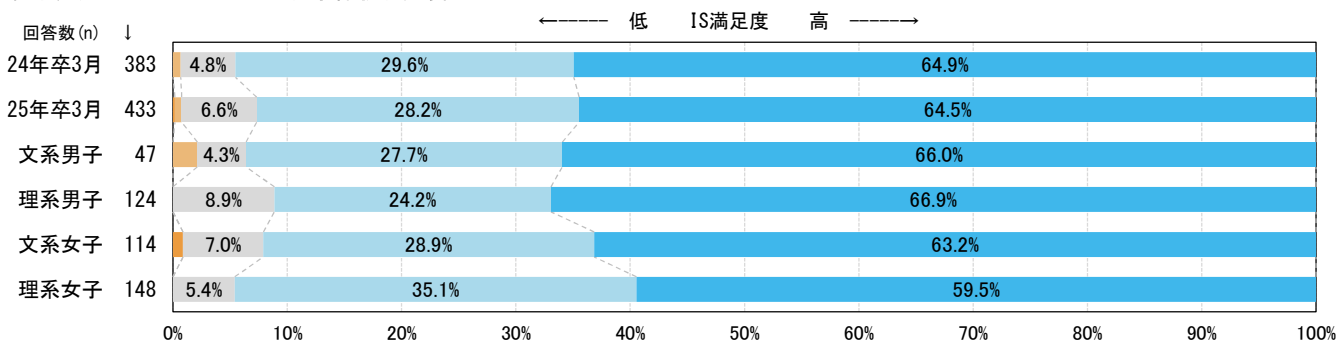
入社予定先のインターンシップ・仕事体験に参加した時のプログラムの内容すべて【複数回答】 25年卒n=433



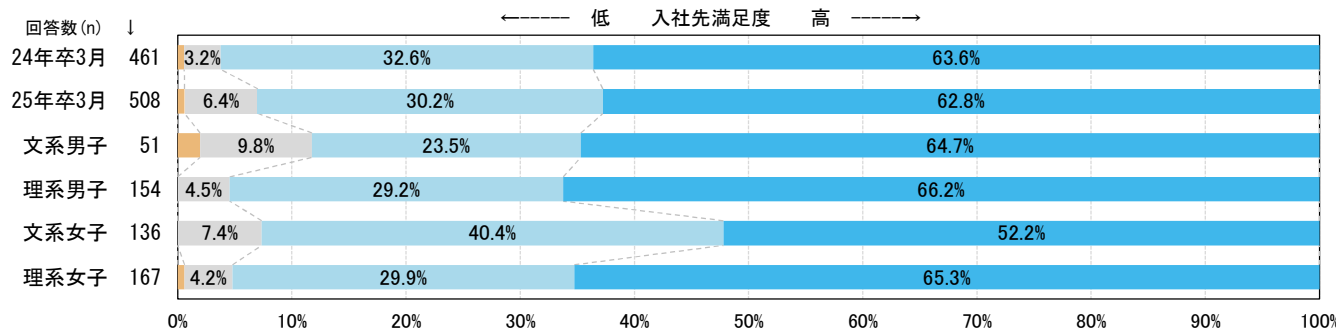
内々定先のインターンシップ・仕事体験満足度



入社予定先のインターンシップ・仕事体験満足度



入社予定先総合満足度



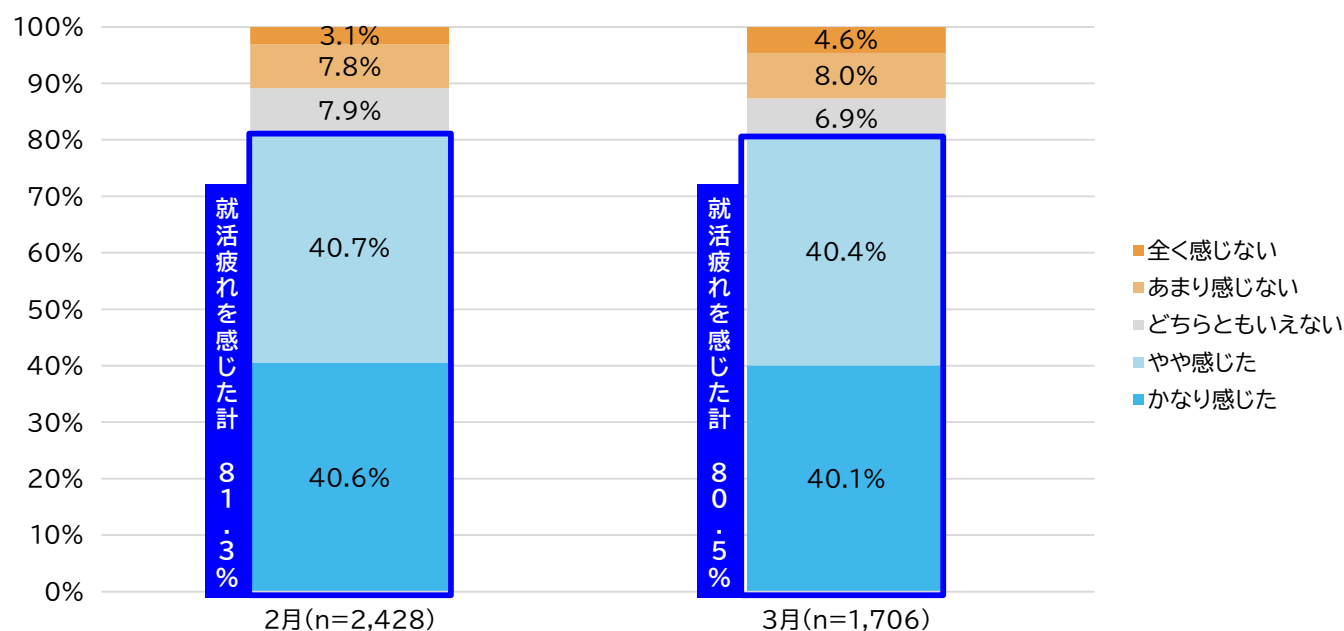
■7:就活疲れ

就活疲れを感じたことはあるか（就活準備を含む）を聞いたところ、「（かなり+やや）感じた」と回答した学生は2月が81.3%、3月は80.5%で、ほとんど変わらない結果となった。

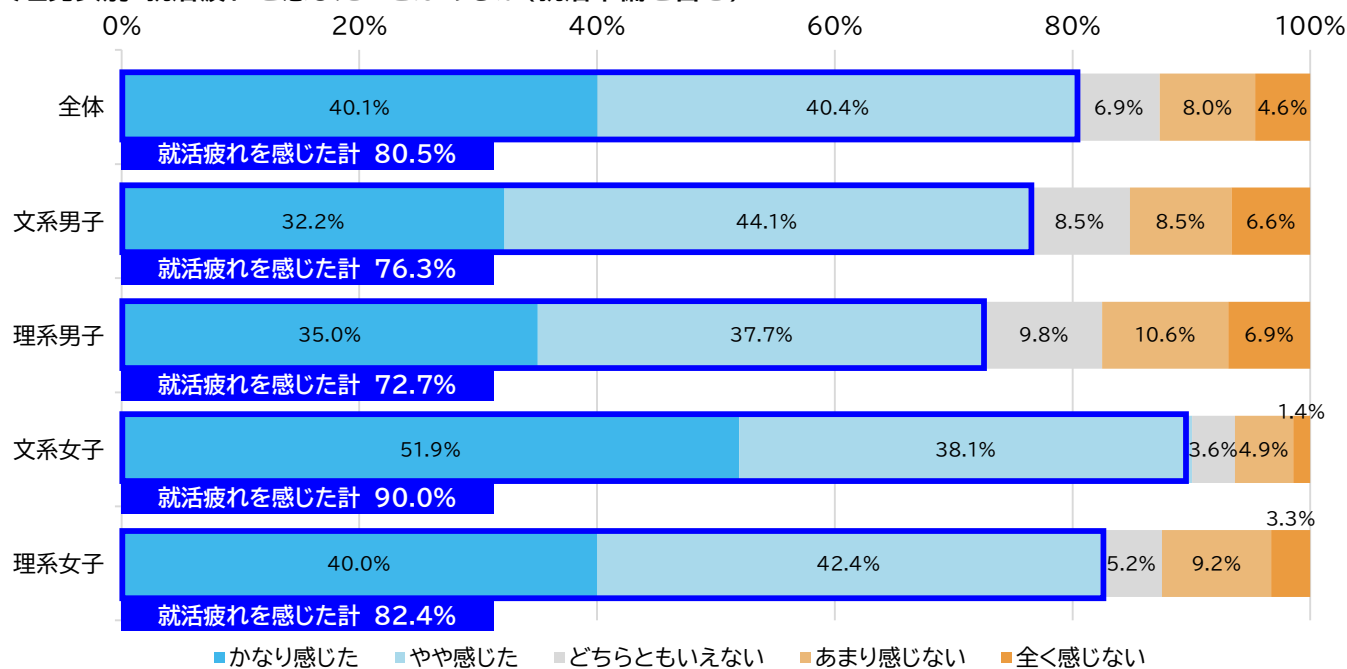
就活疲れを感じた活動は、ほとんどの項目で前月より回答率が減少する中、唯一「最終面接を受けた28.9%（対前月0.8pt増）」のみ増加した。また、就活疲れの理由としてあてはまるものを上位3つまで聞いたところ、「選考結果に一喜一憂してしまう23.7%（対前月4.0pt増）」「面接を受けるのに緊張してしまう37.4%（3.5pt増）」などの回答率が増加していたが、「自己PRが思い浮かばない、うまくプレゼンできない26.9%（4.0pt減）」「周りの学生に圧倒されてしまう17.3%（対前月3.7pt減）」などの回答は減少した。

就活疲れを感じていること自体は2月までと変わらないが、その理由が具体的な選考に関するものとなり、選考を経験する中で自分の軸を持つことができる学生が増えているようだ。

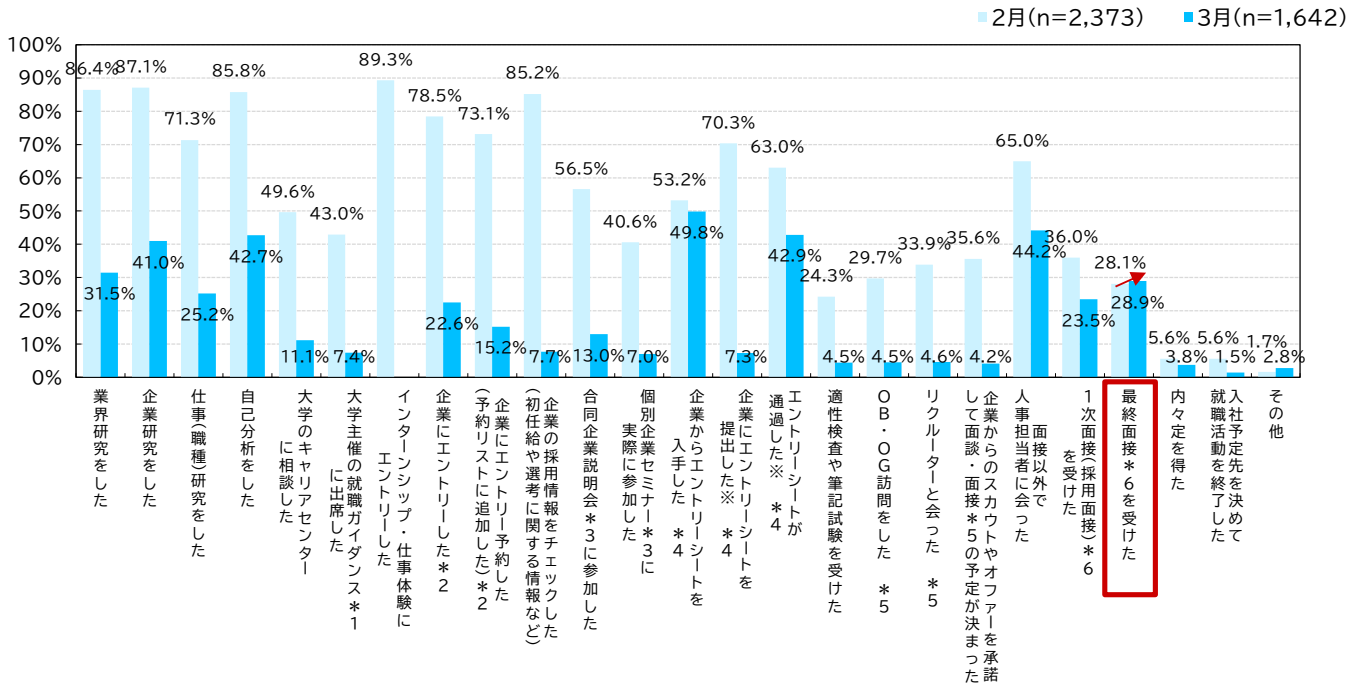
就活疲れを感じたことはあるか(就活準備を含む)



文理男女別・就活疲れを感じたことはあるか(就活準備を含む)

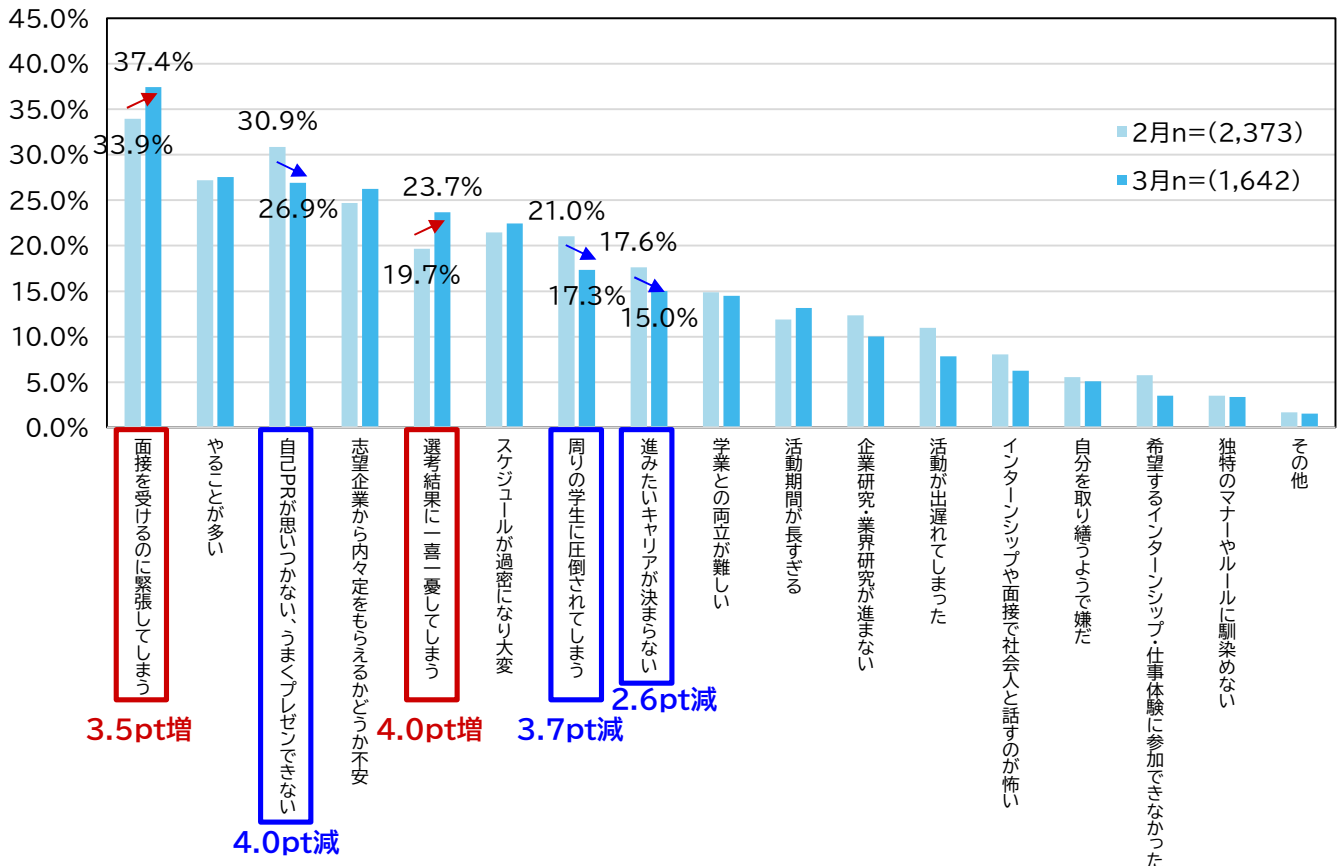


就活疲れを感じた活動



\*1 オンライン形式を除く \*2 インターンシップ・仕事体験エントリーを除く \*3 WEBセミナーを除く  
\*4 インターンシップ・仕事体験参加用を除く \*5 WEB含む \*6 WEB面接を含む

就活疲れの理由としてあてはまるもの(就活準備を含む)※上位3つまで

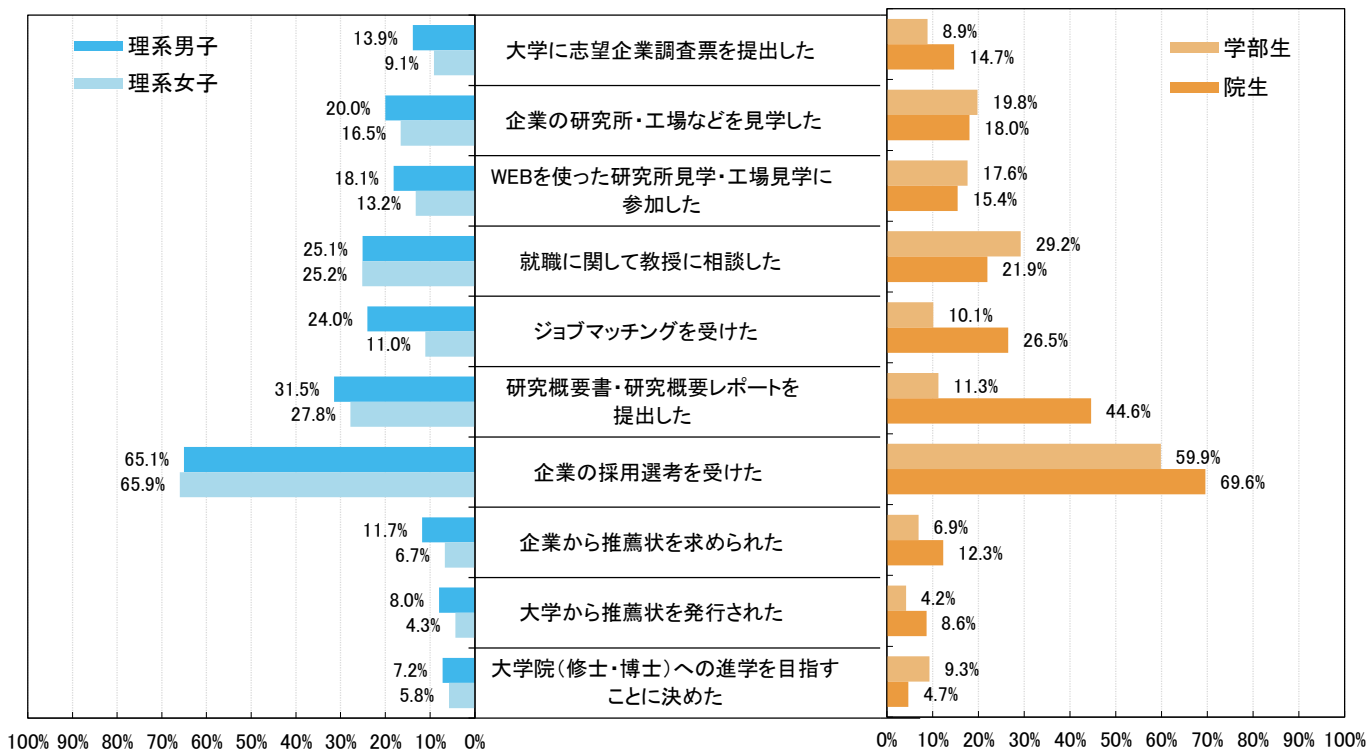


8:【理系】3月の活動状況

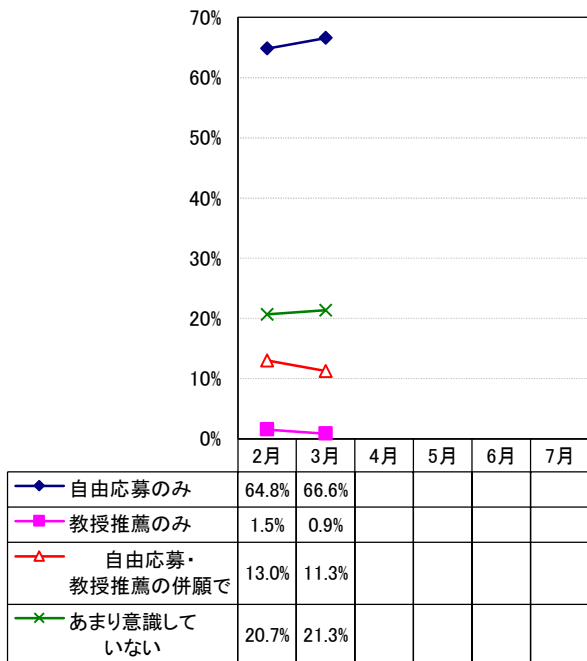
理系学生の3月の活動状況では、「企業の選考を受けた」学生は、学部生59.9%、院生69.6%でいずれも最多となった。学部生・院生での差が大きかったのは、「研究概要書・研究概要レポートを提出した」で、院生の方が33.3pt高い。企業への応募方法は2月・3月で大きな変化がみられなかった。

文系就職を考えているか聞いたところ、「文系就職を考えている（すでに文系就職を決めている+まだ決めていないが文系就職も視野に入れている）」のは全体で22.9%で、対前年2.3pt減となった。学部生では27.8%、院生は19.1%となり、学部生・院生間で文系就職意向には差が見られた。理系学生の採用に課題感を持つ企業も多いが、文系職種での理系学生採用は向かい風となる。文系就職を決めた、もしくは視野に入れている理由としては、「幅広く適性のある企業を探しているため」が28.4%で最も多い。今後の採用局面においては面接のフィードバックで適性を伝えるなど、丁寧なコミュニケーションが求められるそうだ。

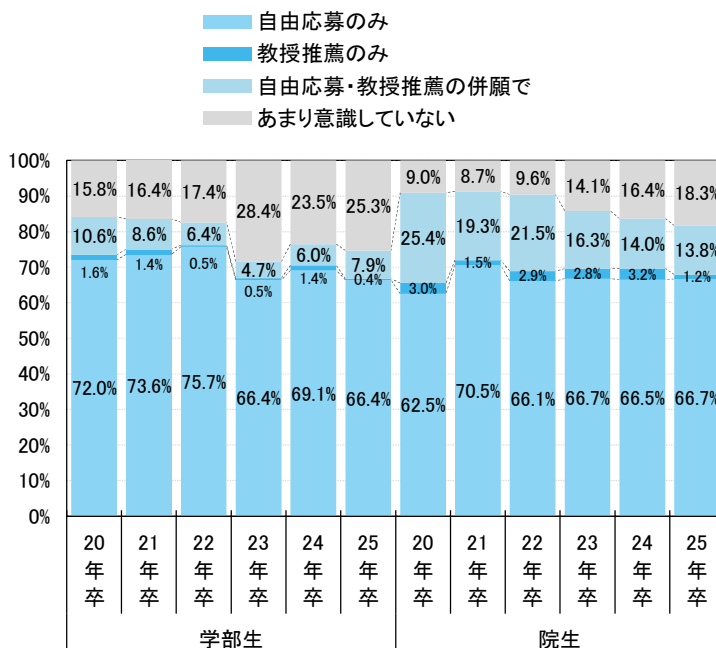
3月の理系学生の活動状況【複数回答】n=792



企業への応募方法 (25年卒2月~3月)

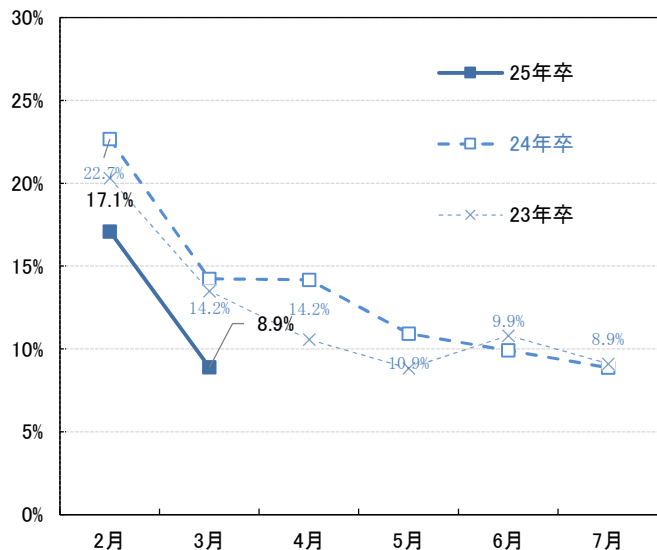


企業への応募方法 (各年3月の年次推移)

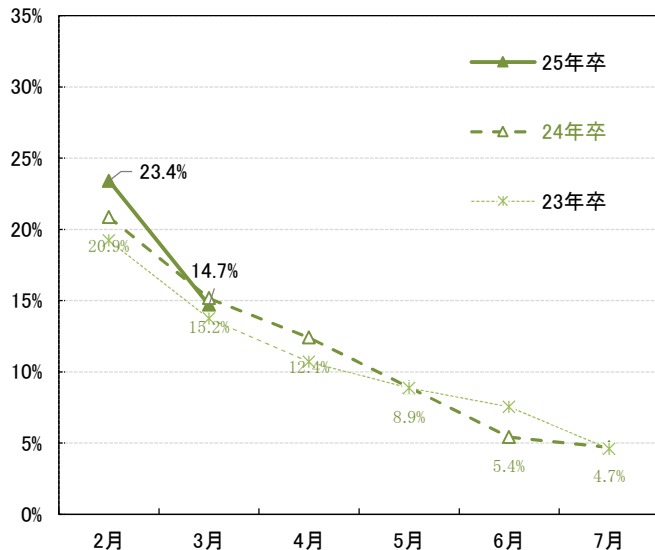




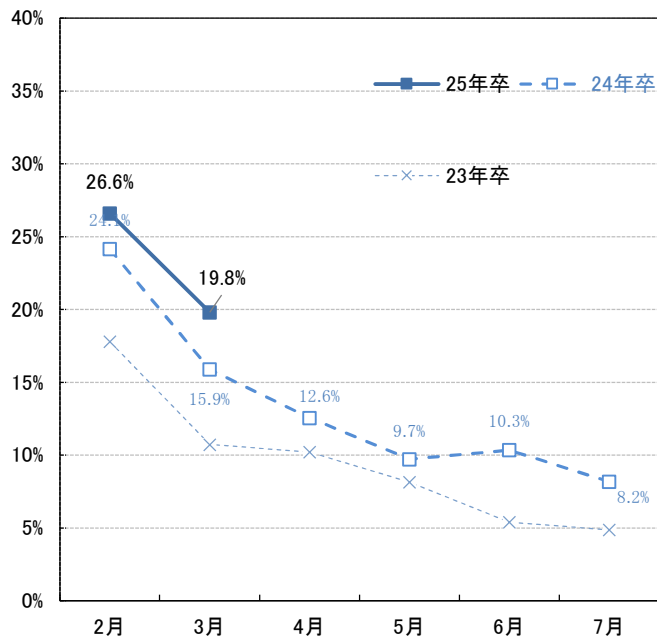
大学に志望企業調査票を提出した・学部生



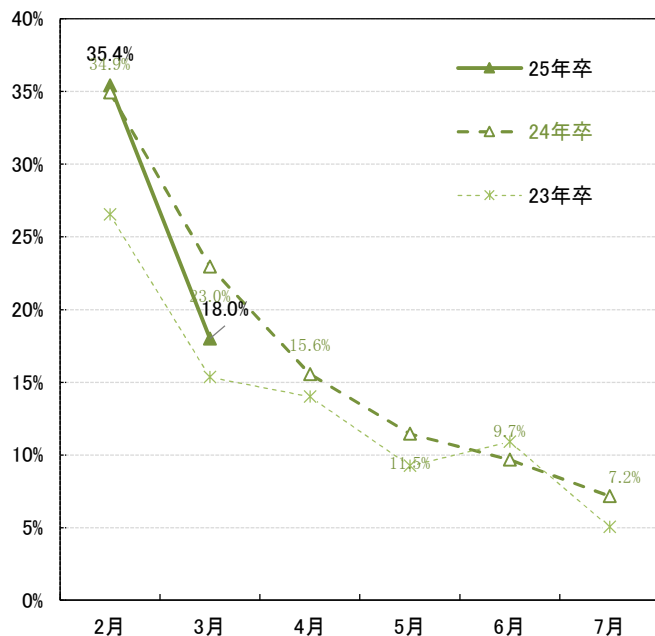
大学に志望企業調査票を提出した・院生



企業の研究所・工場などを見学した・学部生

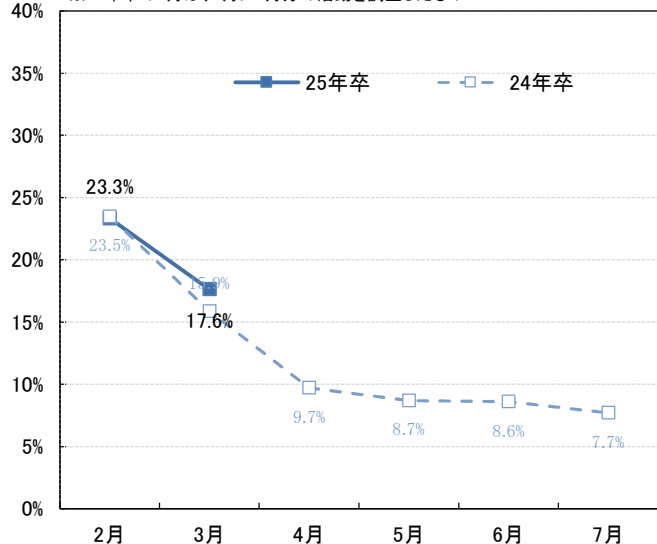


企業の研究所・工場などを見学した・院生



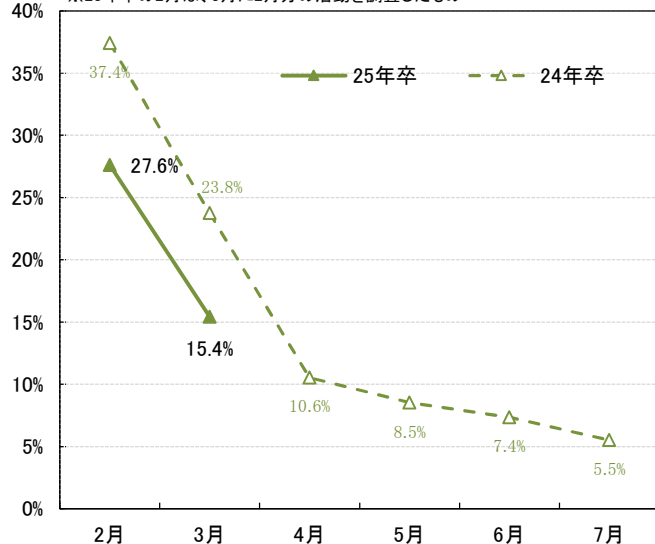
WEBを使った研究所見学・工場見学に参加した・学部生

※23年卒の2月は、3月に2月分の活動を調査したもの

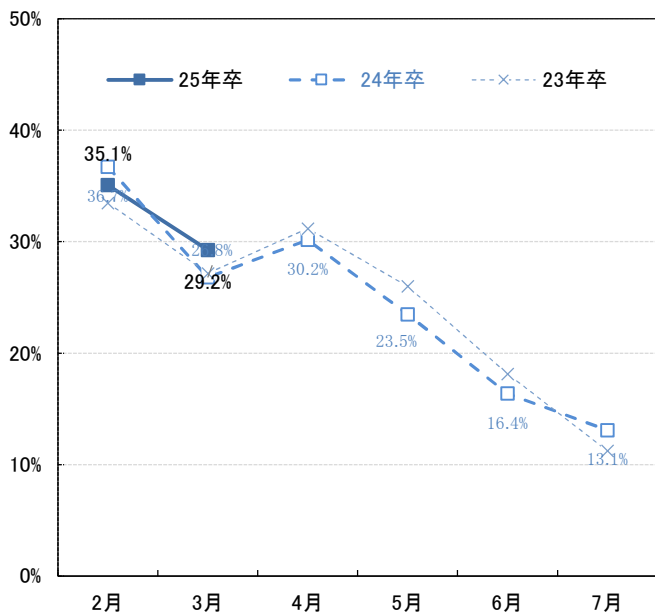


WEBを使った研究所見学・工場見学に参加した・院生

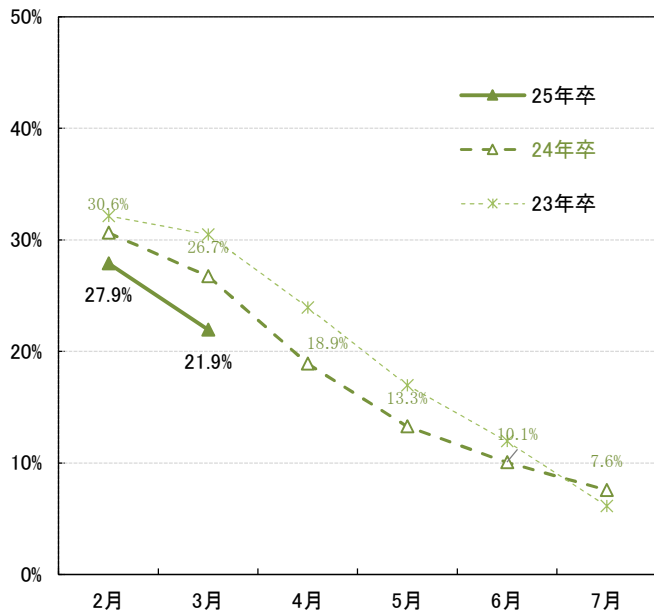
※23年卒の2月は、3月に2月分の活動を調査したもの



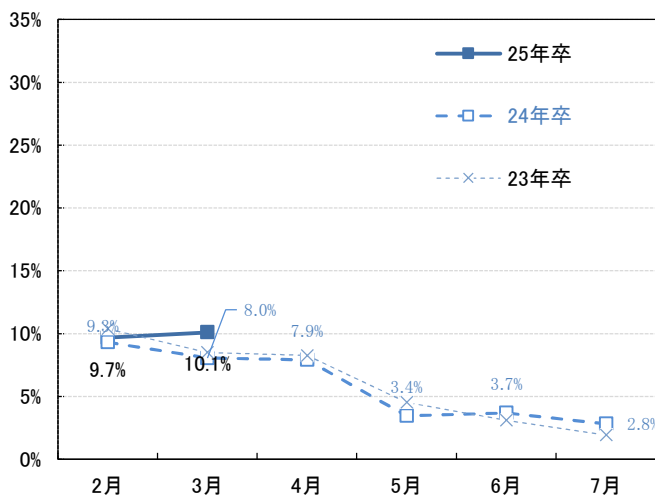
就職に関して教授に相談した・学部生



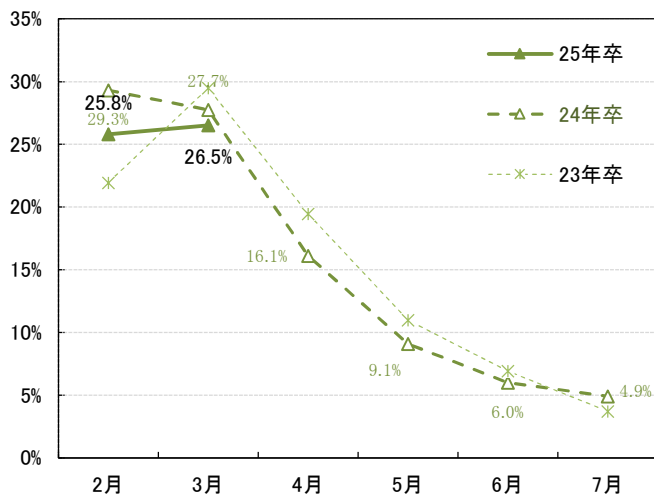
就職に関して教授に相談した・院生



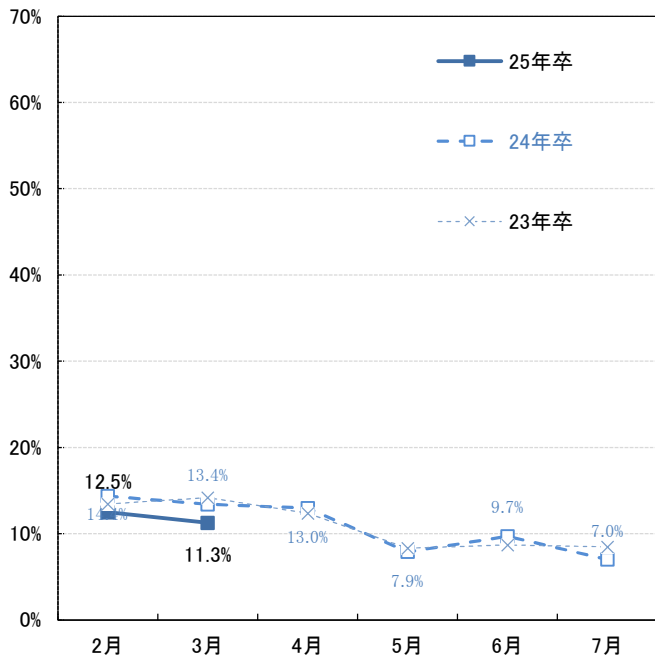
ジョブマッチングを受けた・学部生



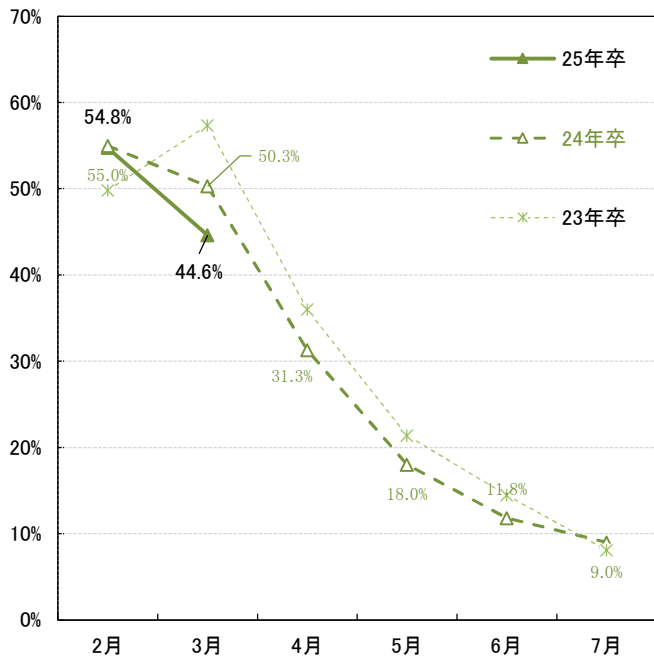
ジョブマッチングを受けた・院生



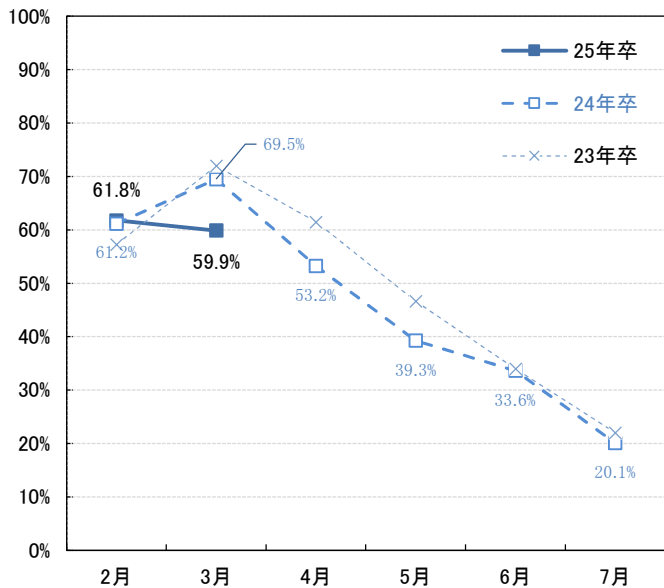
研究概要書・研究概要レポートを提出した・学部生



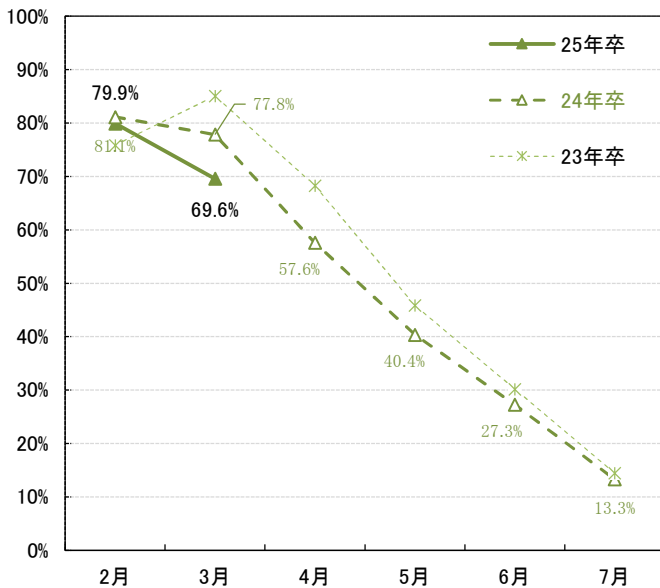
研究概要書・研究概要レポートを提出した・院生



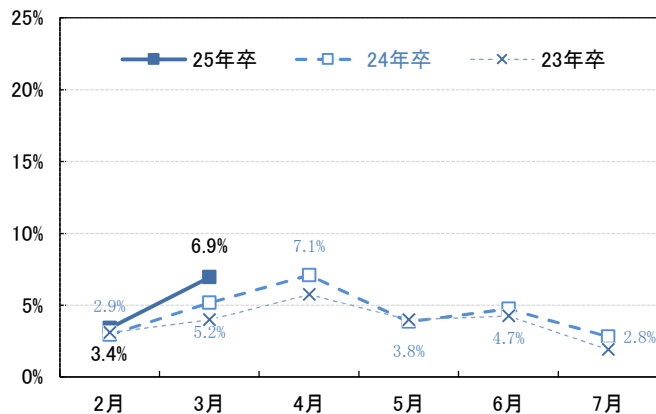
企業の採用選考を受けた・学部生



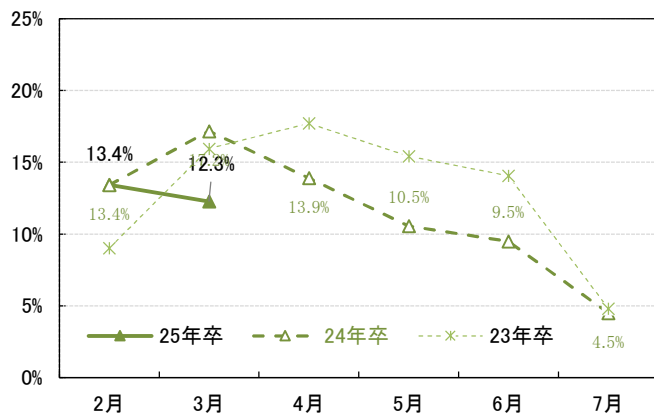
企業の採用選考を受けた・院生



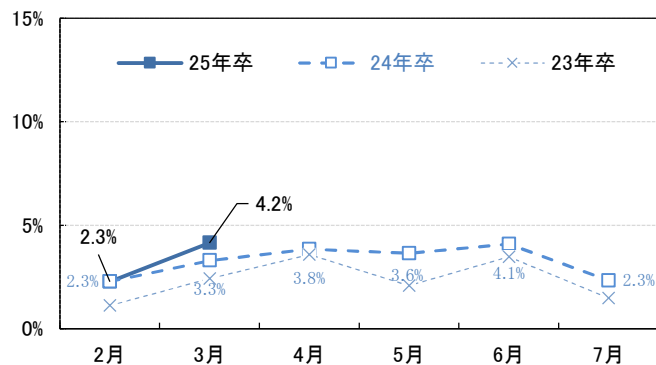
企業から推薦状を求められた・学部生



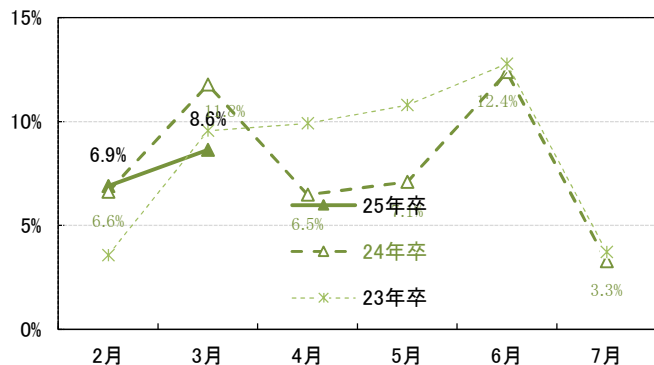
企業から推薦状を求められた・院生



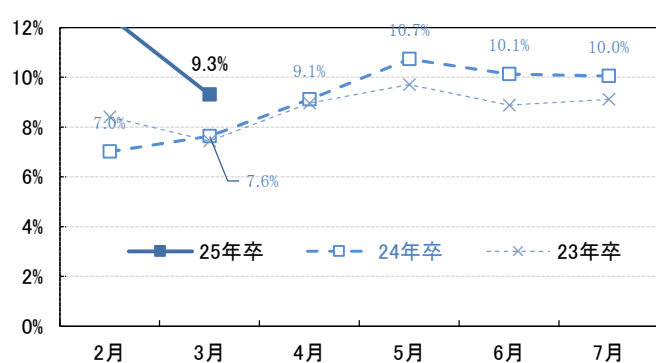
大学から推薦状を発行された・学部生



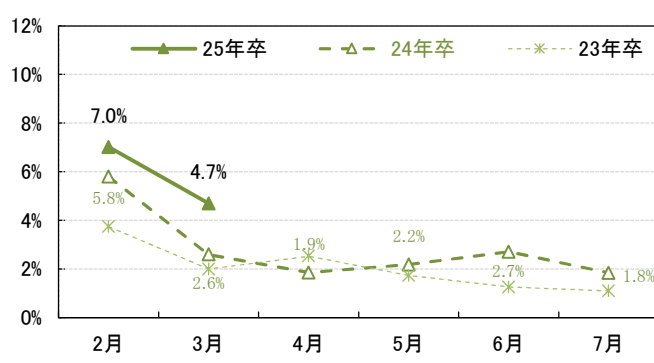
大学から推薦状を発行された・院生



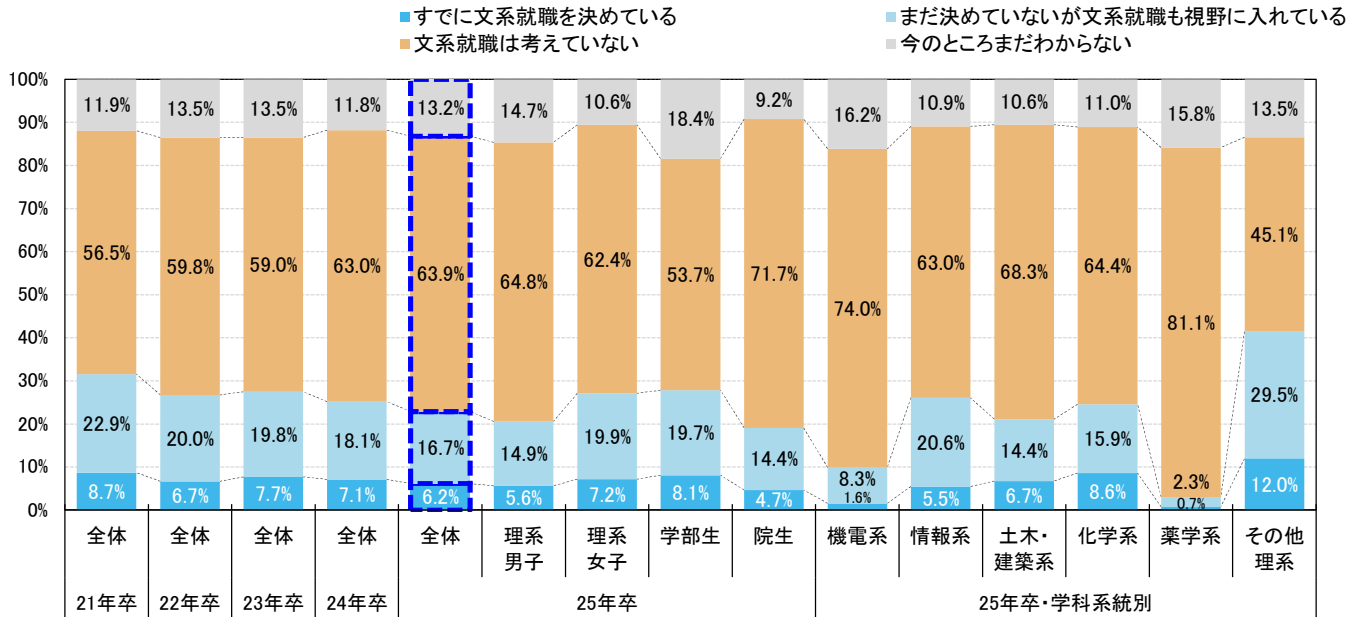
大学院への進学を目指すことに決めた・学部生



大学院への進学を目指すことに決めた・院生



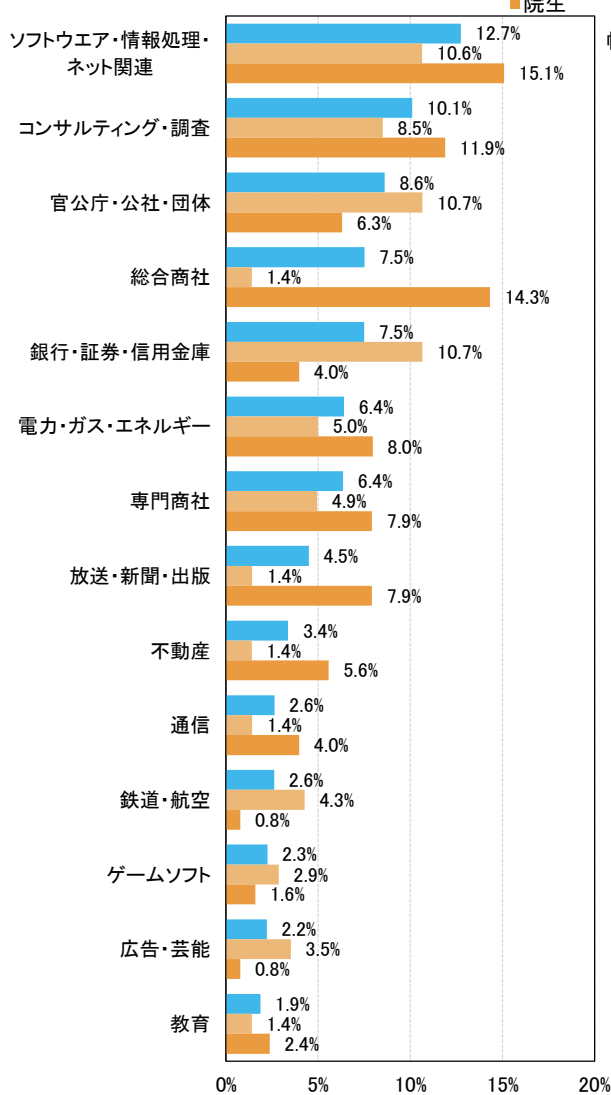
文系就職を考えている割合



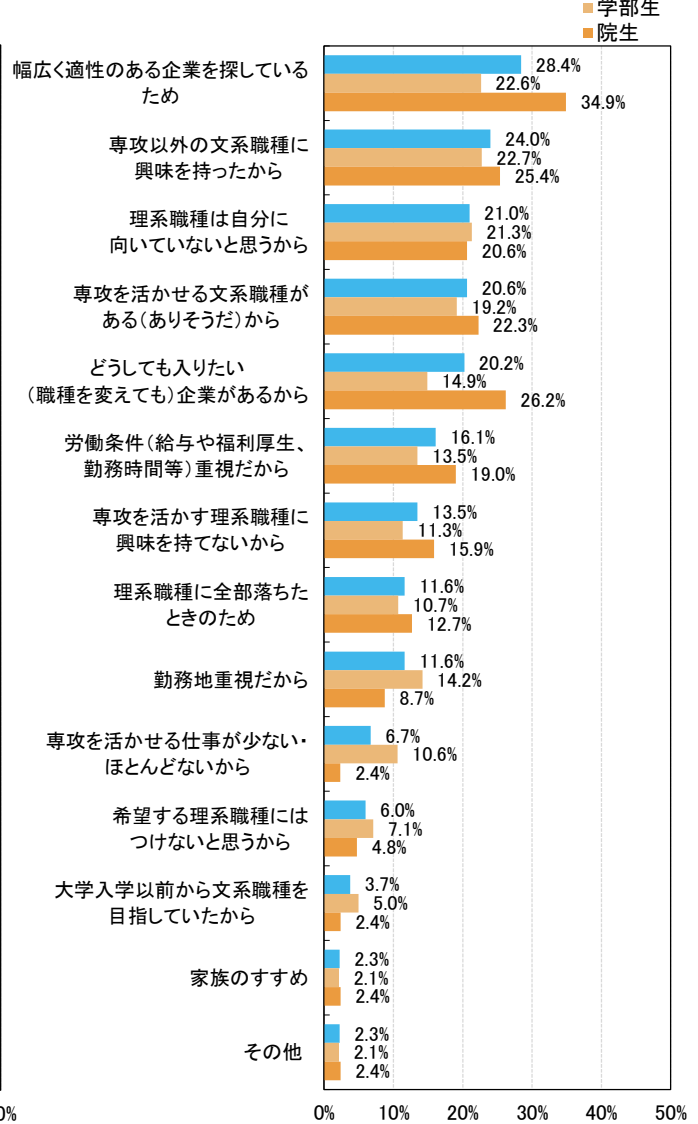
以下、文系就職を考えている学生のみ n=255

メーカー以外に就職先として考えている業種のうち最も志望度が高い業種

※全体の回答数が多いものから15業種のみ抜粋



文系就職を決めた、もしくは視野に入れている理由【複数回答】



■9: 個別企業セミナー参加希望曜日／時間帯

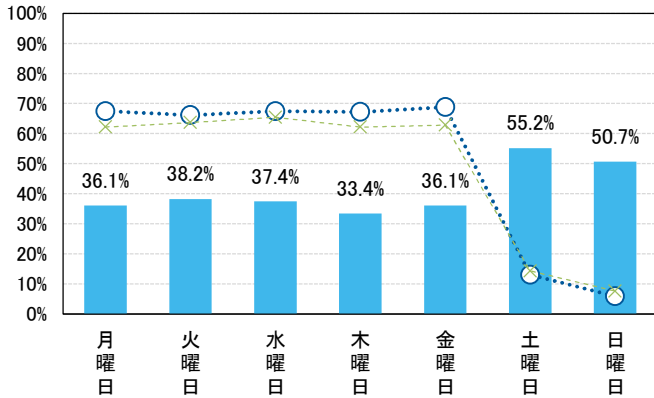
理系の学生に研究室に行く曜日を、すべての学生に個別企業セミナーに参加しやすい曜日を聞いた。月～金は、理系学部生の半数程度理系院生の8割強が研究室に行くと回答した。月～金に個別企業セミナーに参加しやすいと回答したのは理系学部生の30%前後、理系院生の40%程度だった。理系学生は土日のほうが月～金より個別企業セミナーに参加しやすいという割合が高いが、文系男子はあまり差がなく、文系女子は月～金のほうが土日より参加しやすい割合が高い。

個別企業セミナーに参加しやすい曜日と研究室に行く曜日【複数回答】

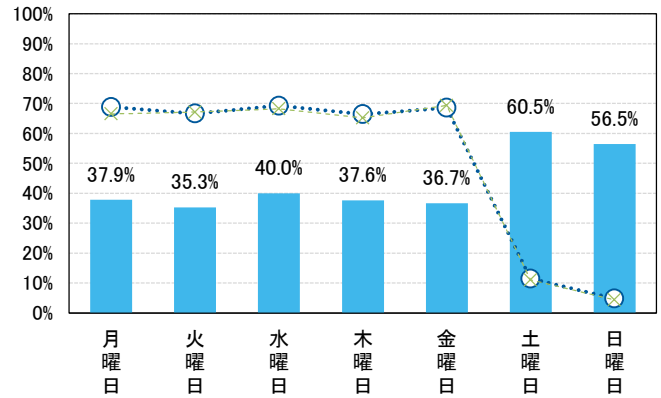
※グラフ内数字はセミナーに参加しやすいと回答した割合

■ セミナーに参加しやすい    ●○●● 25年卒: 研究室に行く    ●×●● 24年卒: 研究室に行く

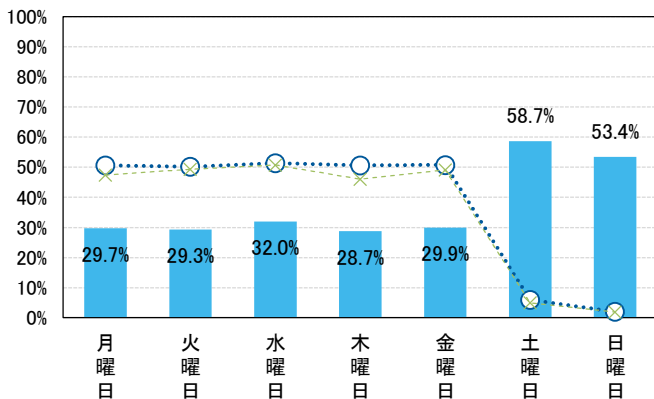
理系男子



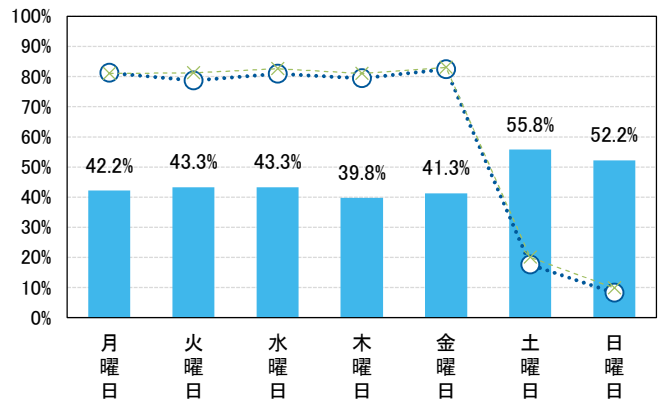
理系女子



理系学部生



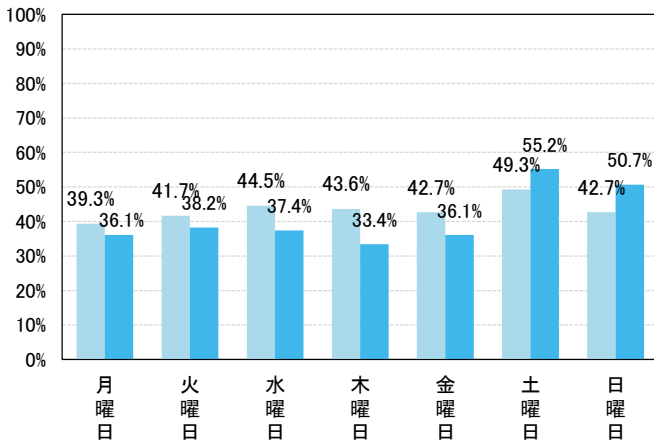
理系院生



文系男子のセミナーに参加しやすい曜日

※理系男子との比較

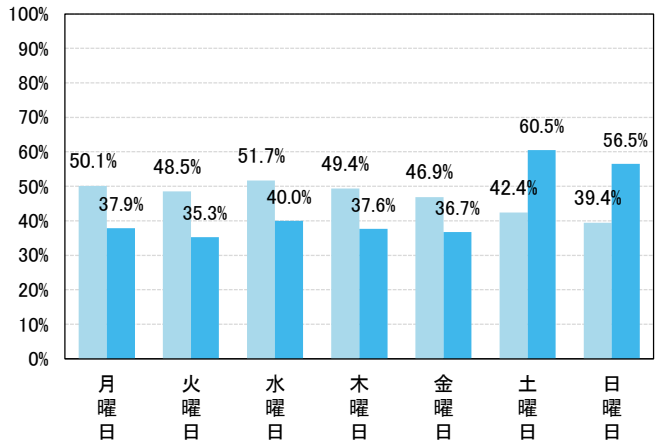
■ 文系男子    ■ 理系男子



文系女子のセミナーに参加しやすい曜日

※理系女子との比較

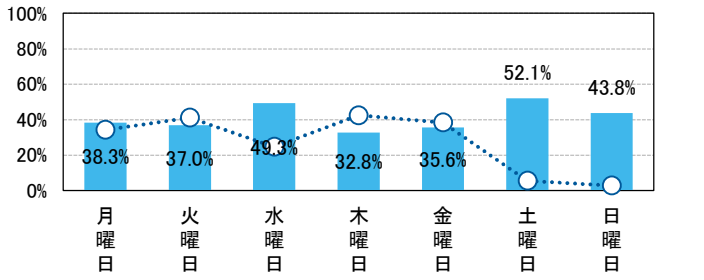
■ 文系女子    ■ 理系女子



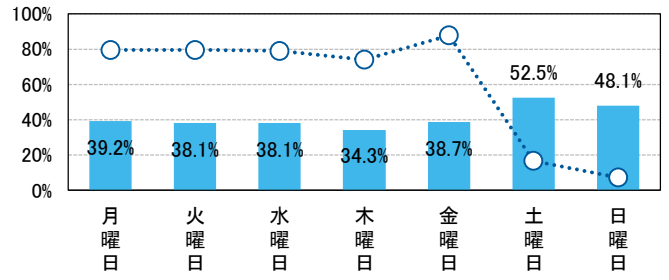


※グラフ内数字はセミナーに参加しやすいと回答した割合

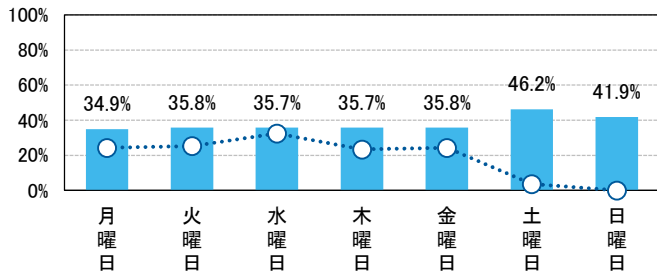
学部生・機電系



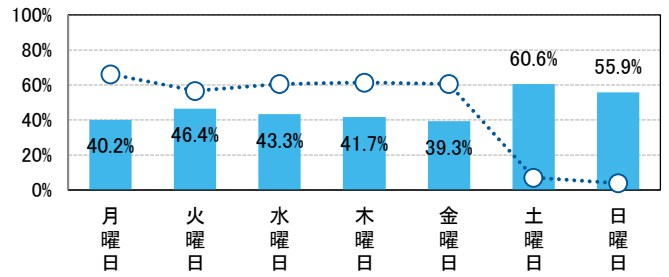
院生・機電系



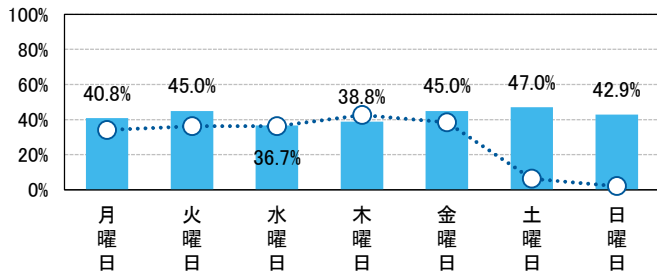
学部生・情報系



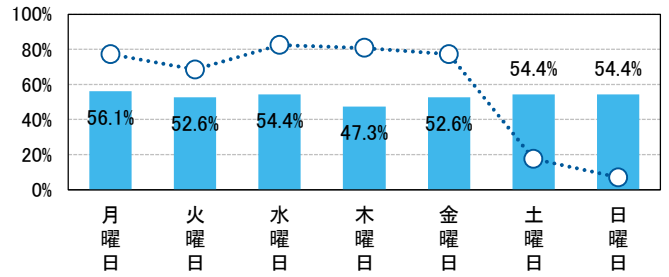
院生・情報系



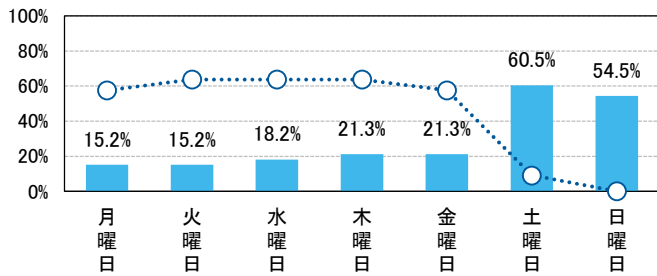
学部生・土木・建築系



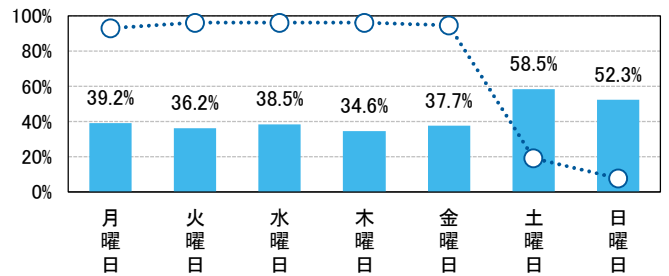
院生・土木・建築系



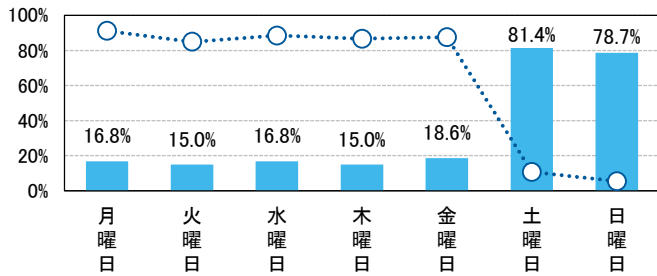
学部生・化学系



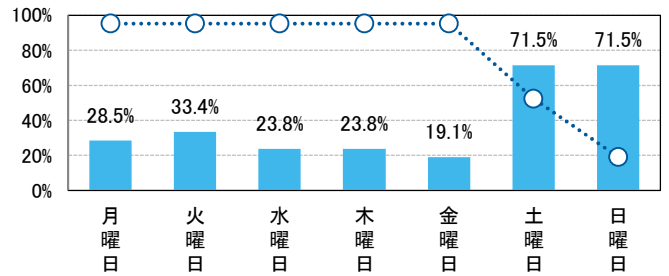
院生・化学系



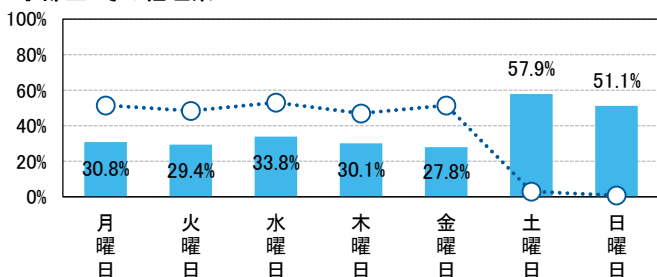
学部生・薬学系



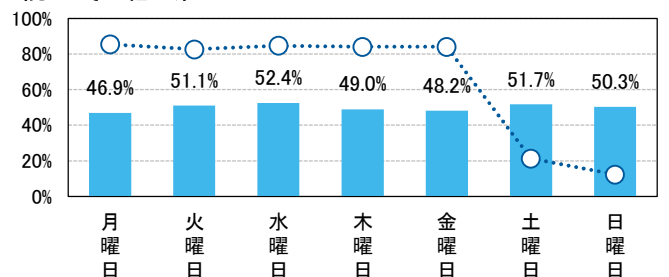
院生・薬学系



学部生・その他理系

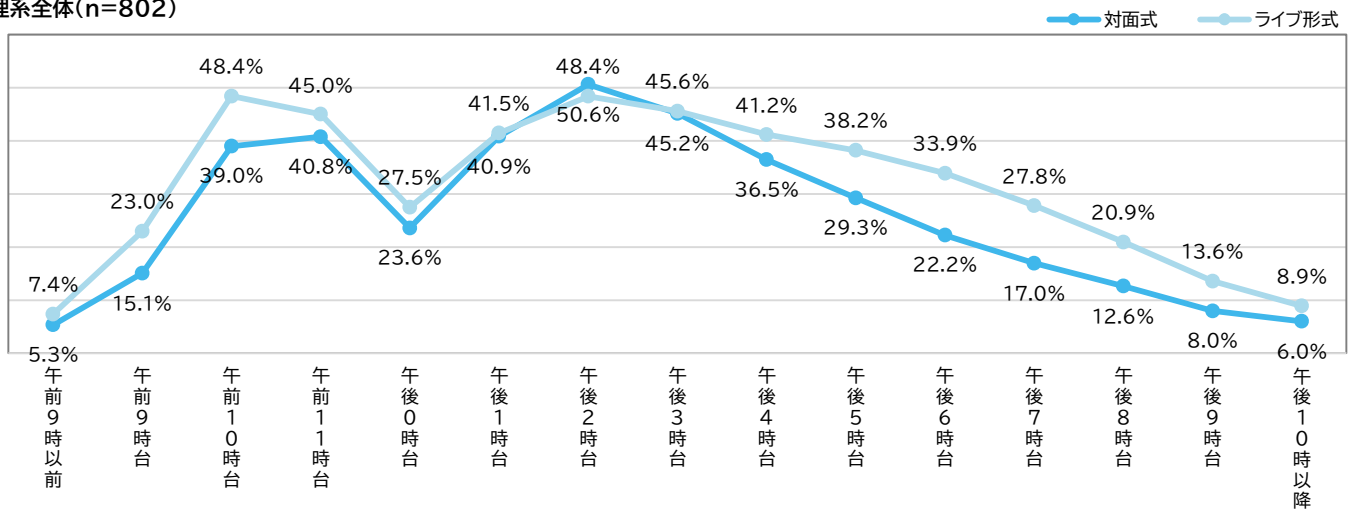


院生・その他理系

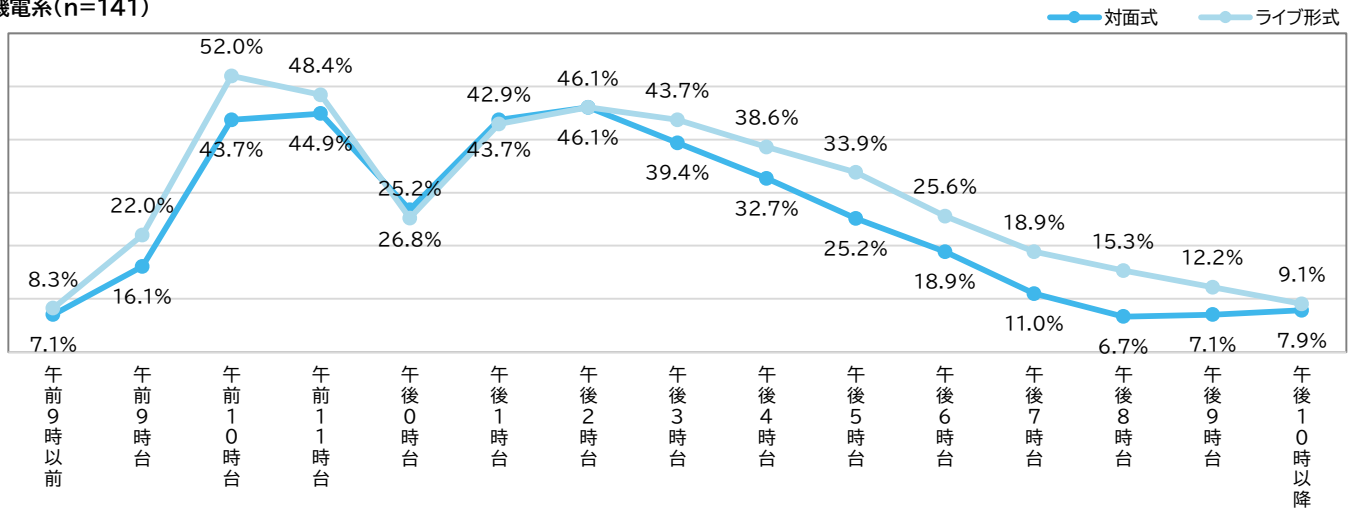


理系学生に対面式の個別企業セミナーとライブ形式の個別企業セミナーについて、それぞれ参加しやすい時間帯を聞いた。学科系統ごとに差はみられるものの、理系全体でみると、対面式・ライブ形式共に、参加しやすい時間のピークは午前10時台/午前11時台/午後2時台となった。全体をみるとライブ形式の方が対面式よりも参加しやすいという回答が上回る結果となったが午前1時台～午後3時台ではほとんど差が見られなかった。

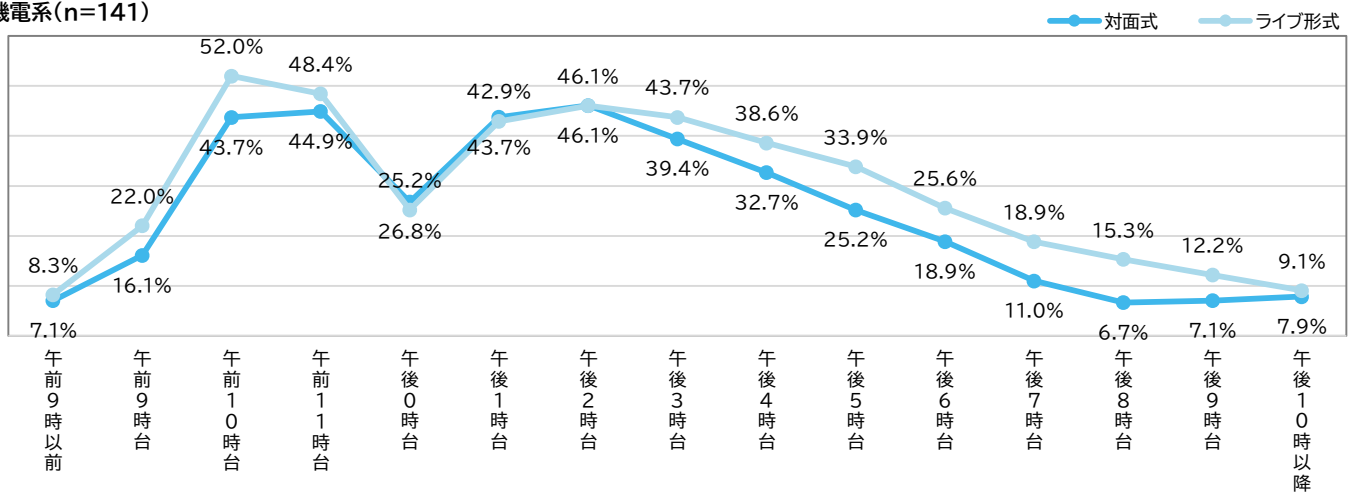
理系全体(n=802)



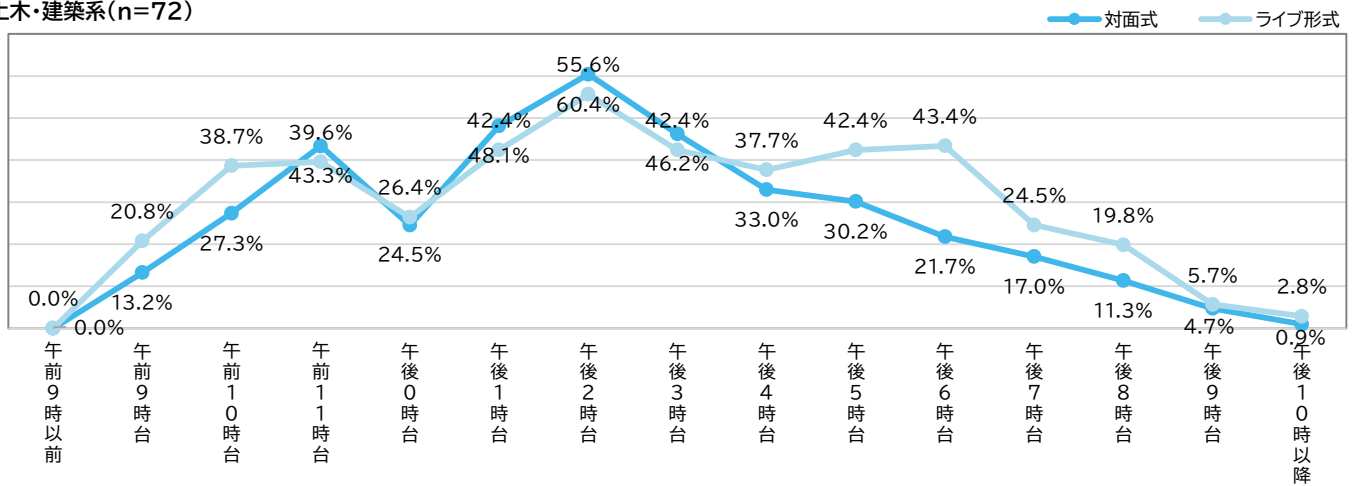
機電系(n=141)



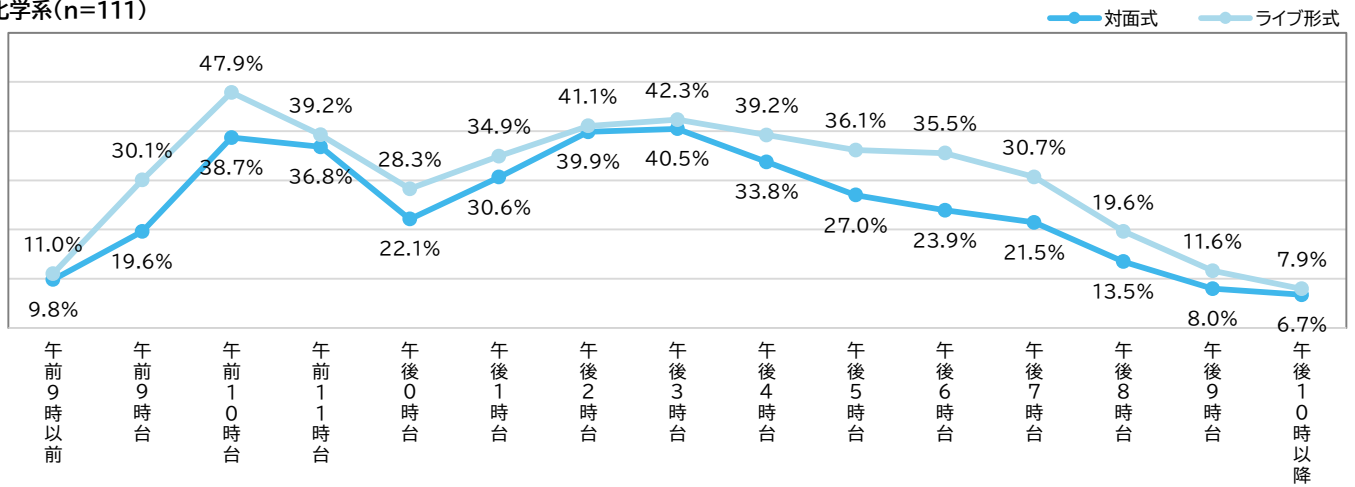
機電系(n=141)



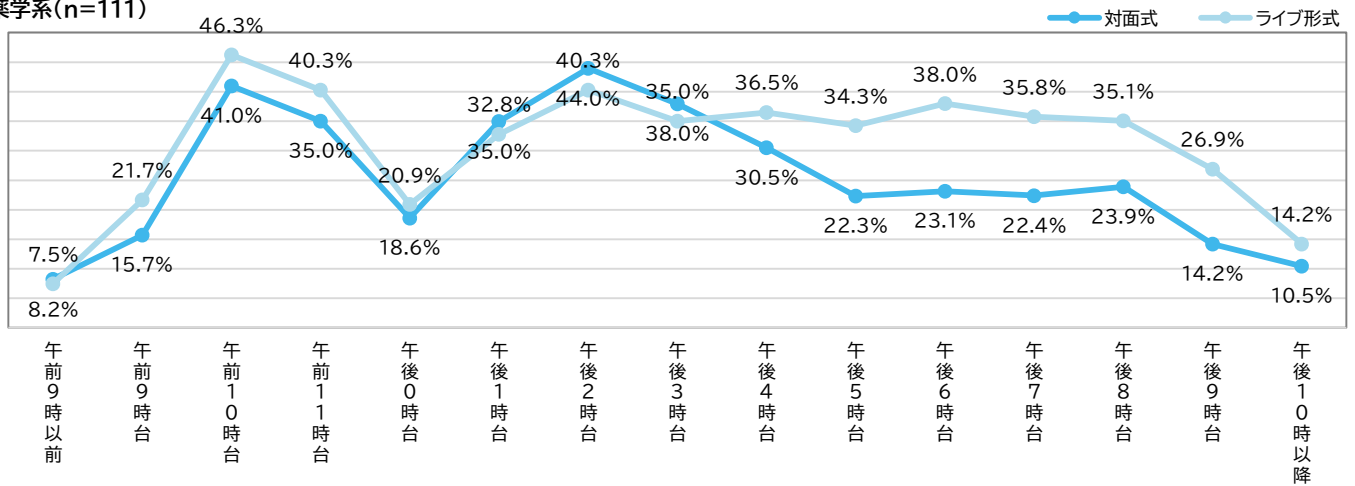
土木・建築系(n=72)



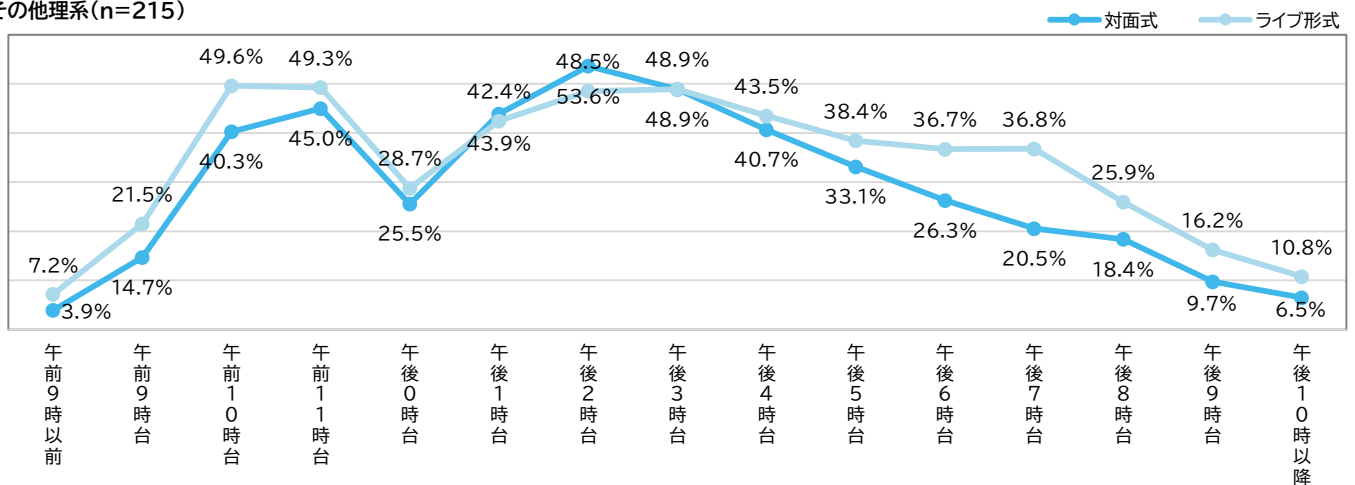
化学系(n=111)



薬学系(n=111)



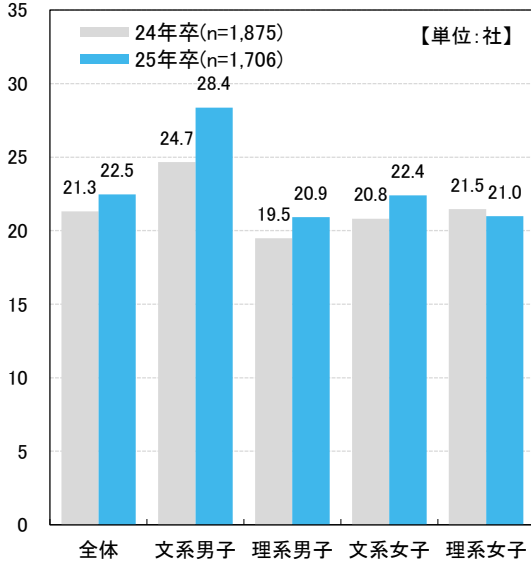
その他理系(n=215)



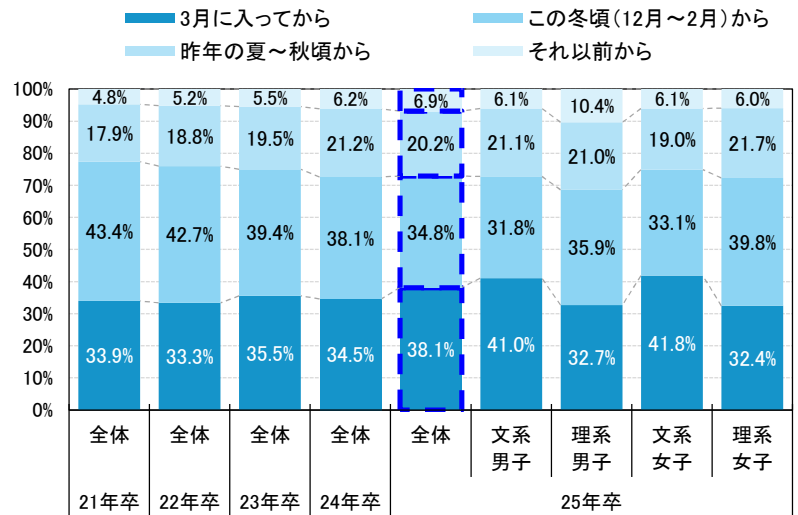
■10: エントリーについて

現在のエントリー状況を聞くと、「エントリーをすべて完了しており、今後エントリーの予定はない36.2%（対前年4.8pt増）」「エントリーはほぼ終わり、今後エントリーする企業もすべて決まっている21.2%（対前年0.5pt増）」の割合が増え、「何社かエントリーしたが、今後エントリーする企業についても引き続き探している36.8%（対前年5.7pt減）」が減少した。17年卒では67.5%が追加のエントリー先を探していたため、7年で約3割減少したことになる。あと何社くらいエントリーすると思うかについては、平均3.3社（対前年0.2pt減）で、17年卒の平均6.9社から比較すると大きく減少していることがわかる。

2月以前に社名を知っていた企業数(平均)

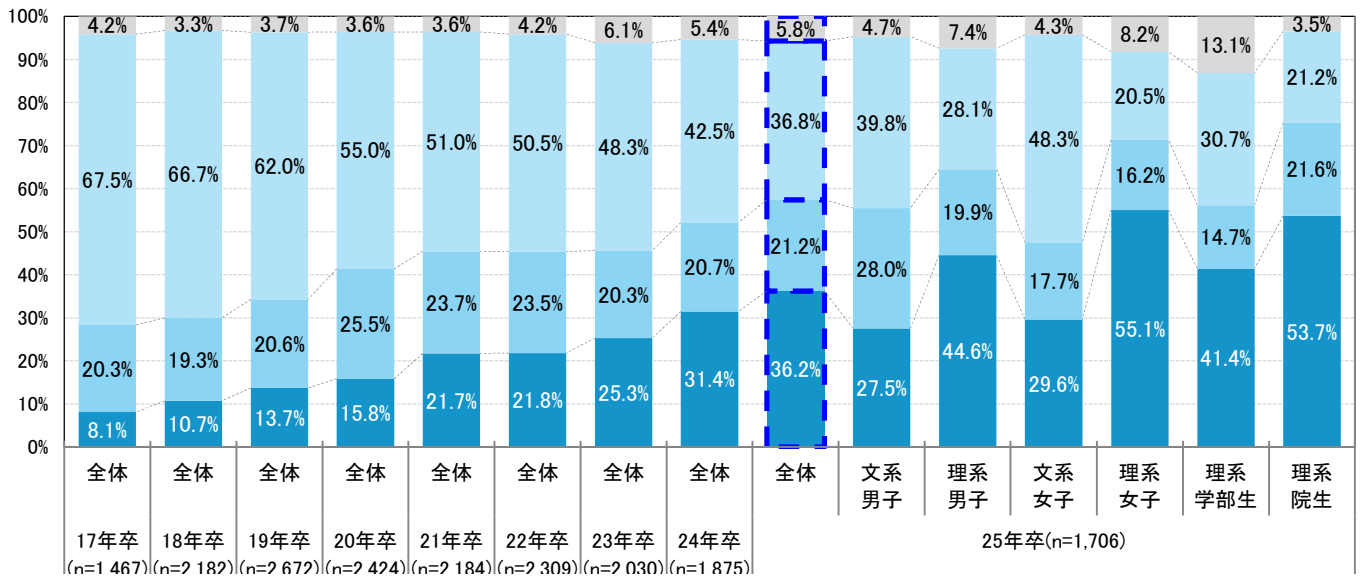


3月にエントリーした企業のうち「3月に入ってから」エントリーしようと思ったのは何%か それ以外の企業にはいつからエントリーしようと思ったのか (割合で回答・平均)



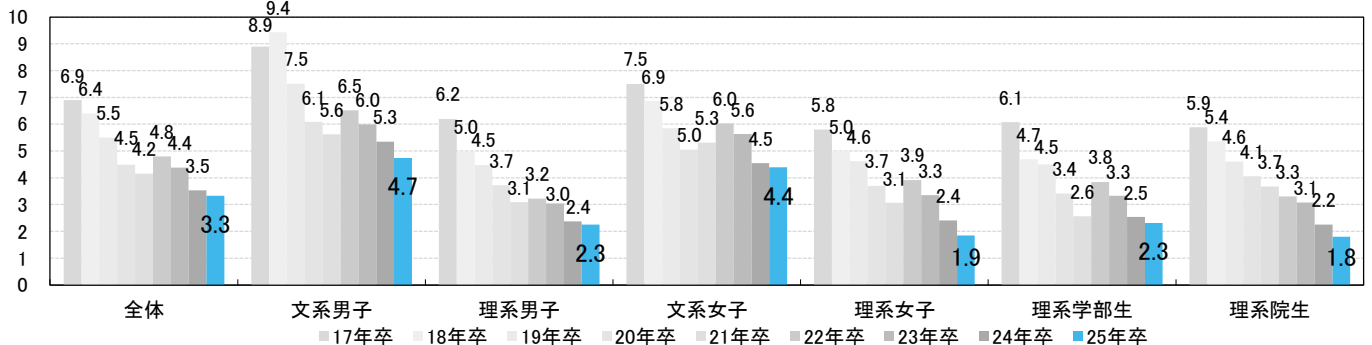
現在のエントリー状況

- エントリーに関しては、まだ何も行ってない
- 何社かエントリーしたが、今後エントリーする企業についても引き続き探している
- エントリーはほぼ終わり、今後エントリーする企業もすべて決まっている
- エントリーをすべて完了しており、今後エントリーの予定はない

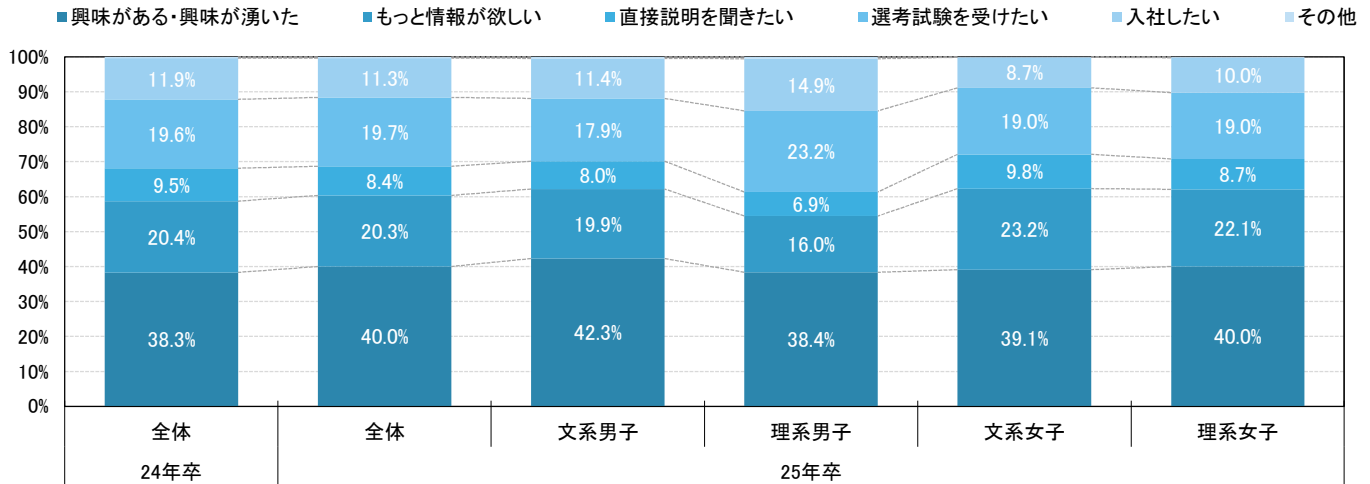


あと何社くらいエントリーすると思うか(平均)

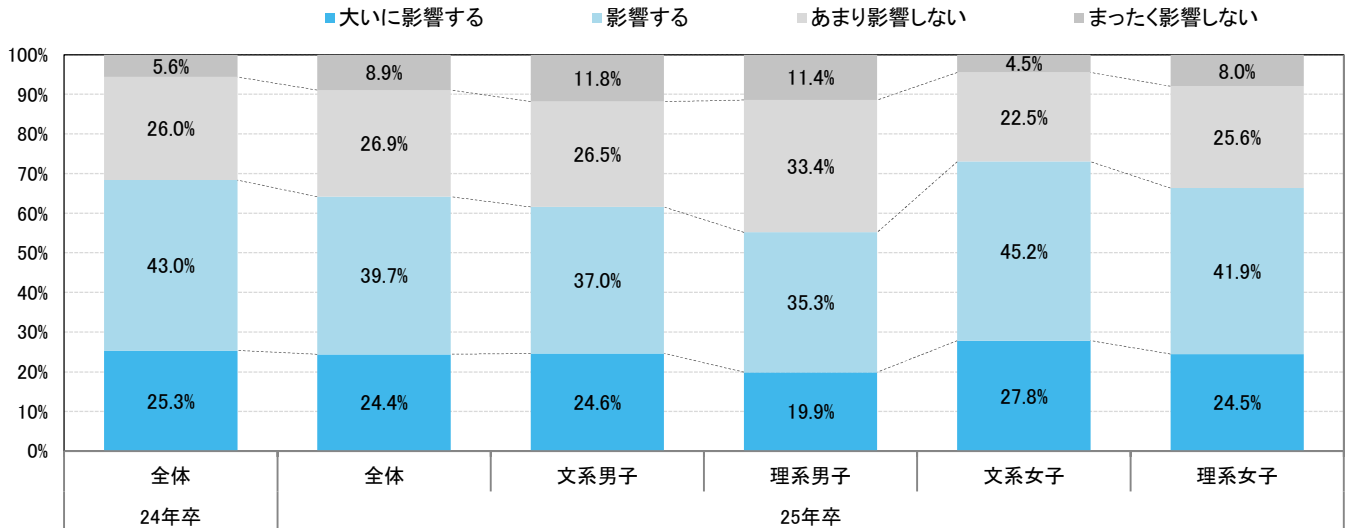
【単位:社】



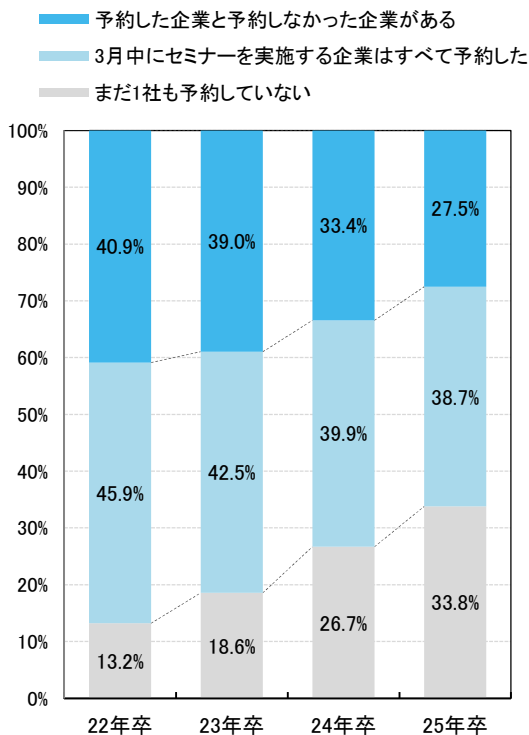
エントリーしたことがある人のみ回答  
 エントリーする際の気持ち n=1,603



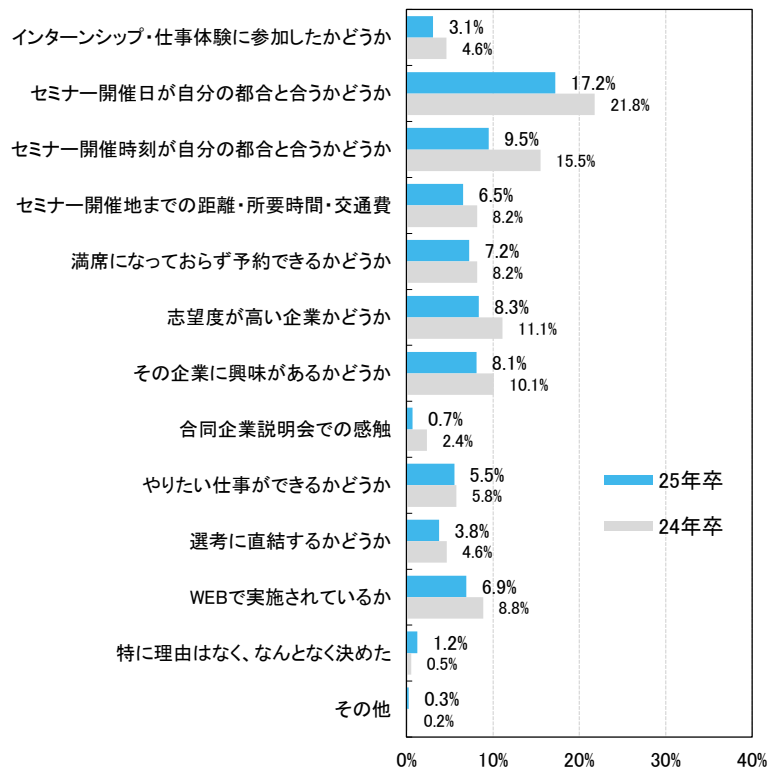
個別企業セミナーの予約がすぐできることは、その企業にエントリーをするかどうかに影響するか



3月中にエントリーした企業のセミナーを予約したか n=1,603



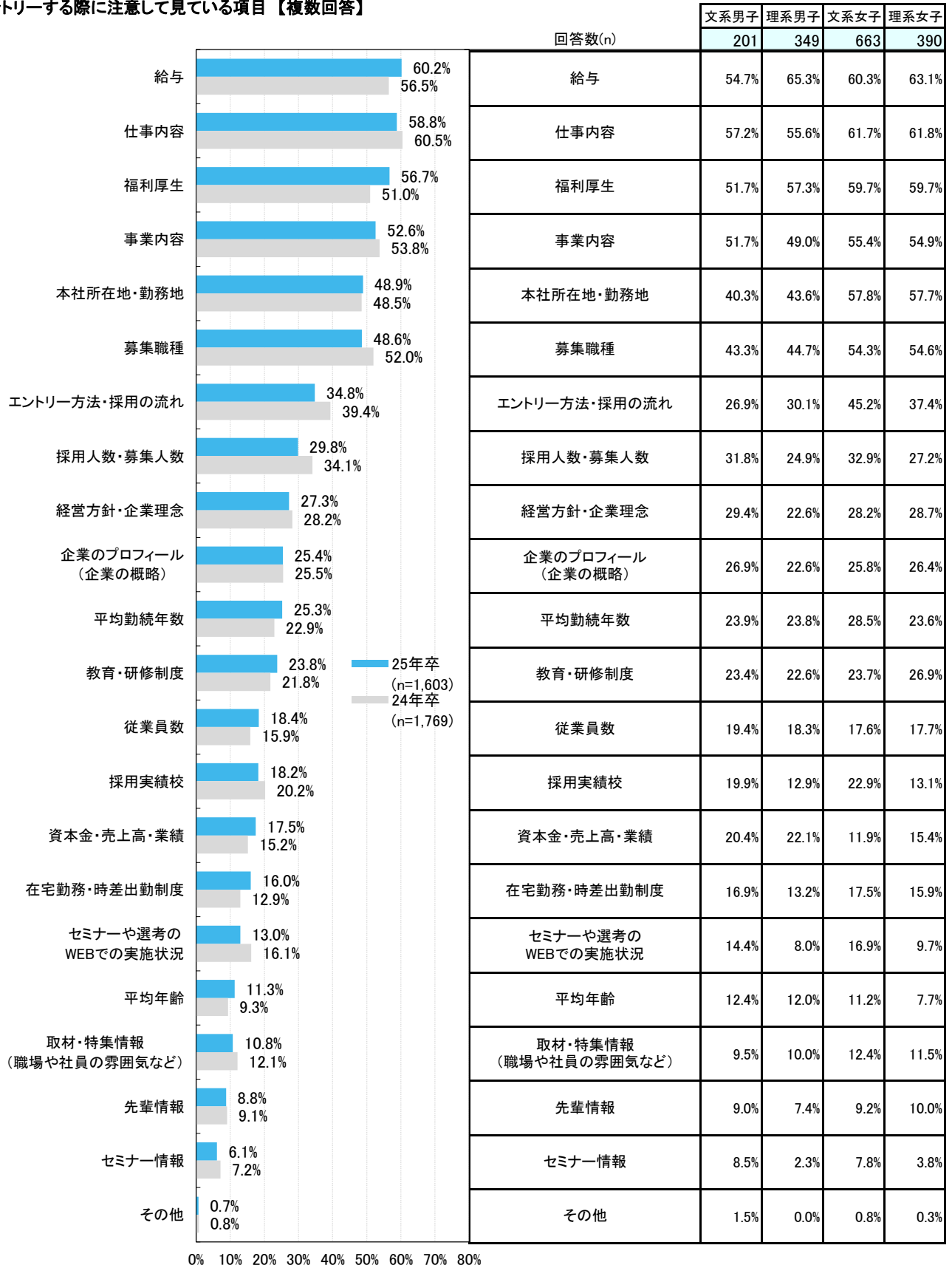
予約した企業と予約しなかった企業がある場合、その違い【複数回答】



エントリーする際に見ている項目で最も回答の多かったのは「給与（60.2%、対前年3.7pt増）」で、前年最も回答の多かった「仕事内容（58.8%、対前年1.7pt減）」を上回った。回答率が特に大きく伸びたのが「福利厚生（56.7%、対前年5.7pt増）」である。エントリー後に志望度を高めた情報でも、最も回答の多かったのは「働く環境について（福利厚生、配属先など）（53.4%、対前年5.8pt増）」で、昨年最も回答の多かった「仕事内容（仕事のやりがいなど）（50.4%、対前年2.2pt減）」を上回った。仕事内容以上に、給与や福利厚生に対する項目への注目が高まっているようだ。

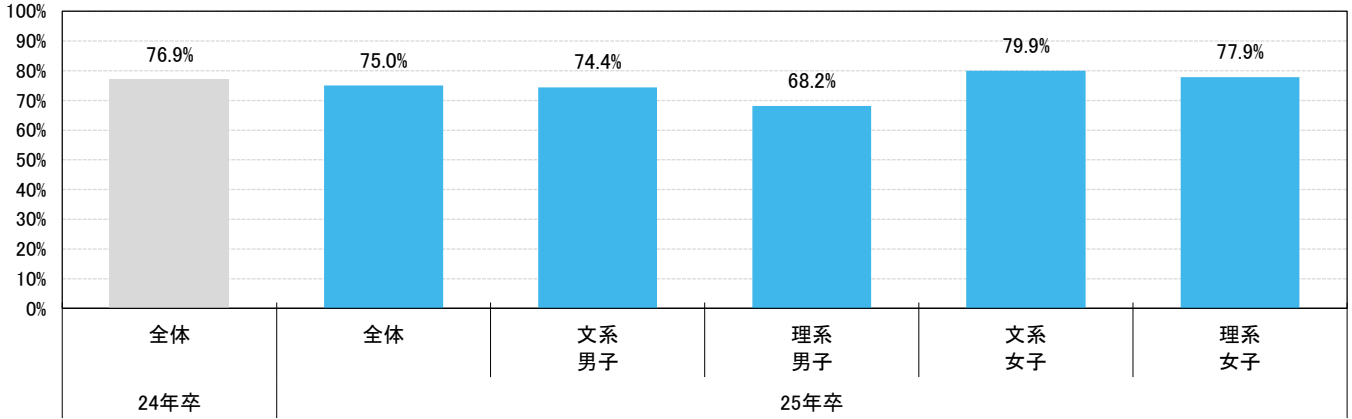
エントリーしたことがある人のみ回答 n=1,603

エントリーする際に注意して見ている項目【複数回答】

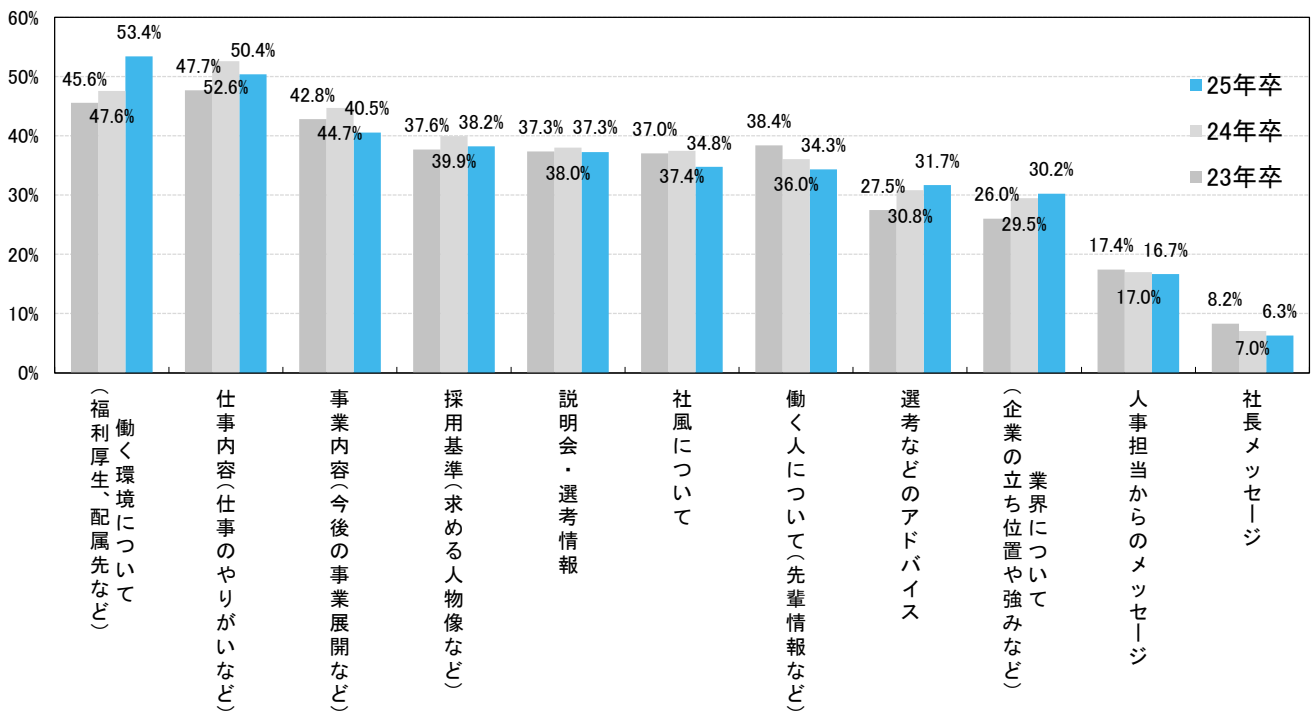




エントリーしないと見られない情報がある場合、それを見るためにエントリーしたい学生の割合

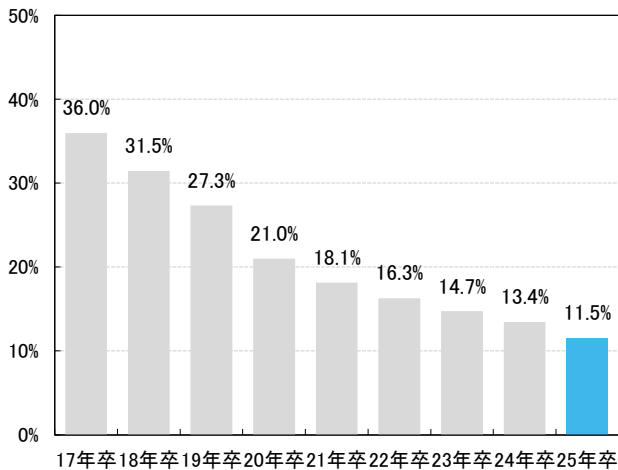


エントリー後に志望度を高めた情報【複数回答】 n=1,603

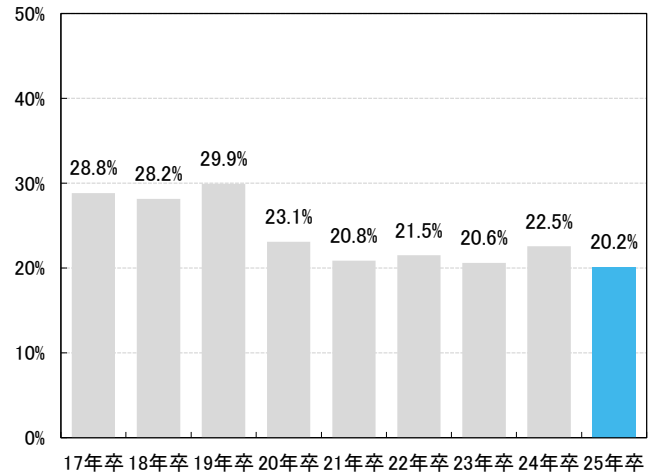


▼以下、アンケートが付いていてエントリーしなかったことが「ある」方のみ

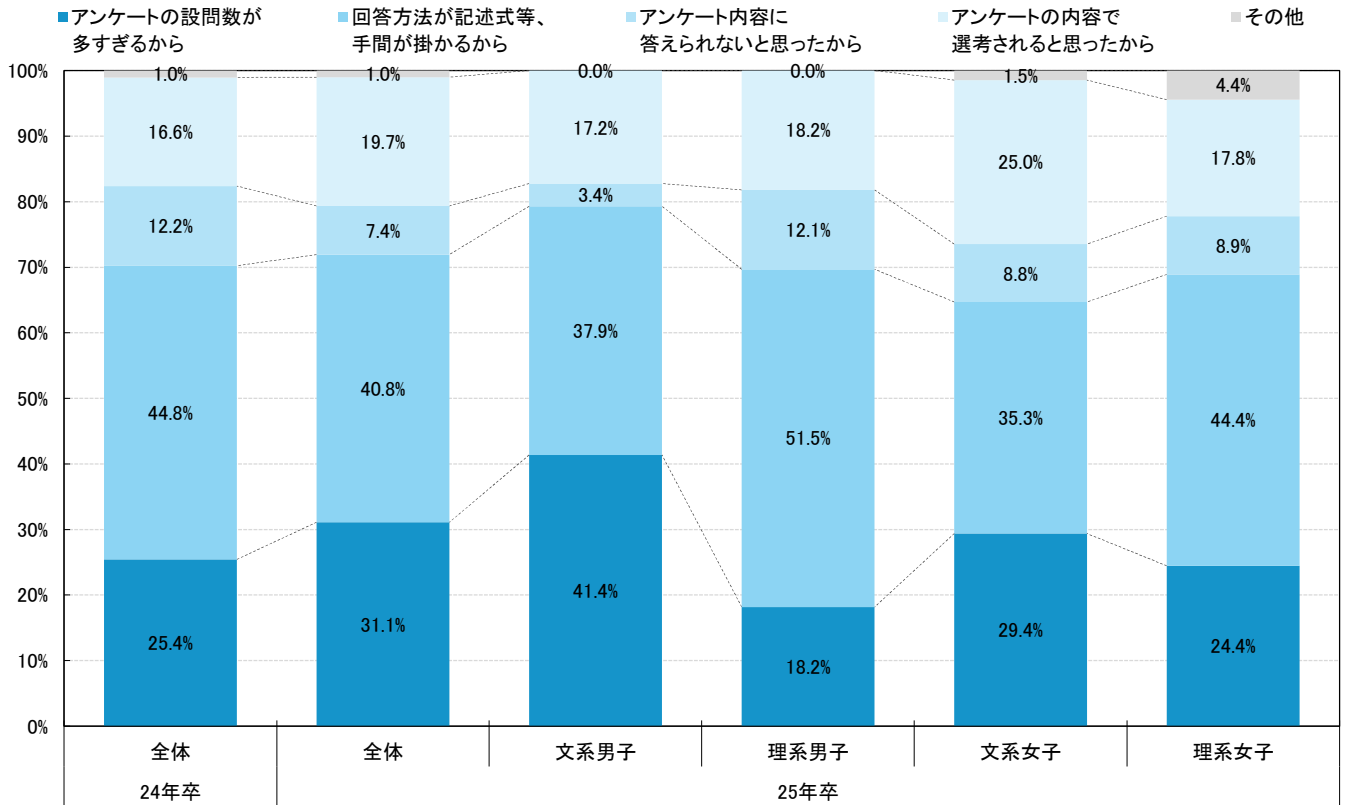
アンケートが付いていたことが理由で  
エントリーしなかったことがある割合 n=1,603



志望度の高い企業であっても  
エントリーしなかったことがある割合 n=175

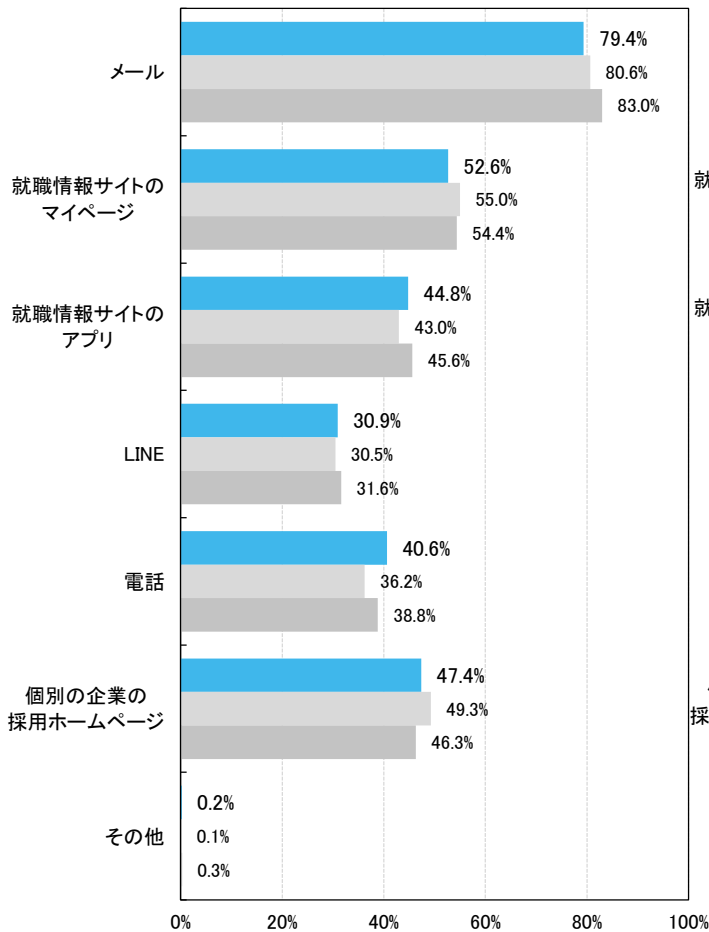


エントリーしなかった理由 n=175



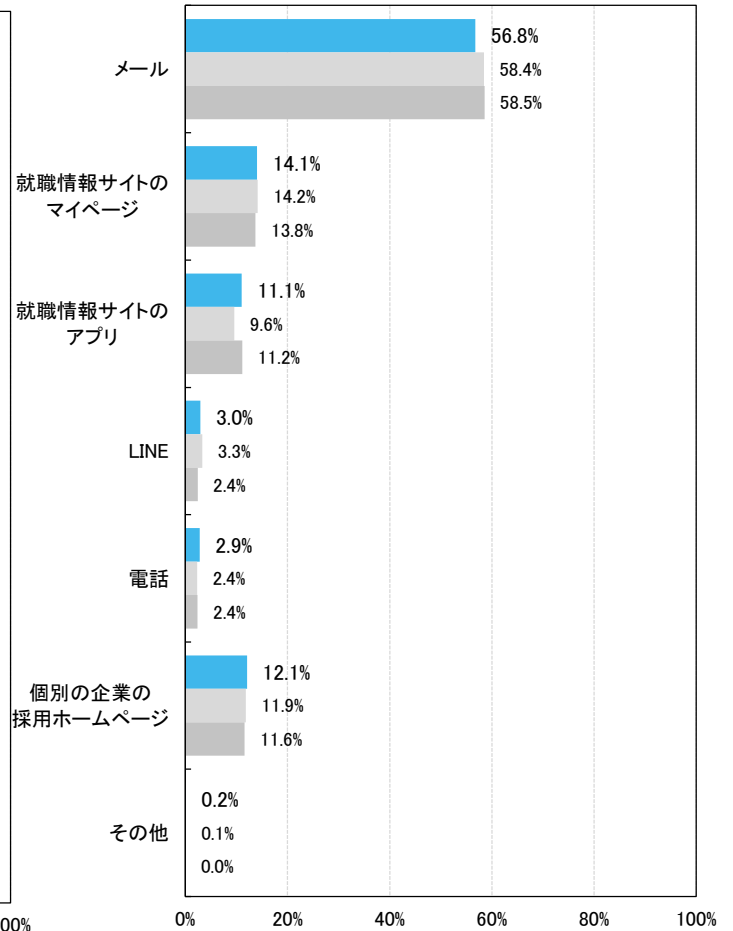
エントリーした企業からの連絡を受信するために使っているもの【複数回答】 n=1,603

25年卒 24年卒 23年卒



エントリーした企業からの連絡を受信するために最もよく使っているもの n=1,603

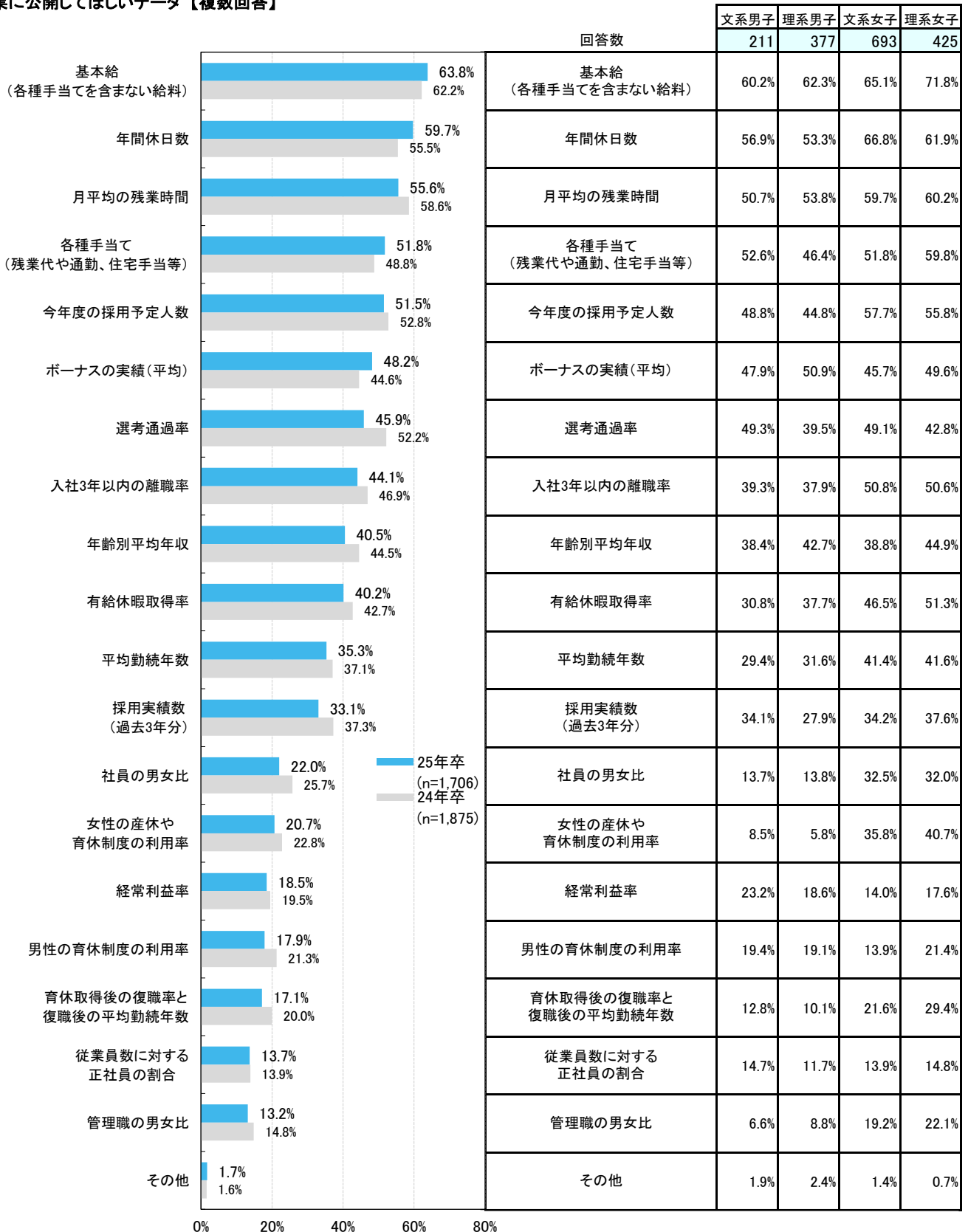
25年卒 24年卒 23年卒



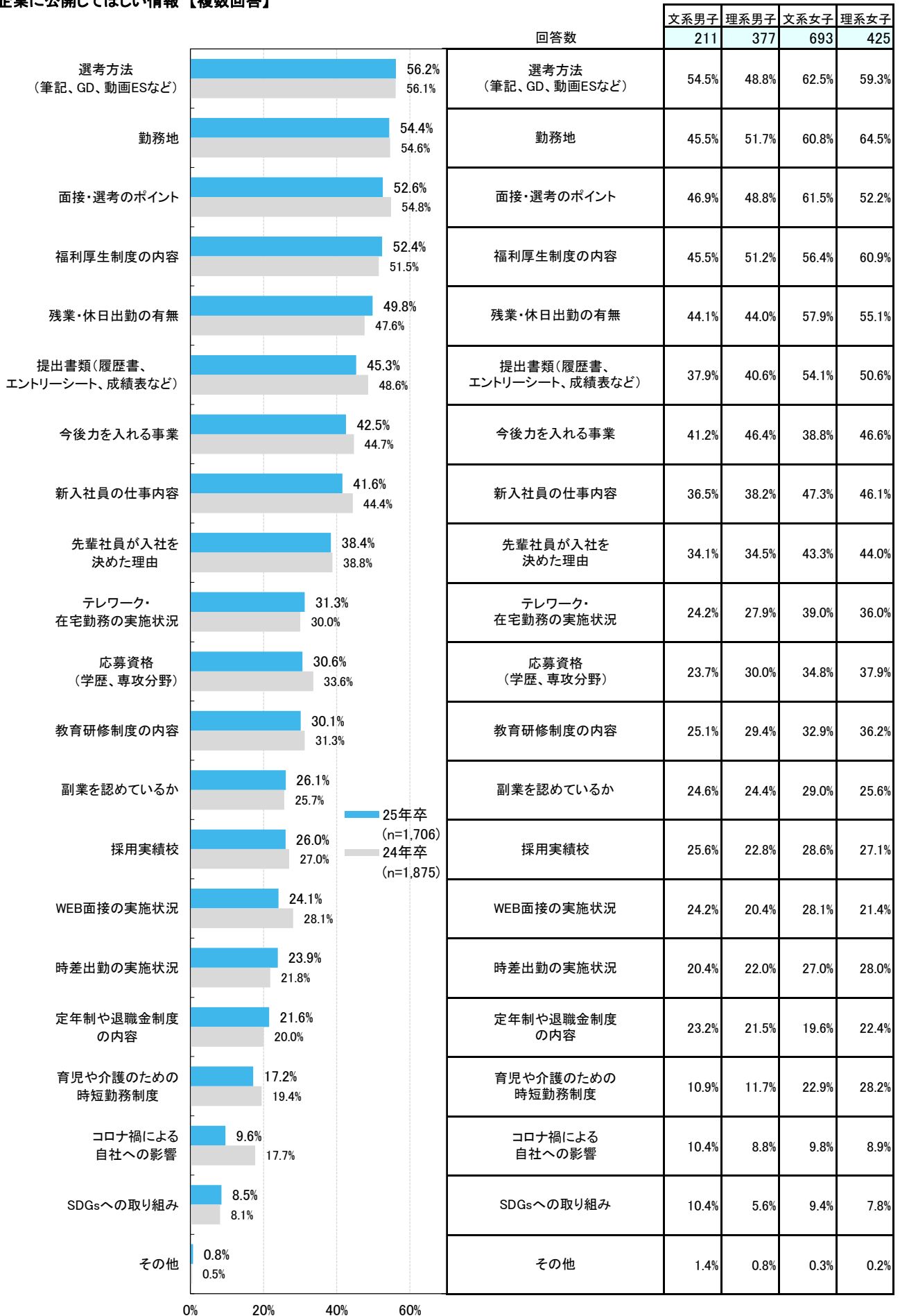
■11: 今後の就職活動について

企業に公開してほしいデータについて聞くと、「基本給（各種手当を含まない給料）（63.8%、対前年1.6pt増）」が最も多く、前年より回答率も微増した。企業の情報やデータを知って志望度が下がった経験があると回答したのは64.0%（対前年1.2pt増）で、その理由として最も回答が多かったのは「給料が安かった（43.9%、対前年3.9pt増）」であった。今後の就職活動の方向性について、現時点で最も当てはまるものを聞くと、1位回答は前年同様「仕事内容を重視（26.4%、対前年1.6pt減）」であったが、「給与・福利厚生等、待遇面を重視（16.5%、対前年3.7pt増）」の回答率が増加しており、前年5位から2位に順位を上げた。「給与・福利厚生等、待遇面を重視」の回答割合について、17年卒から比較をすると、年によって回答率に変化が見られ、22年卒からは3年連続で回答率が伸びている結果となった。直近3年間で学生の給与や福利厚生に対する志向が高まっているようだ。

企業に公開してほしいデータ【複数回答】

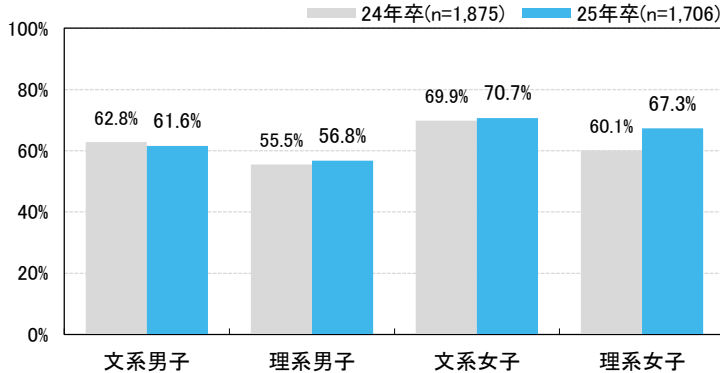
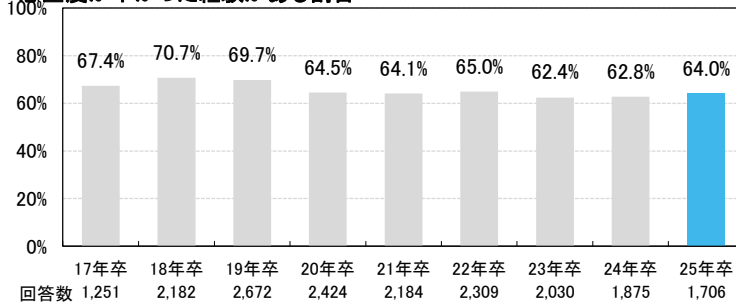


企業に公開してほしい情報【複数回答】



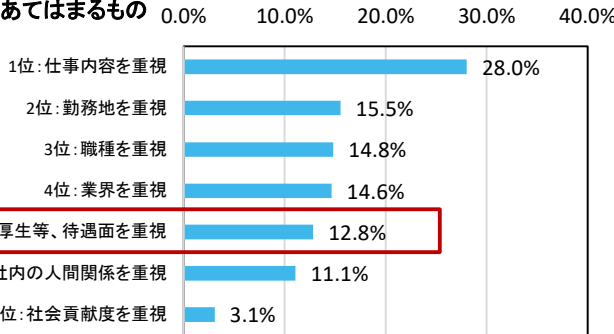
企業のデータや情報を知って  
志望度が下がった経験がある割合

※17年卒のみ4月調査



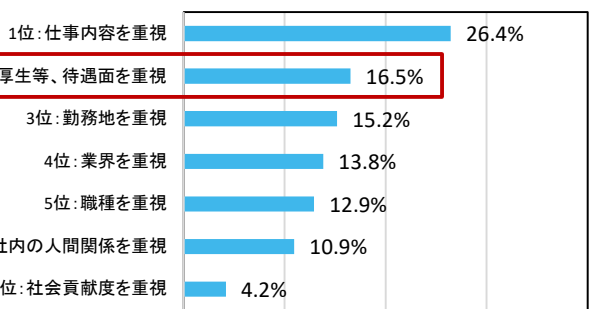
24年卒(n=1,875)

今後の就職活動の方向性について、  
現時点で最もあてはまるもの



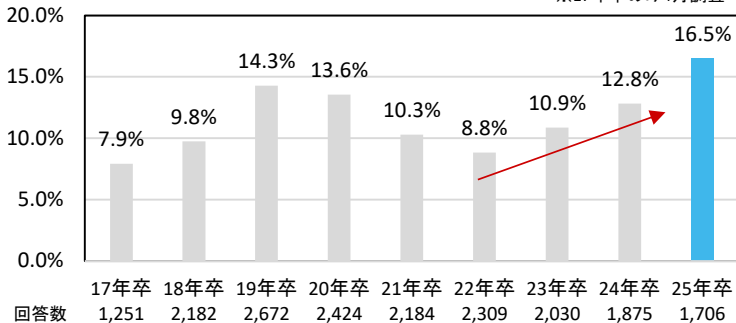
25年卒(n=1,706)

今後の就職活動の方向性について、  
現時点で最もあてはまるもの



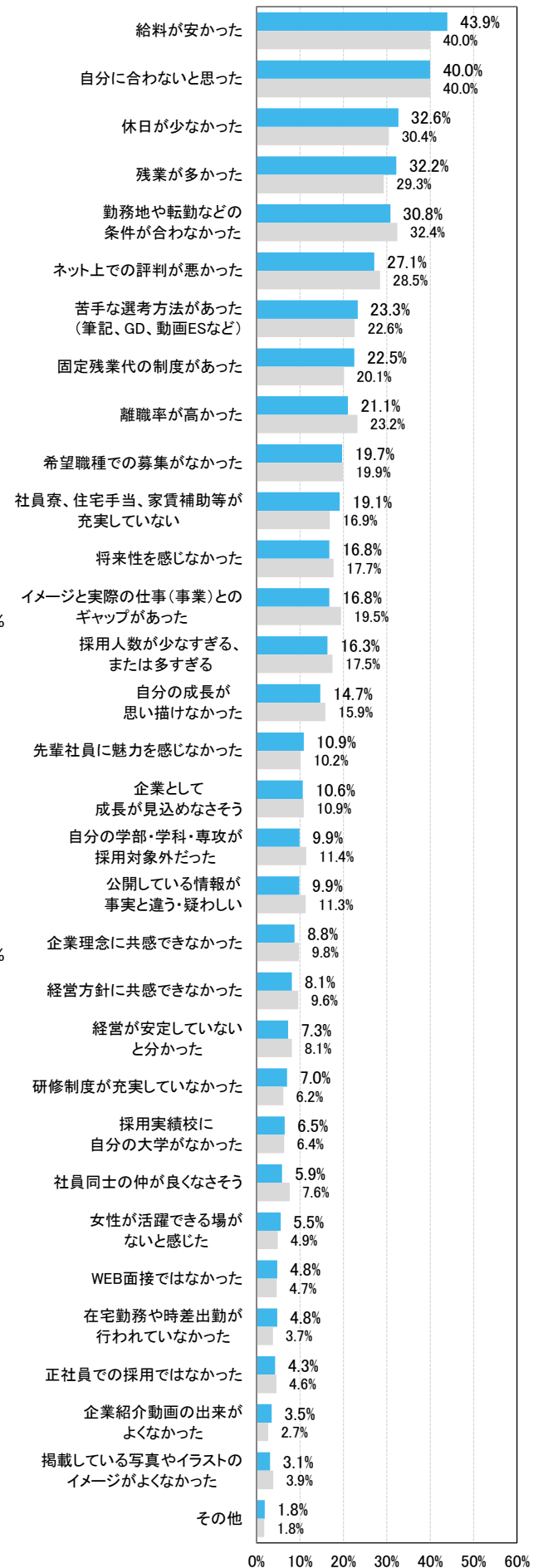
今後の就職活動の方向性について、現時点で最もあてはまるもの  
「給与・福利厚生等、待遇面を重視」のみを抽出

※17年卒のみ4月調査

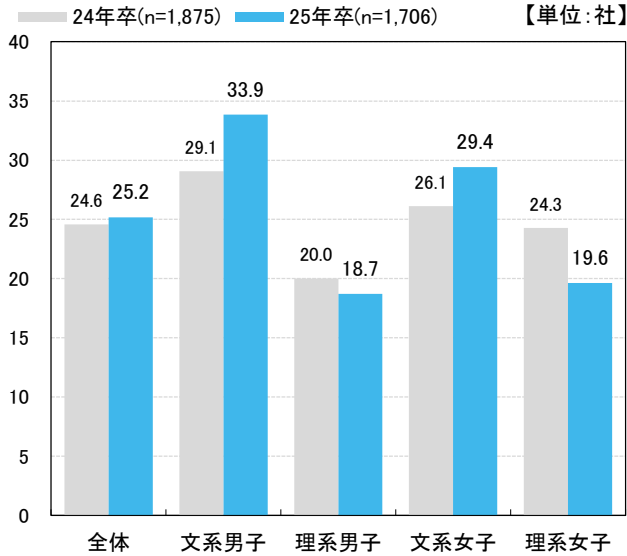


志望度が下がった経験のある方のみ:  
志望度が下がった理由【複数回答】

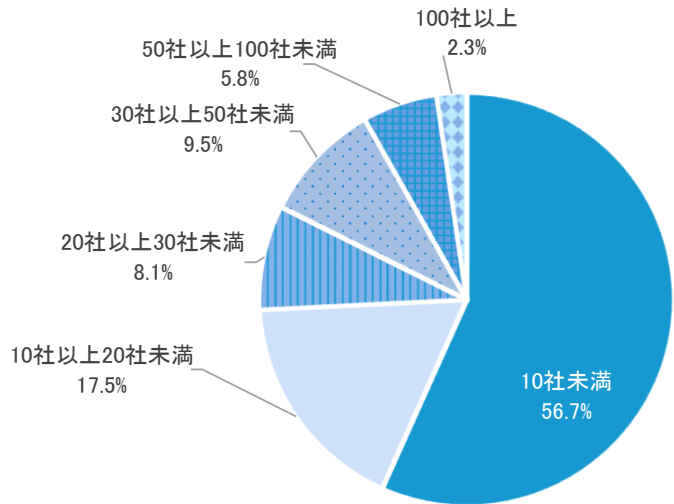
■ 25年卒(n=1,120) ■ 24年卒(n=1,170)



検索結果の企業一覧は平均何社くらいまで見るか

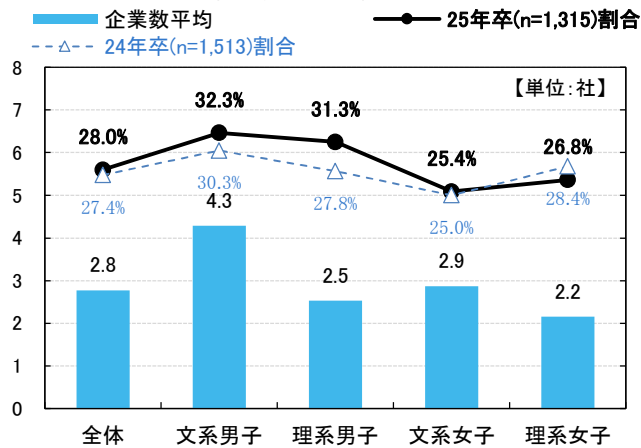


検索結果の企業一覧は平均何社くらいまで見るか（分布）

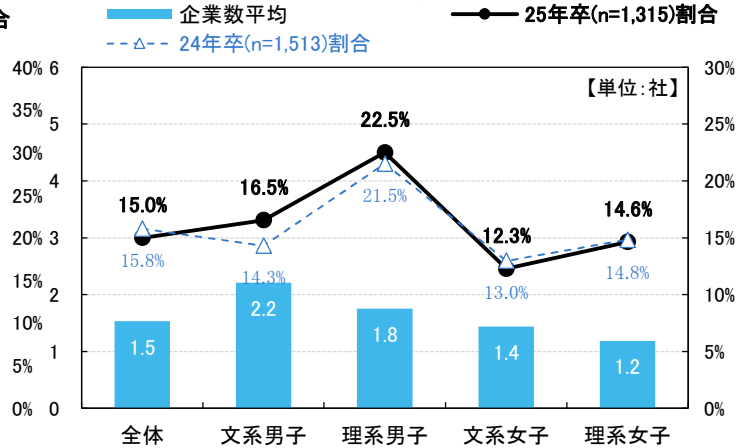


※以下、インターンシップ・仕事体験に参加したことのある学生のみ回答

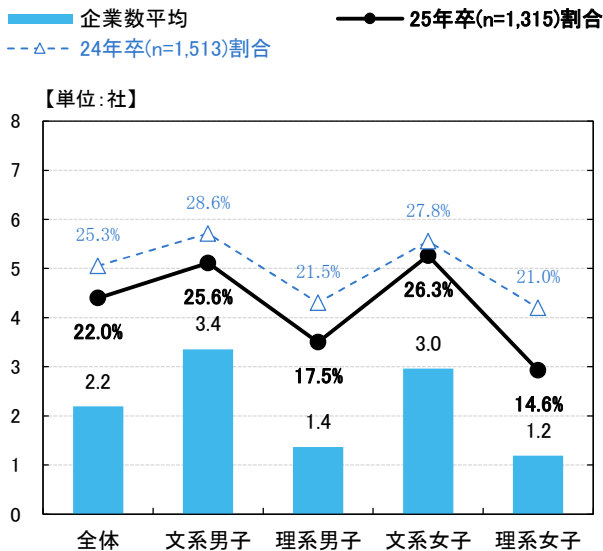
インターンシップ・仕事体験参加企業のうち  
参加者限定セミナーに参加した企業数平均と  
インターンシップ・仕事体験参加企業数に対する割合



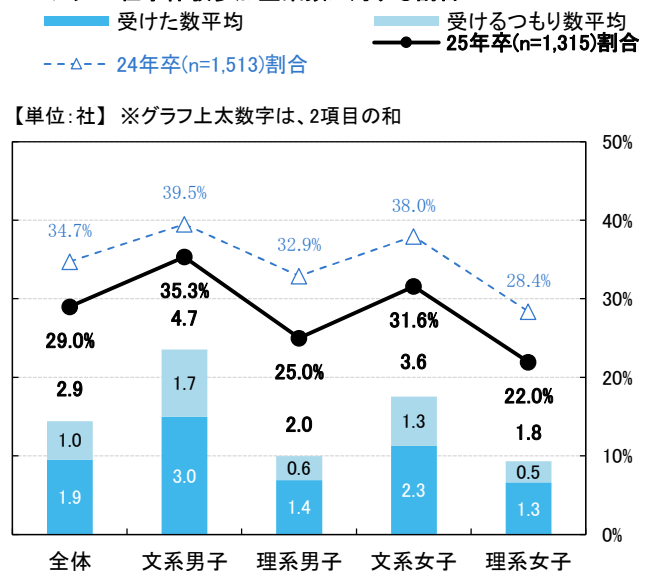
インターンシップ・仕事体験参加企業のうち  
参加者向け面談を受けた企業数平均と  
インターンシップ・仕事体験参加企業数に対する割合



インターンシップ・仕事体験参加企業のうち  
3月以降、エントリーした企業の数平均と  
インターンシップ・仕事体験参加企業数に対する割合



インターンシップ・仕事体験参加企業のうち  
採用選考を受けた数 + 今後受けるつもりの数平均と  
インターンシップ・仕事体験参加企業数に対する割合





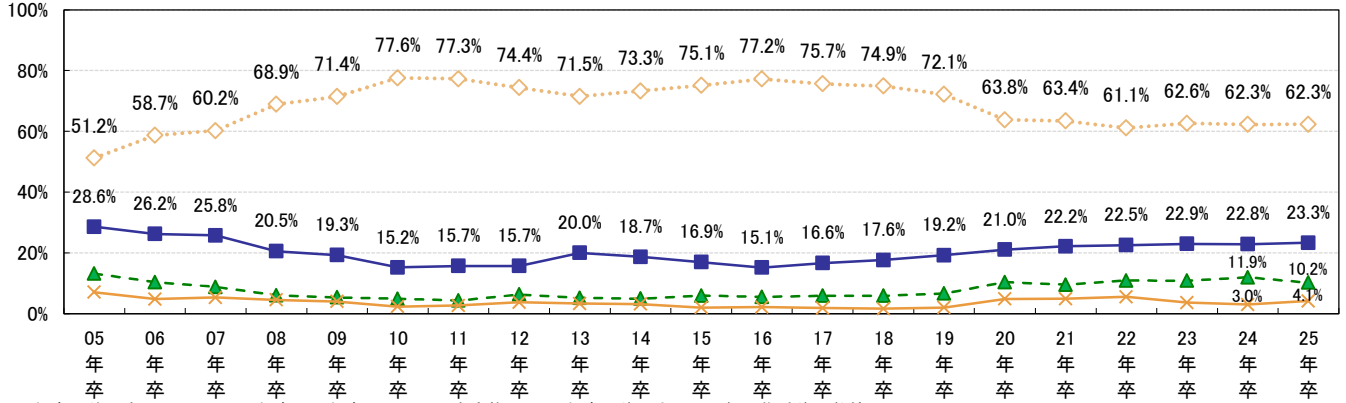
■12: 就職に関する志向について

どのような職場であれば「働きがい」や「やりがい」を感じるか聞くと、前年最も回答の多かった「興味があることを仕事に出来る（21.9%、対前年3.5pt減）」を上回り、今年は「仕事に見合った報酬や対価が得られる（23.0%、対前年0.4pt減）」の回答が最多となった。

しかしながら社会人として働くことで得たいものとしては、「高収入（42.7%、対前年0.8pt減）」「出世・地位（15.4%、対前年3.1pt減）」の回答は減少しており、最も回答が多かったのは「生活の安定（70.2%、対前年0.3pt増）」である。

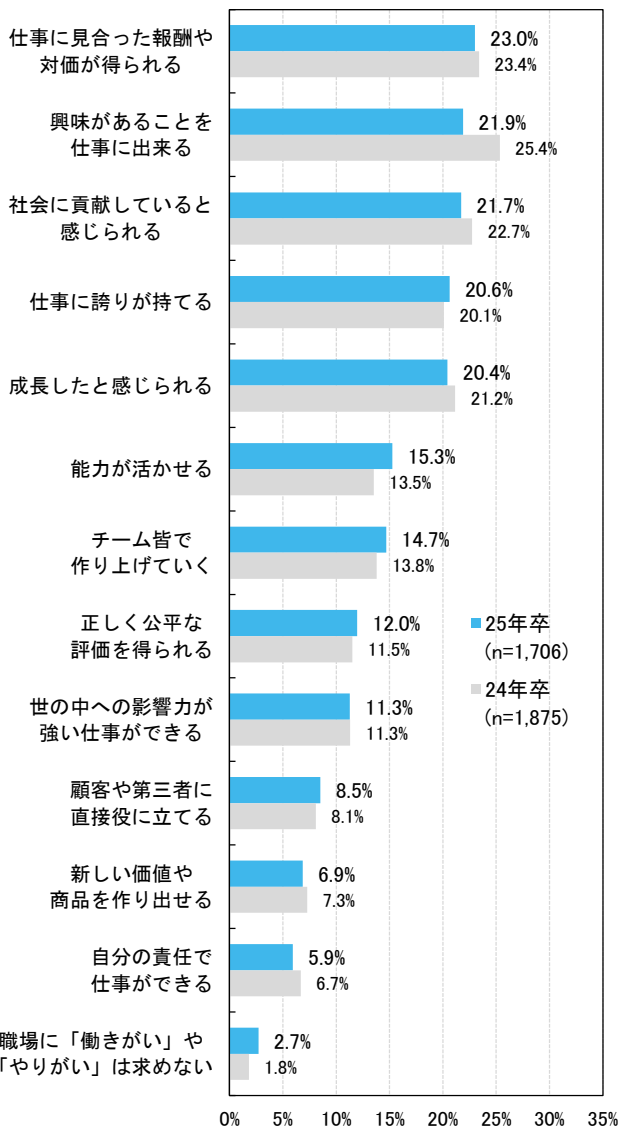
報酬や対価等といった待遇面への意識が高まっているが、その理由は高収入を得るためというより、あくまで生活の安定のためといっ

希望する働き方  
 ○◇◇◇ 新卒で入社する会社で長く勤めたい  
 ■■■■ キャリアを優先して転職もいとわない  
 -▲-▲ 自分に適した働き方を優先、正社員にはこだわらない  
 ×××× いずれは独立して起業したい

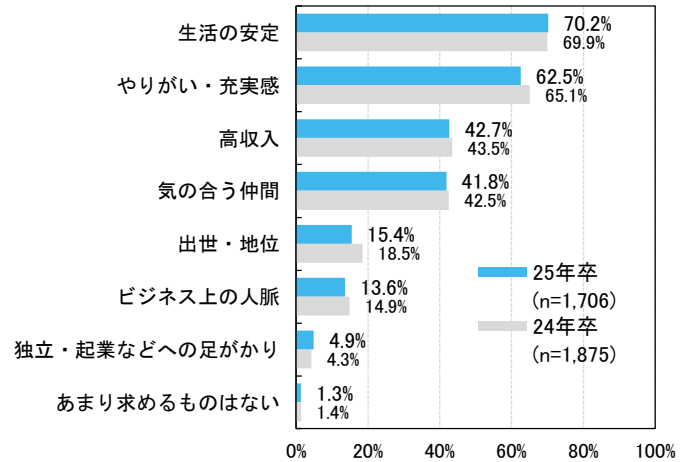


※12年卒以前はすべて10月に、13年卒-15年卒は12月に調査実施 ※13年卒以後はウエイトバック集計後の数値

どのような職場であれば「働きがい」や「やりがい」を感じるか【2つまで選択】



社会人として働くことで得たいもの【複数回答】



転職がある企業についてどう思うか

